

黒沢家文書Ⅱ目録

茨城大学図書館所蔵(黒澤止幾子顕彰会寄贈)

2020/2/20

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
3	箱1	証(田畑書付)				折紙1	田畑書付。
4	箱1	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名簿	常磐教会長 少教正黒澤峰三郎(角印)		明治40年11月25日	縦帳1	「下伊勢畑講社 岩船村錫高野 常磐教会所(角印)」のもの。奉納金額及び人名書上げ。
5	箱1	出納履歴書	—			状1	書式下書きか。
6	箱1	誓約書	東茨城郡上野合村大字□□44番地 平民長谷川弁次郎 [㊞] 那珂郡野口村大字野口46番地 併証 少講義 高瀬岩次郎 [㊞]	御嶽教常磐教会之長 少教正黒澤峰三郎殿	明治30年11月3日	状1	信仰を篤くし一層布教へ尽力することの誓約書。綴りの中の一枚とみられる。
7	箱1	誓約書	東茨城郡澤山村大字下阿野沢60番地 加藤佐市衛門 [㊞] 同郡石塚村大字石塚28番地 権訓導 田上力之介 [㊞]	御嶽教常磐協会長 少教正黒澤峰三郎殿	明治35年9月6日	状1	信仰を篤くし修身教義に従事することの誓約書。綴りの中の一枚とみられる。No.6と同一内容か。
8	箱1	誓約書	東茨城郡飯富村大字飯富36番寄留 金子栄吉 [㊞] 併証 小澤澤四郎 [㊞]	御嶽教常磐教会長 少教正黒澤峰三郎殿	明治34年5月20日	状1	布教のことについて、規則を守ることに付いての誓約書。綴りの中の一枚とみられる。No.6、7と同一内容か。
9	箱1	誓約書	栃木県那須郡烏山町465番地 士族 大谷政蔵 [㊞] 茨城県東茨城郡伊勢畑村大字伊七畑 併証人 青木慶之介 [㊞]	御嶽教常磐教会之長 少教正黒澤峰三郎殿	明治36年3月15日	状1	帰依を篤くし修身教義に従うことの誓約書。綴りの中の一枚とみられる。No.6～8と同一内容か。
10	箱1	御受書	茨城県那珂郡大賀村大字鷹巣 堆蔵ノ介 [㊞]	御嶽教管長鴻雪爪殿	明治27年5月	状1	明治27年3月29日に権少講義に補されたことを受書。
11	箱1	[書簡]	那珂郡五岱村大字東木倉鈴木伊左衛門	東茨城郡岩船村大字錫高野黒澤峯三郎様	旧3月4日	状1 封筒1	来たる日待のことについて、弊宅にて手踊りなどを行うことについて。講に関する手紙か。
12	箱1	志願書、誓約書、履歴書	茨城県常陸国東茨城郡岩船村大字錫高野2210番地 鯉淵留之介	御嶽教管長事務所取扱尾前廣吉殿	昭和2年1月15日	綴り1	御嶽教布教の教師への志願書と誓約書、履歴書
13	箱1	正義士伝発行規定	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野 故黒沢止幾子遺族 発行主任 黒澤峰三郎(角)		明治36年10月	綴り1(状6)	旧水戸領内の正義の士千数百人の伝記を作るにあたっての規定書上げ。後ろに誰がどの人物を担当するかの書付あり。
14	箱1	小検見字付人足諸品入用留			又久2年□(虫損・戊カ)8日	綴り1(状4)	粉割付帳など。
16	箱1	①[書簡] ②[副状] ③復職願	①井上岩次郎 ②御嶽教庁庶務課(角印) ③茨城県常陸国東茨城郡岩船村大字錫高野 黒沢峰三郎(角印) 右復職撰拳人 少教正 井上岩次郎 [㊞]	①権少教正黒沢峰三郎殿 ②権少教正黒澤峯三郎殿 ③御嶽教管長鴻雪爪殿	①12月1日 ②明治28年11月26日 ③明治28年5月10日	状3、封筒1	①復職願の件、別紙の通り回達のこと。 ②復職願を聞き入れる旨の書状の添付状。 ③家事の都合により辞職したが、復職したい旨の願状。朱字で「願之趣聞届ク 明治二十八年十一月二十六日管長」とある。
17	箱1	茨城県神道各教同盟会祈禱保護規約	茨城県神道各教同盟会		明治35年10月	紙3	祈禱師の保護規約について 印刷物、3枚とも同一。
18	箱1	[書簡]	加藤木三衛	黒澤君	旧正月5日	状1	
19	箱1	[書簡]	加藤木三衛	黒澤君	旧2月5日	状1	祭礼に関する願書。
20	箱1	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名簿	岩船村錫高野 常磐教会所(角印) 常磐教会長少教正黒澤峯三郎(角印)		明治40年11月25日	縦綴1	破損した教会修繕のための寄付人名帳。
21	箱1	常磐教会所屋根替寄付帳	会長 役員一同(角印)		明治32年旧10月	縦帳1	教会屋根替えの寄付帳。世話人・寄付人別に金銭と人名書上げ。
23	箱1	[任命書]	神道巴教会創立本祠		明治10年 月 日	状10	神道巴教会本祠創立委員の任命書9通、神道巴教会本祠創立世話係の任命書1通。いずれも印刷で、月日・宛先空欄。余剰分か。
24	箱1	御□(破損・嶽カ)教 常磐講□仮台帳 □山村大字赤沢分	常磐教会所	御岳教管長鴻雪爪殿	明治26年5月～6月	縦帳1	近隣地区住民の御嶽教への入社願い。
25	箱1	御供物				包紙1	中身なし。
26	箱1	同盟会員之證				状1	号数・宛先—。余剰分か。
27	箱1	[金銭等書付]				横綴1	金銭、粉、白米等と人名の書付。割当もしくは寄付等の書付か。
28	箱1	神坐屋根替人足奉納扣帳	教会修繕係		明治35年旧8月4日	横帳1	人足の金銭と種別について。
29	箱1	常磐教会教場新築屋根材献納扣	常磐教会新築事務所		明治21年9月5日	横帳1	縄等の寄付内訳。
30	箱1	[金銭書付]				横綴1	金銭割当表もしくは寄付等の書付か。
31	箱1	常磐教会主神初糶献□…(欠損)			明治27年11月□□(欠)	横帳1	初糶料献納の書上げ。表紙下部破れあり。
32	箱1	太々神楽奉納連名簿	常磐教会所			横帳1	神楽奉納の金銭・人名書上げ。
33	箱1	明治三十四年度初糶献納人名簿	常磐教会所		(明治34年)	横帳1	粉・白米・金銭ほか納入名簿。
34	箱1	御嶽大神 常磐大神 初糶奉納人名簿	常磐教会祭事係		明治23年旧10月15日	横帳1	粉・金銭他納入名簿。
35	箱1	御嶽大神 常磐大神 初糶献備人名帳	常磐教会所神饌係		明治26年旧10月15日	横帳1	明治25年度、26年度の初糶料納入名簿。
36	箱1	御嶽大神新糶献備帳	常磐教会所帳場		明治22年10月15日	横帳1	糶納入名簿。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
37	箱1	神道 御嶽教 常磐教会教場新築人足寄付扣	当教会新築事務所		明治21年8月7日	横帳1	日付ごとの人足寄付書上げ。
38	箱1	解職願	上大野村大字吉沼埜多来造 [㊞]	東茨城郡岩船村大字錫高野大講義黒澤峰三郎殿	明治28年4月2日	状2 封筒1	東茨城郡上大野村大字吉沼の少講義である埜多来造より、胃病のため教導職を解いてほしい旨の願状。状2枚とも同一内容。
39	箱1	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名簿 上坏講社	岩船村錫高野常磐教会所(角印)		明治40年11月25日	縦帳1	教会の修繕のための寄付人名簿。最初に黒澤峰三郎による趣旨文がある。
40	箱1	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名簿 相川講社	岩船村錫高野 常磐教会所(角印)		明治40年11月25日	縦帳1	教会の修繕のための寄付人名簿。最初に黒澤峰三郎による趣旨文がある。
42	箱1	弁似				状6	漢字表。2字～5字の似た漢字を集めたもの。
43	箱1	[建碑料奉納人名、大日本史寄付賛成之名簿]	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野 御嶽教常磐教会所(角印) 教会長少教正黒澤峰三郎(角印)		明治40年10月27、明治33年2月	縦帳1	戦争で犠牲になった陸海軍人の慰霊碑を建てるための趣旨文と寄付帳、また大日本史を教会で購入するための趣旨文と寄付帳。2つの冊子が合わせて綴じられている。
44	箱1	本殿屋根替寄付連名	御嶽教常磐教会所 修繕係(角印)		明治25年旧6月	縦帳1	小麦、金銭などの寄付帳。
46	箱1	[御嶽教役員・規約書付]	吉田□□	黒澤教正	9月16日	状2	神道御嶽教の役員と規約の書付。2枚は続きか。
47	箱1	証(金銭書付)				折紙1	金銭書付。
48	箱1	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名帳 飯富講社	岩船村錫高野常磐教会所(角印)		明治40年11月25日	縦帳1	教会修繕の寄付帳。最初に黒澤峰三郎の趣旨文あり。
49	箱1	大正 第二号	御嶽教青年団		大正2年1月23日	刊本1	御嶽教青年団の会誌か。明治天皇崩御の祭礼の特集とみられる。
51	箱1	下毛国室矢嶋郷鎮座 御嶽神社 伊許速別神社 廣前御祈禱				札1 包紙1	神札とその包紙。
52	箱1	[伺い状]	有馬賛雄(角印)	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峯三郎様	(明治37年)3月6日	葉書1	戦備が整ったので、いつ頃うかがえばよいか、との伺い状。
53	箱1	[書簡]	東京市赤坂区青山北町4-106御嶽教庁詰布 教使兼検定委員中教正栗原敬恭	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野常磐教会長少教正黒澤峯三郎殿	(明治)39年10月30日	葉書1	
54	箱1	[書簡]	東京市赤坂区□(青カ)山南町5-45住中教 正栗原敬孝	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 常磐教会長少教正黒澤峯三郎 東茨城郡岩船村大字錫高野岡本要七殿	(明治)12月6日	葉書1	
55	箱1	[催促状]	三宅□	東茨城郡岩船村大字錫高野岡本要七殿	明治36年3月23日	葉書1	残却代金の催促について。
56	箱1	[通達依頼状]	神田区錦町3丁目21番地御嶽教庁	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野常磐教会所権少教正黒澤峰三郎殿	明治29年9月15日	葉書1	教規改定等にともない、少教正吉田彦七郎が本月17日に出立し派遣されるので、尽力し、新しい検定を受けたい者に通達すること。
57	箱1	[通達状]	那珂郡大賀村大字タカス 堆蔵之助	東茨城郡岩船村大字錫高野二テ権少教正黒澤峰三郎殿	明治27年3月19日	葉書1	白旗春吉外退職者について。教会所に不都合なものを白旗が置いたので、至急出頭してほしいという達し。
58	箱1	[通達状]	神田区錦町3丁目21番地御嶽教庁 吉田彦七郎	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野少教正黒澤峯三郎殿	(明治29年)4月18日	葉書1	来たる25日に上野公園内で台湾での戦死者の招魂祭が総督府により行われ、各教の師が参列するので、装束を持参し出席するように、との達し状。
59	箱1	[書簡]	赤坂区□(青カ)山南町5-45□ 中教正栗原敬孝	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 常磐教会長少教正黒澤峯三郎 錫高野 黒澤峰三郎様	明治39年11月26日	葉書1	
60	箱1	[書簡]	教正□関口□四郎	錫高野 黒澤峰三郎様	2月22日	状1	ご機嫌伺い、近況報告か。
64	箱1	菅原道真書(拓本)				まくり2 包紙1	延喜2年の道真の書の拓本、木版。乾・坤で一对。
65	箱1	[墓石拓本]				まくり3 包紙1	黒澤琨子墓2枚、辞世の歌1枚、黒澤琨子の歌か。墓石の表と裏面の拓本の可能性がある。
66	箱1	御真筆御影				紙1	人物の木版刷り。菅原道真か。
87	箱2	錫高野村御繩入田畠反別村高帳御改正	黒澤助信		天保14年卯	横帳1	奥付に「弘化二年己十月改渡ス 庄屋治平 [㊞] 組頭仁兵衛(角印)」とある。
88	箱2	府名及県名			(近代)	横半1	No.88～91まで一括
89	箱2	読関原戦記			(近代カ)	縦綴1	No.88～91まで一括
90	箱2	栃木県榊山資雄君之答辞			(近代)	状1	No.88～91まで一括
91	箱2	内務郷伯爵山縣有朋公下野那須原通水式祝辞ヲ述ス			明治18年9月15日	状1	No.88～91まで一括
92	箱2	[法事の通知]			明治41年5月1日	紙1	印刷。黒澤止幾子の贈位につき、命日である5月8日午前10時より、黒澤峯三郎宅において祝祭を執り行うので、門人・郷党同志は集合するように、との知らせ。門人発起として195人、同志者発起人として各村ごとに総勢376人の名がある。
93	箱2	[東京日日新聞第17843号附録 皇族写真]	東京日日新聞		大正15年5月10日	紙1	当時の皇太子夫妻と内親王(生誕の祝い)の写真。モノクロ印
96	箱2	大非為根問者				状1	文字の左横に朱字で読み点らしきものあり。問答などの行事で使用するものか(御嶽教関係か)。
102	箱2	[和歌書付]				状1	俳句の書付か。3句あり。
104	箱2	[書簡]	岩船村(役)場(角印)	黒澤峯三郎殿	4月23日	状1	4月20日に願い出た黒澤止幾子の件について。
105	箱2	[黒澤止幾子に対する事蹟回送について]	岩船村役場(角印)	黒澤峯三郎殿	8月27日	状1	黒澤止幾子の事蹟回送について。本郡長の求めに応じて。
106	箱2	[女子の亀鑑となし得可者を選抜し報告するに当たっての方法]	岩船村役場(角印)	黒澤峯三郎殿	明治41年□月11日	状1	第133号とあり。6つの方法が述べられている。黒澤止幾子を女子の亀鑑として報告するにあたり、その履歴などを調査し、照会する方法を述べている。
107	箱2	[和歌書付]	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峰三郎		明治40年10月12日	状1	和歌2首書付。「御臨幸を祝ひ奉る」「寄菊祝」

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
108	箱2	第六二八号 稟告(通達状)	岩船村役場 茨城県庁森正隆		明治40年10月7日	状1	天皇が茨城県へ来て、今秋特別大演習に臨むので、奉迎の誠意を表わすために和歌を献上せよという通達。県から役場、役場から個人へと通達している。
109	箱2	号外(書簡カ)	岩船村役場(角印)	黒澤峯三郎殿	10月20日	状1	別紙の献詠和歌は、茨城県庁内森正隆宛に本日迄に差出すべきものだが、期日が迫り、昨19日に当役場へ到着したもので、取扱に困り返し戻すものである、との通知。
112	箱2	[封筒]	岩船村役場	口(破損、錫カ)高野 黒澤峯三郎殿		封筒1	封切りのため上部破損。朱字で「至急」とあり。
113	箱2	金員借用証(一金弍円也)	東茨城郡岩舟村字錫高野15番地 借用人 飯村八十吉 [㊞]	同字 森忠平殿	明治38年旧7月19日	状1	金2円借用。 No.113~120まで一綴り。
114	箱2	借用証(一金五円也)	岩船村大字錫高野 借用人 飯村八十吉 [㊞] 同所 借用人	同所 森忠平殿 同所 黒澤峯三郎殿	明治36年旧9月	状1	金5円借用。 No.113~120まで一綴り。
115	箱2	借用証(一金五円也)	東茨城郡岩舟村字錫高野15番地 借用人 飯村房吉(角印) 々々 飯村八十吉 [㊞]	同村同字 黒澤峯三郎殿 森忠平殿	明治36年旧8月14日	状1	金5円借用。 No.113~120まで一綴り。
116	箱2	記(一金弍拾円の中拾円)	大字粟 勝村兼太郎 代理人 町井忠介 [㊞]	黒沢峰三郎様 森忠平様 飯村房吉様 飯村八十吉様	明治36年旧8月13日	状1	金22円の中10円受取。 No.113~120まで一綴り。
117	箱2	記(一金六拾銭也 但し三ヶ月利金)	北高野豊吉 [㊞]	森忠平様	明治36年旧10月29日	状1	金60銭三か月分利金受取。 No.113~120まで一綴り。
118	箱2	記(一金四拾五銭 三ヶ月分利子)	三(勝カ)村兼太郎 [㊞]	森忠平殿	明治36年旧11月29日	状1	金45銭三か月分利子受取。 No.113~120まで一綴り。
119	箱2	受取証(一金弍円也)	大字錫高野 北高野豊吉 [㊞]	当字 黒沢峯三郎殿 森忠平殿	明治36年旧12月29日	状1	金2円受取。 No.113~120まで一綴り。
120	箱2	記(一金壹円五拾銭 利子)	岩船村大字錫高野三村兼太郎 [㊞]	同村同字 森忠平殿	明治37年旧9月11日	状1	金1円50銭利子受取。 No.113~120まで一綴り。
121	箱2	金円借用証	岩船村大字錫高野 借用人森忠平 [㊞] (ミセケチ) 同所 証人 三村重次郎 [㊞]	同所 三村菊太郎殿	明治36年旧9月7日	状1	金5円借用、引当として畑1反12分のこと。
122	箱2	記(利子受取書上)		森忠平殿	(明治39年12月)	折紙1	明治36年旧9月より40ヵ月分利子合計6円。
123	箱2	記(金銭用立てと金利について)				状1	金銭用立てと金利についての証文。裏書あり:印刷された郵便物日計表の一部。後欠
124	箱2	[書簡]	那珂郡大北村口 海野千代松	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峯三郎様	(昭和)12年3月9日	葉書1	御厚志への感謝状。以前話に出た宇留野英氏の住所について。
125	箱2	[書簡]	野口村野口 石川仙之会	東茨城県(ママ)郡岩船村大字錫高野 黒澤峯三郎様	(昭和13年)6月19日	葉書1	近況報告、品物の送付について。
126	箱2	[書面送付への礼状]	七会村字塩子 石川平次郎	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒沢峰三郎様	(昭和)13年11月12日	葉書1	礼状。二銭郵便はがき使用。
127	箱2	[近況報告]	西茨城郡七会村 石川平次郎	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒沢峰三郎様	昭和13年10月9日	葉書1	「阿久津サン」の名あり。二銭郵便はがき使用
128	箱2	[礼状](建碑除幕式一日欠席の返事)	東京市蒲田区新宿町1124 鴨下方 黒澤清一	茨城県石塚局配達区内東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和)12年2月14日	葉書1	22日の建碑除幕式に欠席する旨の返事。
129	箱2	[年賀状]	茨城県那珂郡湊町小川華蔵院榎本実範 [㊞]	東茨城郡錫高野 黒沢峰三郎	(昭和)12年1月2日	葉書1	「謹賀新年」
130	箱2	[年賀状]	那珂郡湊町華蔵院内西尾慈範 九拝	東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和)12年1月1日(消印) (書面上は昭和11年元旦)	葉書1	「謹賀新春」
131	箱2	[年賀状]	那珂郡大場村小野 海野千代松	東茨城郡岩船村鈴高野 黒澤峰三郎様	昭和12丁丑年元旦	葉書1	「謹賀新年」
132	箱2	[年賀状]	仲丸伊津政	東茨城郡岩船村 黒澤峰三郎	(昭和)12年1月1日	葉書1	「謹賀新年」、「一月元旦」の朱印あり。
133	箱2	[年賀状]	水戸市北三ノ丸 坂本左狂	茨城県東茨城郡岩船錫高野 黒沢峰三郎様	昭和12年元旦	葉書1	「謹賀新年」の朱印あり。
134	箱2	[年賀状]	七会村 石川牛次郎	東茨城郡岩船村錫高野 黒沢峰三郎様	昭和12年1月元旦	葉書1	「恭賀新正 天壤無窮」
135	箱2	[年賀状]	北海道旭川市常磐通り1丁目 渡辺勇口	茨城県東茨城郡岩船村 黒澤峰三郎様	昭和12年1月元旦	葉書1	「謹賀新年」
136	箱2	[女子学習院五十年史贈寄のお祝]	亀寿	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	6月22日	葉書1	女子学習院50年史の寄贈の御礼。
137	箱2	[書簡]	那珂郡大北村小野 海野千代松	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和)12年3月26日	葉書1	婚姻に関し、準備が整ったので来たる3月31日に祝儀を行うことについて。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
138	箱2	第9回決算報告書	(会社名)黒沢印刷精機株式会社 (本店)水戸市文京1丁目3番38号		自昭和45年3月1日至昭和46年2月28日	冊子1	決算報告書の印刷本
139	箱2	賞	第三十一普通科連隊長一等陸佐 井瀬洋夫(角印)	重迫撃砲中隊陸士長 黒澤博	昭和47年9月4日	状1	昭和47年度水泳大会個人メドレーの部第1位。
140	箱2	賞	第三十一普通科連隊長一等陸佐 栗田裕夫(角印)	重迫撃砲中隊陸士長 黒澤博	昭和46年8月11日	状1	昭和46年度中隊対抗水泳競技会個人メドレー(75m)第1位。
141	箱2	賞	第三十一普通科連隊長一等陸佐 栗田裕夫(角印)	重迫撃砲中隊一等陸士 黒澤博	昭和47年2月19日	状1	昭和46年度第二次徒手格闘競技会全勝。
142	箱2	賞	第三十一普通科連隊長教育隊長三等陸佐 不動倅三郎(角印)	松沢区隊二等陸士 黒沢博	昭和45年7月30日	状1	水泳記録会50m自由型、個人メドレー75m第一位。
143	箱2	褒賞	第三十一普通科連隊長一等陸佐 井瀬洋夫(角印)	重迫撃砲中隊一等陸士 黒沢博	昭和47年3月25日	状1	任期満了にあたり、更に2年の継続勤務を決意したことへの褒賞。「第三八七号」とあり。
144	箱2	賞詞	第三十一普通科連隊長重迫撃砲中隊長三等陸佐 甲村昭男(角印)	陸士長 黒澤博	昭和47年9月4日	状1	昭和47年度中隊対抗水泳競技会、代表選手としての活躍に対し第五級賞詞の授与。「戊第十五号」とあり。
145	箱2	卒業証書	茨城県水戸市立第五中学校長 田口行雄(角印)	黒澤博 昭和二十六年三月九日生	昭和41年3月18日	状1	「第一四五三号」とあり。
146	箱2	賞状	東京都アマチュアボクシング連盟会長 山田光成(角印)	自衛隊 黒沢博	昭和48年8月31日	状1	第二十五回東京都社会人ボクシング選手大会ウェルター級での優勝
147	箱2	[新聞附録絵写真]	東京朝日新聞社		昭和9年9月20日	絵写真1	東京朝日新聞昭和9年9月20日の附録の印刷物。タイトル—の日本画。横山大観か。
148	箱2	陸軍特別大演習観兵式御親閲	東京朝日新聞社		昭和9年11月18日	絵写真1	東京朝日新聞昭和9年11月18日号の附録写真。昭和9年11月14日高崎練兵場にて撮影のもの。
149	箱2	薄謝	湯元平兵衛	上		白紙1 包紙1	薄謝の包紙、「金壱両」とあり。
150	箱2	[絵馬の絵]	茨城県相馬郡太田村鎮座県社太田神社社務所			綴り1	太田神社の絵馬の柄の綴りか。同一内容5枚。
152	箱2	[写真]				台紙付写真1	皇室の写真か？
153	箱2	[集合写真]			大正10年4月30日撮影	台紙付写真1	裏書「岡田裁縫所生徒一同大正十年四月三十日撮影寸 鈴木やす子十九才」とあり。
154	箱2	[集合写真]				台紙付写真1	女学校等の集合写真か。台紙に「三光館謹写 宇都宮市」とあり。
155	箱2	[集合写真]				台紙付写真1	台紙に「水戸市 小貫玉真堂」とあり。
156	箱2	[集合写真]				台紙付写真1	台紙に「大阪市田 S. ICHIDA OSAKA & KOBE」とあり。
157	箱2	[集合写真]				台紙付写真1	台紙に「大阪市田 S. ICHIDA OSAKA & KOBE」とあり。
158-1	箱2	[封筒]		311-43 茨城県東茨城郡桂村錫高野 黒沢亀寿様B1362		封筒1	「タキイ種苗株式会社」の名入りの第三種郵便の封筒
158-2	箱2	[封筒]		311-43 茨城県東茨城郡桂村錫高野 黒沢亀寿様B1362		封筒1	「タキイ種苗株式会社」の名入りの第三種郵便の封筒
158-3	箱2	[封筒]		茨城県東茨城郡桂村錫高野 黒沢亀寿様B01362		封筒1	「タキイ種苗株式会社」の名入りの第三種郵便の封筒。中に三菱信託銀行からの開封済み封筒が6通入っている。中身・宛名なし。13. 12. 68の消印あり。
159-1	箱2	[領収書綴り]				冊子1	「一金 拾五銭 第一号 月 日 鯉淵善七様」などの領収書綴り。一枚ごとに割印(贈位禄…)あり。裏表紙に墨書で「二口ノ計金四拾四円口(破損)…」とあり。
159-2	箱2	[領収書綴り]				冊子1	「百廿七枚印」の墨書あり。「贈位禄口事務口口口」の角印あり。背表紙裏に「惣計百六円九拾銭…」とあり。破れ大。
159-3	箱2	[領収書綴り]				冊子1	「一金 壹円也 第壹号 月 日 高羽忠殿(角印)」ほか。割印あり。
159-4	箱2	[領収書綴り]				冊子1	領収書綴り。背表紙裏に「5689 五拾六円八拾九銭 六拾貳円四拾五銭」とあり。
159-5	箱2	[領収書綴り]				冊子1	領収書綴り。表紙に「第二号 領収書」と墨書あり。
159-6	箱2	[台紙]				包台紙1	「ヤマモト」の銘、草花模様の印刷あり。
160-1	箱2	祝祭費			明治41年4月13日	綴り1	10枚からなる。費用を出したその金額と人名の書上げ。人ごとに取りまとめる部分あり。寄附金綴りか。最後の1枚は「記」として、「岡本庄治郎様」とある。
160-2	箱2	①帳場調 ②[金銭書付]				状2	2枚とも金銭書付。「贈位禄口事務口口口」の朱印あり。
161	箱2	祭詞	高須鴻三		明治41年5月8日	状1、包紙1	黒沢止幾子の贈位にあたっての祝詞。業績等を讃える文。
162	箱2	祝辞	岩船村口 加藤木平次郎 謹言		明治41年5月8日	状1	黒沢止幾子を讃える祝詞。
163	箱2	祭詞	祝祭委員長勲七等高須彦助		明治41年5月8日	状1、包紙1	黒沢止幾子の贈位にあたっての祝詞。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
164	箱2	祭詞	岩船尋常高等小学校長 栗原勇一郎		明治41年5月8日	状1、包紙1	黒沢止幾子の贈位の祝典の時に用意された祝詞。
165	箱2	式辞	李恭会々長 坂本左狂		昭和12年2月22日	状1、包紙3	黒沢止幾子贈位五位30年記念の碑建立の除幕式においての式
166	箱2	祝辞	岩船村々会議員代表勲八等 田崎義友		昭和12年2月22日	状1、包紙2	黒沢止幾子贈位30年記念碑除幕式での祝辞。
167	箱2	祭詞	西郷尋常高等小学校長 島光之介		昭和12年2月22日	状1、包紙1	黒沢止幾子贈位30年記念碑除幕式においての祭詞。
168	箱2	祝詞	岩船村小学校代表岩船尋常高等小学校長 石川真澄		昭和12年2月22日	状1 包紙1	黒沢止幾子贈位30年記念碑除幕式においての祝辞。包紙上書きには「祝辞」とあり。
169	箱2	式辞	松岡秀国拝		皇紀2593年2月21日	状1	黒沢止幾子贈位30年記念碑除幕式においての式辞か。
170	箱2	祝辞	茨城県教育会長 山崎隆義		昭和12年2月22日	状1、包紙2	黒沢止幾子贈位30年記念碑除幕式での祝辞。
171	箱2	〔営業報告ほか〕	三菱金属鋳業株式会社ほか	黒沢亀寿	昭和20年代～30年代	状45	三菱鋳業・菱光産業の株主総会関係書類26通、年金関係書類5通、給与・税金関係書類5通、株主配当金関係書類2通、農業共済組合関係書類5通。
172	箱2	〔扇〕				扇1、箱1	扇面に「言忠信行篤敬…」とあり。
173	箱2	天地人字教鑑				冊子1	教本か。
175	箱2	〔由緒書〕				綴り1	弥平次ほか一家12名について。
176	箱2	第二回日本名宝展覧会目録並解説	(主催)読売新聞社		(開催期間)昭和5年4月19日～5月14日	冊子1 絵葉書1	展覧会出品目録とその売店で売られた絵葉書。総裁として閑院宮載仁親王殿下とあり。目録の中に手習い・メモとみられる一紙はさみこみあり。
179	箱2	〔和歌書付〕				まくり7	和歌を一首ずつ書いたもの7枚。
180	箱3	〔人名書付〕				状1	益子村飯塚庄五郎の子孫について。
181	箱3	登幾刀自の霊を祭る歌	ふゆ			状1	和歌一首書付。
182	箱3	〔家紋図〕				状1	丸に立葵の図。裏に日の丸の扇、他墨書あり。
183	箱3	(明治三十五年壮丁名簿)			明治35年	状12	徴兵にかかる調査簿か。印刷済みの用紙に墨字及び朱字で記入。1名につき1枚。住所・兵種番号・身分職業・仮決・終決・誕生・備考・体格等の項目あり。12名分。
184	箱3	〔俳句書付〕				状1	「元日や旅順に高き日の御旗」俳句一句。
185	箱3	〔標語もしくは手習いか〕	黒沢清一			状9	「増殖優良建築縮柔装飾豊富複雑絶壁 尋六 黒沢清一」 「紅の日の丸皇威の発揚 王家の紋章 成功を祈る 尋六 黒沢清一」他、同文章の書きかけ。
186	箱3	記念品贈呈者氏名	石塚町宮本新聞販売所	大字高久他5ヵ所の住人31名	(近代)	状1	大字高久、北方、孫根、錫高野、岩船、高根の住人31名に記念品を贈呈する旨の呼出し状。黒澤峯三郎の名あり。3月24日午前9時より大字高久競馬場にて贈呈式。
187	箱3	〔書付〕	送口 矢野口未定橋			状1	漢文の書付か。
188	箱3	〔絵図と拓本〕				状1	俊寛僧都の墓の絵と碑文の拓本。
189	箱3	〔和歌書付〕	青蓮院口御門葉 新品堂			状1	和歌書付。下部破損。
190	箱3	〔漢詩〕	録旧製 米良汲泉堂			まくり1	漢詩のまくり。未装丁。落款3つあり。
191	箱3	〔漢詩〕	口部後素拝		壬申歳之夏	まくり1、紙2	黒澤止幾子を讃える漢詩か。1枚はまくりで2枚は小型の縦長の用紙。1枚は上下に分断。
192	箱3	〔絵画等断片〕			①昭和11年1月1日	紙4	①朝日カレンダー昭和11年1月(錦木清方・風俗美人画)朝日新聞附録②多色刷り・白虎隊の自決場面③多色刷り・三本の矢場面(大観作か)④桜花図
193	箱3	①〔短歌書付・下書〕②獄中召口③〔漢詩下書〕④〔漢詩下書〕				状2、断簡2	①和歌4首書付(うち2首同一)②七言絶句の漢詩か③・④断簡、同一文面の漢文。罫線のある原稿用紙に書付。
194	箱3	〔書籍他代金書上〕				状・断簡・折紙等25点一括	
195	箱3	〔封筒〕				封筒1	「阿止幾伝 写真在中」とあり。中身なし。
196-1	箱3	〔売買の代金について〕	関口峰三郎㊞	久保田清蔵様	9月29日朝	状1	売買の一件について。富田南條両志人を以て江島氏へ相談、金銭の都合により手付金5円受取とすることについて。
196-2	箱3	①受取証 ②〔書簡カ〕 ③〔書簡カ〕	①錫高野売渡し人 江幡久米之介㊞ 立会口人 清水教介㊞ ②谷中より ③楓小路口	①上市楓小路 久保田清蔵殿 ②口澤様 ③峰三郎殿	①明治22年9月28日 ②11月9日 ③9月3日	封筒1 包紙1 状3	①宅地建家売渡しの手附金として受取、No.196-1の証文か。 ②療養について、他 ③病氣療養のこと、他

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
198	箱3	[金銭計算書]				状1	貸金の際の利子について
199	箱3	弁済證書	□□□□岡崎幣造 ^印 相□□□□□□ □□人 綿引精貞 ^印	黒澤峯三郎殿	明治39年8月29日	縦帳1	金15円、畑ほか返済のこと。登記済みの朱印あり。、
200	箱3	分籍御届扣	(黒沢とき)	(右村長 廣木新次郎殿)	(明治20年10月30日)	状1	黒沢ときの養曾孫峯三郎と曾孫まむの分籍届の控。控の作成者
201	箱3	約定証扣	(東茨城郡岩船村大字錫高野黒沢峰三郎 組合立合 鯉淵兼四(次カ)郎 同 清水教介)	(黒沢口四郎殿)	(明治22年12月25日)	状1	生前のとき、死後までの世話についての控。控の作成者は一。
202	箱3	証				折紙1	金銭書付。惣々274円。
203	箱3	①郵便送達證書 ②不動産強制競売申立取下願 ③[封筒]	①水戸区裁判所書記課 石塚郵便局配達人大森信次郎 ^印 ②右債権者 大森周兵衛 ^印 債務者 黒澤峯三郎(角印) ③水戸区裁判所書記課	①黒澤峯三郎 ②水戸区裁判所判事 中川正 雄様 ③東茨城郡岩船村錫高野 黒 澤峯三郎様	①明治44年9月22日 ②明治44年9月22日 ③明治44年9月26日(消 印)	①状1 ②綴1 ③封筒1	①印刷の郵便の配達証明。44年第32号。割印。 ②「中崎謙用紙」という便箋を使用。不動産の詳細について。登記 済の朱印あり。 ③朱印にて、「書留 訴訟書類」とあり。
205	箱3	①借用証 ②[計算書カ]	①岩船村大字錫高野 借用人 黒澤峰三郎 (角印)	①石塚村 岡崎幣造殿	①明治40年6月14日	①状1 ②状1	①金拾円正しく受取借用、ただし利子は年2割。 ②利子計算書か。
206	箱3	弁済証	東茨城郡石塚村石塚91番地 賃権者 俵口 之吉(角印)	同郡岩船村錫高野89番地ノ1 黒澤峯三郎殿	明治40年9月7日	状1	金80円、錫高野土地登記第119号により賃仕金、弁済受候。印紙 あり。
207	箱3	弁済証書	東茨城郡石塚村那珂西1096番地 寺門末 吉(角印)	東茨城郡岩船村錫高野89番地 ノ1 黒澤峯三郎殿	明治42年5月3日	状1	金120円、明治41年6月19日申請の錫高野土地登記第119号、他6 通の抵当権登記に対する貸付金弁済が成立し、受取ったことにつ
208	箱3	分筆二付登記申請書	東茨城郡岩船村錫高野89番地ノ1 黒澤峯 三郎 東茨城郡石塚村石塚51番地 代理人岡崎 幣造(角印) 代書人 飯村弥一郎 ^印	水戸区裁判所石塚出張所御中	明治41年6月19日	綴1	錫高野字佐久田1824-1の分筆申請書。
209	箱3	契約証	契約人 岡崎幣造(角印) 同 黒澤峰三郎 (角印) 同 □□新太郎 ^印		明治40年8月31日	状1	土地抵当のため、80円の貸借となり、それについての契約書。岡 崎幣造においえて、黒澤峰三郎へ用立つべきこと。
211	箱3	[田畠書上]				状2	田畠の広さ、種別、金銭(税か)書上げ。
212	箱3	[書簡]	水戸市口町 石川尚功	東茨城郡岩船村大字錫高野字 亀塚(澤カ) 黒澤様	(明治)36年1月12日(消 印:13日)	封緘葉書1	新年の挨拶、田畑返地のことについて。
213	箱3	催告状	蛭町亀太郎	黒澤峰三郎様	大正2年第7月24日	状1 封筒1	利息合わせて金39円73銭4厘の貸付について何の連絡もないが、 不都合なので早く調金するようにとの催促状。
214	箱3	借用証	岩船村錫高野 借用人 黒澤峰三郎(角印)	石塚村 岡崎幣蔵殿	明治40年12月2日	状1	金拾円借用実正。年2割利息。
215	箱3	強制趣売取下申立		水戸区裁判所 判事 中川正 雄様	明治44年月日	状1	裁判の終結について。申立の下書か。
216	箱3	[書簡]	すかより	御祖母様	(明治)36年1月12日(消 印:13日)	状2	祖母の体を心配する内容。長女こんの病について。長女こんと婿 養子峰三郎との入籍、戸主の変更についてなど。
217	箱3	印形預り証	水戸市上市仲町六十□□ 岡崎幣造(角 印)	黒澤峯三郎殿	明治40年9月3日	状1	認印1個預りについて。
218	箱3	記(借入金及び利金書上)	俵口之吉	黒澤峰三郎様	明治39年5月29日	状1	金銭内訳
219	箱3	記(借入金及び利金書上)	岡崎幣造	黒澤峯三郎様	6月20日	状1	金銭借用内訳
220	箱3	記(借入金内訳)	□□作一郎 ^印	黒澤峯三郎様	6月19日	状1	金銭受取、内訳。
221	箱3	記(催促状)	蛭町亀太郎	黒澤峰三郎様	大正3年第1月19日(包 紙:2月7日)	状1 包紙1	二口々金四拾参並式拾八銭九厘五毛
222	箱3	①[書簡] ②[書簡] ③[封筒]	①寺門老人 ②中条 ③寺門老人	①黒澤君 ②黒澤口 ③黒澤君	③□3月11日	①状1 ②状1 ③封筒1	
224	箱3	[達書](樺山資之殿宅江出頭罷様可相達)	茨城県	右村三長中	5月14日	状1	黒澤登幾について、旧知事家より下物があるので、樺山資之宅へ 出頭することについて。
225	箱3	[封筒]	水戸税務署	東茨城郡石塚村大字石塚水戸 区裁所石塚出張所内 住谷松 太郎殿	(明治)44年11月8日	封筒1	切手あり。
226	箱3	[封筒]				封筒1	「御嶽教常磐教会所 創立認可書」とのみあり。
227	箱3	星の喩し発行の旨趣	星の喩し発行事務所(角印)		明治42年2月	紙1	黒澤止幾子の伝記・遺稿・和歌などを編集した『星の喩し』の発行 趣旨と賛助員などについて。印刷物。
228	箱3	安政五(年中時事書上)				状1	安政五年の出来事について。
239	箱3	[李恭会協賛願]	李恭会会長 坂本左狂	小学校職員各位 玉机下	昭和11年9月10日	紙1	印刷。黒澤止幾贈従五位30年記念として李恭会を設立、その協賛 の願い。
240	箱3	[原稿]				状5(綴1)	原稿用紙五枚、こよりあり。黒澤止幾子との書簡の写し、止幾子の 歌などをまとめたものか。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
241	箱3	織錦回文之詩				状1	墨書と朱丸印。大きくは縦五字、七行。1字を菱形に囲むように漢字3字を配す。角に朱丸印。
242	箱3	[書簡カ]	と□□㊦	黒澤様	12月23日	状3	黒澤止幾子の建碑について。雑誌(いはらき新聞)掲載記事の取り消しについて。
245	箱3	[和歌書付]				状1	「ときより」とする和歌1首、ほか。
246-1	箱3	[原稿](碑銘文、菅家遺誠語ほか)				状3	原稿用紙。1枚は半分。「右兵衛大尉紀維貞」が記した建碑銘文。和歌書付、「菅家遺誠語」。
246-2	箱3	[和歌草稿カ]				状1	黒澤止幾子伝記作成のための原稿の一部か。寄せられた和歌のとりまとめか。「下総布佐 □友庵 森田善男」とあり。
247	箱3	年賦 黒澤止幾				状1	原稿用紙。黒澤止幾子の御嶽教関係の年賦。「明治20年3月14日補権大講義」から「11年7月20日阿登幾伝送与」まで。
249	箱3	諸人心得の事				状1	平成の心得について、訓示。
250	箱3	[書簡]	清蔵拝	峰三郎様	10月17日	状1	金子都合のこと。
251	箱3	李恭会趣意書並清規附会員名簿				包紙1	包紙のみ。
252	箱3	[書付カ]				状1	綴りの内の1枚か。「茂木細川藩士中村智光城山先生詩歌」、「弘道館」、「□黒澤女史」などについて。
255	箱3	述懐(和歌書付)				状1	短歌等書付
256	箱3	[説明書]				状1	回文の説明書。No.241の回文詩の解説か。
258	箱3	祝黒澤止幾子刀自御贈位				状1	黒澤止幾子贈位に関する祝の歌か。「石塚薬師寺常葉純昌、清音寺55世楠系末葉竹村元順和尚」とあり。
263	箱3	[黒澤時子について]	右□□黒澤峰三郎		昭和3年3月15日	状1	黒澤時子の生没年、号、雅号、和歌について。
264	箱3	[黒澤時子について]	(石塚薬師寺 常葉純昌カ)			綴1	黒澤止幾子の生い立ちなどについて。「鯉穆未定稿」とあり。常葉純昌による漢詩あり。
266	箱3	急用、記	仲町305番地 加藤木駿叟	亀澤二而 黒澤お登幾様	5月29日、5月31日	綴1	黒澤登幾の行状について、他。
267	箱3	川崎君墓誌銘				綴1	黒澤菅子の夫、琨子の実父である川崎近義の墓誌銘について。篆額は吉川安寿彫とある。明治18年6月23日立石とあり。No.268とともに綴られる。
268	箱3	四季の長歌				綴1	黒澤止幾子による長歌と反歌の写しとみられる。No.267とともに綴られる。
269	箱3	[歌書付]				状1	黒澤止幾子の歌書付。明治8年冬に詠んだもの。止幾子73歳とあり。峰三郎による写しか。
270	箱3	[李恭会発足の知らせ]	李恭会会長 坂本左狂		昭和11年9月10日	紙1	印刷物。協力を頼む内容。
271	箱3	(寄付について)	門人 武井幸五郎 年78才	錫高野青年会会長鯉淵一郎殿	昭和12年1月30日	状1	黒澤止幾子記念碑建設地の土工用手作り縄を寄付することについて
273	箱3	[和歌書付]	名古屋市南口瑞穂町口下ノ切38 大濱義明 拝	茨城県水戸市北三の丸126 坂本左狂殿	(昭和11年)8月7日	綴1(便箋3、封筒1)	和歌12首書付。赤字で左狂による注意書あり。和歌は左狂所蔵のもので、この書(書状か?)は大濱義明の写したものである旨。
274	箱3	[止幾子の書がある屏風について]	塩子にて 黒澤	立林先生	2月23日	状1	黒澤止幾子が小林家へ泊まった時、依頼により歌を書いた屏風の行方について。
275	箱3	[写真]				写真1 状1	加藤木駿叟の和歌とみられるもの3首の短冊を写した白黒写真。原稿用紙に写真が貼ってあり、「四寸位」と書き込みあり。軸装に仕立てる案か。
276	箱3	[記念碑建設について]			昭和11年4月5日	縦帳1	記念碑(贈位30年のものか)建設の協力者書上げ、建立の計画の書付か。「群馬県新田郡笠懸村四天王山 松岡秀國」の付札あり。
277	箱3	祀黒澤時子祝詞	渡邊正順 稿			綴1(状4)	祝辞の原稿か。
278	箱3	[国歌歌詞]			昭和4年11月3日	状3	君が代の歌詞。印刷、同一のもの3枚。「国歌五十年記念」「贈従五位黒澤止幾子之筆蹟」とあり。
279	箱3	山岡鐵舟婦人英子談話 女士道				綴1	「幕末に於ける賢婦人」として、黒澤止幾子について讃えているものを書きとったとみられる。
280	箱3	[和歌書付]			(5月22日送ルとあり)	状1	黒澤止幾子の祖父、父、夫の死亡日書上げ、母に関する歌、他書付。(歌の作者は止幾子か?)朱字で注釈あり。
281	箱3	[和歌書付]				状1	黒澤止幾子(瀧女)の和歌書付。自筆か。
282	箱3	[新聞記事]	報知社、いはらき		大正2年5月5日、5月7日、5月10日、大正8年6	新聞4	報知新聞の記事:黒澤時子の伝記(連載)。「いはらき」の記事:水戸の烈士遺跡保存の記事。
283	箱3	[書上]				綴1	全国の学校書上げ。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
284	箱3	①黒澤止幾子李恭女史和歌集 ②去る明治ハツのとしの書			①安政6年末の3月 ②—	①状2 ②状1	①黒澤止幾子の献上した長歌・反歌の写し。「黒澤李恭歌首再拜」とあり。②貞芳院より下賜された歌の写し。
285	箱3	[書簡]	群馬県新田郡笠懸村 松岡秀國	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峯三郎様	昭和4年11月5日	葉書1	記念碑建立について。
286	箱3	[書簡]	荒川村大字ハッ代 所木留五郎方やす子	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	10月12日(消印:5年10月13日)	葉書1	連絡、建物手伝いの件について。
287	箱3	[書簡]	東京市世田ヶ谷区羽根木町1801 藤田方 小林英三郎	茨城県東茨城郡岩舟村錫高野 黒澤峯三郎様	5月13日(消印:9年5月14日)	封筒1 便箋1	機嫌伺い、4月の祖父の法事の写真送付について。
288	箱3	貯蓄預金通帳	株式会社富国銀行本所支店	黒口口…(剥落)	大正2年4月1日	ノート1	富国銀行の預金通帳。持主は峰三郎か。毎月入金している。
289	箱3	覚	黒澤口口㊞	梅屋様	昭和12年1月28日	状1	「一、金参円 茶菓」「青年団様分」とあり。菓子代の書付か。
290	箱3	日光街道増井勝見津八景	(黒澤たき女)			状1	日光街道の八景それぞれについて詠んだ和歌。「黒澤たき女」とあるが止幾子自筆か写しかは—。
291	箱3	[漢詩]				状1	漢詩、五言詩か。
292	箱3	覚書	亀寿代黒澤峰三郎		(昭和9年10月8日～1月10日)	綴1	錫高野山ノ田2324番の土地について。買受・登記のことについて。その顛末か。
293	箱3	覚書	錫高野 黒澤亀寿代黒澤峰三郎		11月30日	状1	錫高野樋渡の原野2ヶ所について。不有の地につき立会、物品一時差し留めについて。
294	箱3	高羽吉十翁墓誌				状1	高羽吉十翁の墓誌銘文と地番の書上げ。墓誌銘文には「×」があり消されている。
295	箱3	[和歌書付]				綴1 状1	綴:安政2年～明治10年までの和歌書付。黒澤止幾子の作か。状:和歌他書付。常磐村戸長三田寺積善、西茨城郡大原村大字小原 九石こと根本亀吉による和歌。
296	箱3	[和歌書付]				綴1	「窓前梅」ほか、題と和歌の書付。「故冊より書抜き」とあり。
298	箱3	[俳句書付]			庚子皐月	状1	複数人による俳句書付。
318	箱3	借入金證書	東茨城郡岩船村大字錫高野60番地 借用人 黒澤峰三郎(角印) 同郡同村大字今口 証人 小林末吉㊞ 代書 明口弥一郎㊞	同郡同村口根 加藤木豊之介殿	明治26年2月9日	冊子1	金10円の借用書。抵当として畑2ヶ所、山林2ヶ所。
319	箱3	借用証	岩船村大字錫高野 借用人 飯村房次郎㊞ 同所 証人 大瀧倉次㊞	同所 黒澤峯三郎殿	明治35年5月28日	状1	籾1俵の借用証、返済期限は本年11月20日。
320	箱3	籾借用証	東茨城郡岩船村錫高野 借用人 大口口次㊞	同郡同村同所 黒澤峯三郎殿	明治口5年4月26日	状1	籾2俵の借用証。1俵に対し5斗入り、年2割の利子のこと。
321	箱3	記	三宅敏㊞	岡本口殿(君カ)	(明治)37年1月18日	状1	籾代金、畑小作料、合計金11円60銭請取。
322	箱3	證	大字錫高野 三村栄太㊞	同所黒沢君	明治38年第1月20日夜	状1	金3円65銭、明治37年第1月14日日付の御用立置き金の利子として請取のこと。
323	箱3	證	高須彦助㊞	黒澤峯三郎殿	明治36年1月18日	状1	金2円、31年9月貸付元金5円に対する利子として受取。
324	箱3	借用証	東茨城郡岩船村錫高野 借用人 高羽善五郎㊞ 連借 同 茂七郎 証人 高羽吉重㊞	同郡同村同字 黒澤峯三郎殿	明治35年4月16日	状1	籾2俵受取借用のこと。期限は本年11月20日限り。もし返済が滞った場合は加判人において引受弁償のこと。
325	箱3	証	高須喜助	黒澤峯三郎様	明治36年11月19日	状1	金5円、31年9月9日貸付、利子金4円75銭。
326	箱3	借入金証書	東茨城郡岩船村大字錫高野 借用人 黒澤峰三郎(角印) 同所証人 高羽保吉㊞	同所 武井藤介殿	明治37年旧11月29日	状1	金25円、抵当として籾5斗16俵。要用につき受取実証。38年1月23日皆済とあり。
337	箱3	[書付カ]				状3	3枚のうち2枚は繋がると思われる。破損大。歌などの書付か。
338	箱3	[漢詩書付カ]				状1	五行詩の漢詩か古典の書付か。
339	箱3	樟花切紙口伝書巻之五				状1	「牡丹之事」として牡丹についての書付。左側に漢詩の書付あり。
340	箱3	[和歌書付]				状1	「山中の郭公」ほか和歌書付。原稿用紙左半分。
341	箱3	聞説	岡田源英陸拝具			状1	「大日本帝國々会大元帥」、「板垣先生弁解…」とあり。
342	箱3	久口の事				状1	和歌のならいについて。
343	箱3	[包紙]	上市楓小路 久保田清蔵	錫高野村にて 関口峰三郎様	10月17日	包紙1	包紙のみ
344	箱3	[回文カ]				状1	升目に漢字を入れ、朱線でつなげている。回文の読み方か。
345	箱3	[金銭書上カ]				状1	金銭書上。
364	箱3	[墓石碑文カ]	孝子黒澤亀寿(建立者)		昭和3年3月11日	拓本1	家族の嫁ぎ先・没年などについて。(誰の家族かは—)墓石の碑文の一面か。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
365	箱3	[墓石碑文カ]				拓本1	黒澤止幾子の親族について。墓石の碑文の一面か。No.364の続きとみられる。
366	箱3	祀黒沢止幾子祝詞	渡邊正順			綴1	黒澤止幾子の贈従五位に際しての祝詞か。
367	箱3	[書簡]	石塚村字 高塚宗七拜(角印)	黒澤老基口下	1月12日□□二時	状1 封筒1	封筒の上部は開封のため欠損。
368	箱3	[墓石拓本:正面]				拓本1	「黒澤琨子墓」とあり。No.364、365の続きか。
369	箱3	[墓石拓本:辞世句]				拓本1	辞世の歌2首。No.364、365、368の続きとみられる。
370	箱3	故黒沢止幾子刀自の御贈位を祝ひて				状1	正六位勲四等菅村武救他4名による祝の和歌書付。
371	箱3	和歌懇請	常陸國東茨城郡岩船村大字錫高野 贈位祝祭事務所		明治41年カ	紙1	印刷物。黒澤止幾子贈位に際して募った歌の募集要項。「寄歌懐旧」「御贈位を祝ひて」との題で募集。後半に止幾子の業績を記
372	箱3	「黒澤止幾 履歴書」及び「贈従五位伝黒沢止幾子事蹟」	履歴書:右□□保岡源八郎氏書するすもの也とあり			綴1	履歴書:黒澤止幾の生まれ、事蹟についての書付のあと、「右之通相違無御座候也」として黒澤止幾の名あり。事蹟:黒澤止幾の事蹟について書付。注釈などあり。
373	箱3	[御嶽教常磐教会所神殿修繕賛助者名簿]	東茨城郡岩船村錫高野 御嶽教常磐教会所(角印) 故止幾子遺族 現教会長 黒沢峰三郎(角印)		大正2年6月	冊1	常磐教会神殿大破のため、黒沢止幾子の遺墨を掛物として頒布し純益を以て修繕することを目的、そのための賛助者名簿。42名の名前あり。
376	箱3	[書簡]	水戸市新莊1-2-34 青藍会 名越時正	東茨城郡桂村錫高野 黒澤やす子様	(昭和53)4月29日	状3 封筒1	訪問・遺品拝観の御礼。
377	箱3	[霊位新調覚書]	飯村与五郎			状1	祖先・親族の没年等書上。34年2月15日焼失、同年招魂祭の上霊位新調、とあり。
378	箱3	誓約書	芳賀郡茂木町大字砂田206番地 星野進 [㊞]	御嶽教常磐教会会長 少教正 黒澤峰三郎殿		状1(綴の中の1枚)	教会に入会し規定を守ることの誓約書。No.384まで一括で綴り。
379	箱3	誓約書	西茨城郡七会村小勝41番地 菅谷喜平 [㊞] 証人 瀧詮常 [㊞]	御嶽教常磐教会会長 少教正 黒澤峰三郎殿	明治42年月日	状1(綴の中の1枚)	教会に入会し規定を守ることの誓約書。No.378~384まで一括で綴り。
380	箱3	誓約書	那珂郡八里村大字入木郷18番地 桑名末吉 [㊞] 証人 西茨城郡伊勢畑村大字上伊勢畑 宮	御嶽教常磐教会会長 少教正 黒澤峰三郎殿	明治43年1月12日	状1(綴の中の1枚)	教会に入会し規定を守ることの誓約書。No.378~384まで一括で綴り。
381	箱3	履歴書	菅谷忠兵衛 [㊞] 証人 瀧詮常 [㊞]		明治42年月日	状1(綴の中の1枚)	菅谷忠兵衛が消されて喜平となっている人物の履歴書。誓約書に付けられたものか。No.378~384まで一括で綴り。
382	箱3	履歴書	桑名庄衛門 [㊞] 証人 権少講義 宮下新介 [㊞]		明治43年1月12日	状1(綴の中の1枚)	桑名庄衛門の履歴書。誓約書に付けられたものか。No.378~384まで一括で綴り。
383	箱3	誓約書	那珂郡八里村大字入木郷18番地 桑名庄衛門 [㊞] 証人 東茨城郡伊勢畑村上伊勢畑 宮下新介 [㊞]	御嶽教常磐教会会長 少教正 黒澤峰三郎殿		状1(綴の中の1枚)	教会に入会し規定を守ることの誓約書。No.378~384まで一括で綴り。
384	箱3	[寄贈]	(栃木県芳賀郡西大芳村大字上大久保86番地平民 星野進)			状1(綴の中の1枚)	栃木県芳賀郡茂木町砂田の地について。破損大。No.378~384まで一括で綴り。
385	箱3	[書簡]	東京市神田区東紺屋町51番地 神道巴教創立事務所にて 吉田彦七郎 [㊞]	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野常磐教会会長 権少教正 黒澤峰三郎殿	(明治)28年5月14日	状1 封筒1 包紙(白紙)1	納金取立のことについて。8名の名あり。
386	箱3	[書簡]	東京市神田区東紺屋町51番地 神道巴教創立事務所 ㊞(吉田)	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野常磐教会会長 権少教正 黒澤峰三郎殿	(明治)28年9月26日	状1 封筒1	教会の独立・会議の開催等についての相談か。
387	箱3	御伝法書	関口田三郎		明治17年10月10日	冊1	信仰について書かれたもの。「みろく」「伊勢」と文中にあり。「不二行者」とあり、不二講についてのものか。
388	箱3	[書簡]	那珂郡大宮町 白旗春吉拜	東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	大正4年8月28日	状1 封筒1	町内との交際のため、教会の担任教師を辞職したことについて。報告と返事の催促。
389	箱3	[姥賀巴分教会会長解任の願]	少教正黒沢峰三郎(角印) 他、信徒惣代、地主	御嶽教管長正六位 神官 日高寿殿	大正4年9月1日	綴1(No.390と一緒に綴る)	那珂郡大宮町字姥賀の教会長であった白旗春吉について、別紙陳情書の通り解任してほしいという信徒惣代による願書を、黒沢峰三郎が受け取り、改めて副状を付け御嶽教管長に送っている。No.
390	箱3	[姥賀巴分教会会長解任の願]	右信徒惣代 大賀口蔵 [㊞] 他12名、地主1名	御嶽教管長正六位 神官 日高寿殿	大正4年8月24日	綴1(No.389と一緒に綴る)	那珂郡大宮町姥賀の教会長白旗春吉の就任までの経緯、その後の職務怠慢のことについて。解任願い。
391	箱3	茨城県那珂郡大宮町姥賀巴分教会会長之件二付上申 扣	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 少教正 黒沢峰三郎(角印)	御嶽教庁庶務課御中	大正4年9月3日	状1	姥賀巴分教会会長白旗春吉の解職と和解の件について上申のこと。
392	箱3	いろはきゆうくん(教訓)				状2	生活状のいましめを「いろは」の頭文字ごとに書きあげたもの。「く」まで。
394	箱3	御神伝 宝神丹	関口峰三郎		明治13年正月27日朝	状1	宝神丹という薬の調合と効能について。
395	箱3	[薬の説明・開発の意図について]				状1	薬(何の薬かは-)の開発意図と効能、服用方法について。「草稿成」とある。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
396	箱3	祈祷式執行御届	茨城県東茨城郡岩船村大字錫高野 御嶽教常磐教会職員惣代 祭主 権少教正 黒沢峰三郎(角印)		明治27年9月1日	綴1	戦争に際し、敵国降伏のための祈祷を行うことについて。
397	箱3	神理教大教殿造営趣意書	福岡県企救郡東紫村大字徳力神理教本院内神理教大教殿造営局 総理男爵 小川又次 局長 新大教主 佐野商嶺		明治40年4月	紙1	印刷物。教殿造営の趣意書・許可指令の写し。
398	箱3	御嶽山社殿修営之記	(発起者)下野国河内郡宇都宮町大字元石町御嶽巴講社教会所 篠崎正作 ^④ 他4		明治26年1月	冊1 包紙1	社殿修営に至るまでの経緯と目的について。印刷物。
410	箱4	戻駕色相肩	坂川平四郎			刊本1	常磐津の教本とみられる。後欠。
411	箱4	[教本カ]	□(利カ)神仙			刊本1	常磐津の教本とみられる。後欠。中に「積恋雪関扉」と題目あり。
413	箱4	[常磐津などの教本カ]				刊本1	常磐津などの芸能の舞台教本とみられる。「和田合戦女舞鶴」「櫻丸切腹段」など収録。表紙劣化により題目不鮮明。
414	箱4	[手本カ]				状1	前欠。熟語の羅列。習字などの手本か。
415	箱4	[手本カ]				状1	習字などの手本か。前欠とみられる。上部に糊はがれの跡あり。No.414の続きか。
416	箱4	[願文カ]	錫山居士黒沢良知			断簡1	「奉献薬師十二神仏光増口園土安」とあり。
417	箱4	[手本カ]				状1	習字などの手本・もしくは手習いか。
418	箱4	[写しカ]				状1	後欠・破損大。論語など儒教関連の教えの写しか。
419	箱4	[白紙]				紙1	
420	箱4	[拓本カ]				断簡2	拓本もしくは木版等の刷物とみられる。上部2片のみ。
421	箱4	[白紙]				紙2	同じ大きさの白紙2枚。1枚は模様あり。料紙か。
422	箱4	巧日□□				布1	扇の表に張る布に書付。「遼東」とあり、日清戦争の頃のことを書いたものか。
424	箱4	寄日述懐	黒澤よし知			短冊1	和歌書付。裏に「黒澤よし知七十九叟」とある。「よき子詠」とある。とき子の作を峰三郎が写したのか。
425	箱4	孔子	黒澤よし知			短冊1	和歌書付。裏に「黒澤よし知七十九叟」とある。「よき子詠」とあり、とき子の作を峰三郎が写したのか。
426	箱4	雨後柳	三郎			短冊1	和歌書付。「三郎」とあり。峰三郎のことか。
427	箱4	[和歌書付]	黒澤時子			短冊1	和歌書付。「黒澤時子」とあり。写しか。
428	箱4	[和歌書付]	(落款あり)			短冊1	和歌書付。
429	箱4	[和歌書付]				短冊1	和歌書付。
430	箱4	[白紙]				短冊41	白紙の短冊41枚
431	箱4	[書付]				状1	「黒澤李郷」との文字のみ。綴りなどの表紙か。
432	箱4	明治天皇御製 桜 ほか			7月14日	綴1	明治天皇の詠んだ和歌について。他、蓮田市五郎の書簡など。
433	箱4	乍恐奉口天子江長歌			(明治40年以降)	縦帳1	長歌とそれに対する反歌などの書付。「安政六のとしの弥生」、「黒澤李恭」が久方の雪上の庭をみてのものという但し書きがある。また明治40年11月に従五位を贈られたとある。
435	箱4	御短冊	丹青堂			短冊1厚紙1	短冊用紙50枚綴りの表紙と厚紙。
436	箱4	暁時鳥				短冊1	和歌書付。「とき子詠」とあり、写しか。
437	箱4	[書書付カ]				断簡1	書の断片か。
439	箱4	[薬の服用法について]				状1	後欠。ハス之薬他、各種薬の用法と用量について。
440	箱4	水戸義公銅像建設主旨書	水戸義公銅像建設主唱者敬口…(破損)		明治36年2月	紙1	印刷物。裏面に水戸義公銅像建設手続書、源義公略年譜あり。
441	箱4	[新聞記事切抜](「膳の上にお百姓」)				紙片1	コラム「膳の上にお百姓」。・水戸列公教訓の遺物・新渡戸博士のお土産。東京音楽学校奏楽堂にて第4回報徳婦人会開催時の新渡戸博士の演説を記した。斉昭の農人形に関するエピソード。
442	箱4	乍恐書付を以奉願上候事	錫高野 惣介、弟庄治口(虫損。平カ)		弘化2年正4月	状1	裏打あり。御救を求める嘆願書か。
444	箱4	[呈上]	黒澤李恭カ			断簡1	書状の包紙の断片か。
445	箱4	[家禄高書上](下書カ)				紙1	「家禄高現米拾石 常州茨郡 錫高野邑 祖父宝寿院吉莊 養父宝寿院助信 黒澤李恭 文化三年丙寅十二月廿一日誕生」とあり。裏書あり。
446	箱4	[包紙断片]				紙片1	こより付き。「借用 黒澤女史」とあり。墨書の切れ端の付着あり。切手貼付あり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
500	箱4	[書簡]	遼陽桜木町 有馬賛雄	茨城県東茨城町岩船村錫高野黒澤峰三郎様	6月4日	状2封筒1	国学院大学の弁論部が6月7日に講演会を開くが、病気のため行けないので講演を聞いてその模様を伝えてほしいという依頼。
501	箱4	[書簡]	下館郡新花町西口濱田清枝	東茨城郡岩船村錫高野黒澤峰三郎様	2月2日	状1封筒1	黒澤止幾子は女子教育上最も亀鑑となるが、(手元の)略歴が正確でないので、略歴とその遺墨を送るよとの依頼、他。
502	箱4	[書簡]	兼松町二而久保田清蔵	錫高野之内亀澤口口 上市口口	7月22日	状1封筒1	
503	箱4	[書簡]	水戸市大字上市程五軒町廿一番地 黒澤共四郎	東茨城郡岩船村錫高野八拾九番地関口峰三郎様	(明治)22年12月15日	葉書1	
533	箱4	[人物の伝記の一部カ]				状1	前編63頁、袴塚周蔵について。勤王の働き(斉昭の雪冤活動)のこと。伝記・列伝の一部か。
534	箱4	朝日新聞	朝日新聞社		昭和45年11月7日	新聞1	「習字お手本」とあり。手本を挟んでいたものか。
535-1	箱4	合格通知書	日本書道技能検定審査会会長 品川耕徳(角印)			紙1	毛筆の部八級の合格通知書。切り取り済み。
535-2	箱4	[広告]	永岡書店・日本書道教会代理部			紙1	書籍の広告『初歩の書道教本』。
591	箱4	[曾祖母止幾死去之旨、会葬礼状]	黒澤峰三郎	川邊善固様	明治23年5月23日	状1	黒澤止幾子の死去に際しての、貞芳院らの弔いについての手紙。
592	箱4	(題有村口貫赤鬼頭之図)				状1	尊王に関する漢詩か。
593	箱4	[人名書上]				状1	「孫根村いも」他8名の氏名あり。
595	箱4	[書簡](登幾子辞世の歌三首)	水戸市梅香加藤木峻叟	東茨城郡岩船村大字錫高野黒澤峯三郎様	5月5日、9日	状2封筒1	登幾子の辞世の歌三首書付と、そのことについての書状。
599	箱4	[漢詩]	関口峰三郎		乙亥歳首	まくり1	漢詩か。関口峰三郎試毫とあり。
600	箱4	[和歌書付]	九十八叟口口			まくり1	和歌書付。
601	箱4	[和歌書付]	口口口			状1	和歌書付。
602	箱4	[詩句彫物下図カ]				状1	筆跡を墨線で象ったもの。彫物の下図か。
603	箱4	道中歌	口口口			状1	歌書付。末尾に「よろしく」とあり。No.601と同一人物の書か。
604	箱4	[和歌書付]				状1	和歌三首書付。
605	箱4	[歌書付]				状1	和歌もしくは俳句の書付か。
606	箱4	[神像カ]				絵図1	中国の神像4体の絵か。フツキ(伏羲か)、シンノウ(神農か)、クワウテイ(黄帝か)、カノウヲウ(夏の禹王か)、とあり。
607	箱4	[書簡カ]	完(穴カ)戸義処(花押)			状1	穴戸氏の由来などを書いたものか。
608	箱4	[和歌書付]				状1	和歌等書付。
609	箱4	[書]	七十歳口口口			まくり1	前部欠損、後部破れ。「口口病則用口薬」とあり。
610	箱4	[書](漢詩)	口口口...			まくり1	漢詩か。
611	箱4	[菅原道真公印刷物]	会津猪苗代小平瀧の神社カ			紙1	参拝者向けに販売していたものか。上部に由緒、下部に菅公の姿を配したもの。
612	箱4	[木像由緒書断片]				断筒1	「武州多磨郡谷保村梅香山松壽院安楽寺 菅相公自作」とあり。木像の詳細について。
613	箱4	加倉井砂山先生拝毫六枚屏風				状1	加倉井砂山拝毫の屏風について、内容及び状態の控か。19行の漢詩文、落款を写す。
614	箱4	[書]	栖雪口士(書)(角印)			まくり1	裏打済、一紙ものの書。4片に分断。
616	箱4	[茨城日報附録の書]	茨城県水戸市大字上市泉町茨城日报社		明治24年1月5日	状1	茨城日報1385号附録。扇面に書いた書。「東栄堂石版印行」とあり。印刷所か。
617	箱4	鶉(和歌書付)	口口			状1	紙に扇面の枠線を取り「鶉」と題する和歌を書いたもの。下書か。
618	箱4	読拝齋小集	景山(角印)(角印)			状1	漢詩(七言絶句)か。
619	箱4	[漢詩書付]	光國		承応癸巳元旦	状1	七言絶句の漢詩。徳川光圀の作の写しか。梅花の台紙に貼付られている。
620	箱4	[茨城日報附録]	茨城日报社		明治26年1月1日	状1	扇型の紙に漢文書付。茨城日報1989号附録。口口居士の七言詩
621-1	箱4	高愈仰				まくり1	扁額のまくり。傷み大。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
621-2	箱4	[朱喜書の写し]	柯亭琴士泰(角印)			まくり1	尺5、まくり(無装)。
622	箱4	[依頼書]	桂村長 大森三千三	納税組合長殿	昭和46年4月20日	紙1 封筒1	昭和46年度の自動車税、固定資産税一期分の納付書の配布依頼書。印刷。桂村の納税通知書の封筒。再利用した形跡あり。
623	箱4	信号機の見方・使い方	水戸警察署阿波山坏警察官駐在所桂村交通安全対策口議会			紙1	新しく設置された信号機の説明書。印刷物。
624	箱4	自主番組予定表	(茨城放送カ)		(昭和)47年(4月)	紙1	有線放送の番組予定表。1日～30日まで。毎朝6時15分から茨城放送で15分間。
625	箱4	大山寺調査及び舟塚古墳見学について	桂村史談会会長 大森清	黒沢亀寿殿	昭和47年4月12日	紙1	調査・見学会について知らせ・招待。
626	箱4	国民健康保険老令者医療手当金支給について	桂村長 大森三千三	黒沢亀寿殿	昭和47年3月18日	状1	老令者医療手当金として498円支給されるので取りに來いという通知書。
627	箱4	有線放送電話使用料の納入方について	桂村長 大森三千三		(昭和47年3月31日以前)	紙1	電話使用料の納入協力依頼。
628	箱4	有線放送自主番組予定表	(茨城放送カ)		(昭和)47年(6月)	紙1	昭和47年6月分の番組表。毎朝6時15分から、茨城放送にて15分
629	箱4	御年始 ほか [のし紙]				のし紙6、懐紙1	①御年始…関本、②志…高羽家、③快気祝…鯉淵実、④祝敬老…桂村、⑤寿(松山菓子店)、⑥(懐紙)、松山菓子店、⑦寿…中崎家、黒沼家。
630	箱4	[白紙]					
631	箱4	定時株主総会決議御通知	東京都千代田区神田神保町2丁目1 菱光産業株式会社 取締役社長 中島孚	株主各位	昭和44年5月28日	紙1	第44回定時株主総会の決議についての通知。
632	箱4	バスの乗車場所及時間について				紙1	バスの停車場所とその時刻 山崎停留所8:30、三本木停留所8:35、松山商店前8:40、縁原停留所8:45。
633	箱4	①、②御礼 ③神前	①、②茨城県 ③黒沢亀寿	①、②黒沢亀寿		祝儀袋3	茨城県から黒沢亀寿あての祝儀袋2枚(①、②)、2000円と3000円。黒沢亀寿名の「神前」の祝儀袋1枚(③)、1000円。
634	箱4	昭和45年2月分引受建物共済証券配布について	桂村建物共済推進協議会会長 大森三千	納税組合長殿	昭和46年3月16日	紙1	標題の件について、管轄内の該当者へ配布するよう依頼したも
635	箱4	昭和44年度優良納税組合表彰者名簿	桂村		昭和45年6月6日	冊子1	表彰式の式次第、名簿・成績の一覧など。樋渡納税組合の箇所に蛍光ペンで印あり。黒沢亀寿の管轄か？
636	箱4	昭和45年度優良納税組合表彰式	桂村		昭和46年7月3日	冊子1	式次第と表彰納税組合名、納税成績表など。
637	箱4	納税貯蓄組合設立届、納税奨励金規定	桂村錫高野樋渡部落樋渡納税貯蓄組合代表 黒沢亀寿	茨城県知事殿	昭和34年1月26日	綴1	印刷物、設立届と規約の綴り。
638	箱4	敬老者名簿	桂村		(昭和42年度)	冊子1	式次第、字ごとの名簿。
639	箱4	[クラブ会員書上カ]	老人クラブ錫高野モモ寿会		昭和41年	紙1	大住、塙ほか7つの字に住む会員と思われる人名の書上。
640	箱4	昭和46年度分市町村民税県民税申告書の書き方			(昭和46年)	紙2	所得と控除の書き方について、同一のもの2枚。鉛筆で書きこみあり(2枚とも)。「申告は三月三日午前九時より午後四時まで公民
641	箱4	昭和47年度分市町村民税県民税申告書の書き方			(昭和47年)	綴1、(表紙)紙1	所得と控除の書き方説明書と、申告書、昭和46年分農業所得標準がセットで綴りになっている。書き方の紙1枚のみのものあり。
642	箱4	昭和46年分農業所得標準			(昭和47年)	紙1	桂村の農業所得標準の表と計算方法。
643	箱4	昭和45年度国民健康保険税第4期分納付書配布方依頼について	桂村長 大森三千三	納税組合長殿	昭和45年11月17日	紙1	該当者への配布依頼。
644	箱4	昭和45年度固定資産税自動車税第1期分納付書配布方依頼について	桂村長 大森三千三	納税組合長殿	昭和45年4月18日	紙1	該当者への配布依頼。
645	箱4	老人福祉法による健康診査の実施について	桂村長 大森三千三	黒沢亀寿	昭和45年3月 日	紙1	健康診査の日程と場所のお知らせ。
646	箱4	昭和46年度固定資産税第3期分納付書配布依頼について	大森三千三	納税組合長殿	昭和46年12月14日	紙1	該当者への配布依頼。12月25日まで。
647	箱4	国民健康保険老令者医療手当支給について	桂村長 大森三千三	黒沢亀寿殿	昭和46年12月18日	紙1	金90円、手当金として支給の通知。昭和46年12月23日に印鑑持参のこと。
648	箱4	史談会開催について	桂村史談会会長 関一	史談会員殿	昭和45年3月20日	紙1	史談会開催の内容について。日時:3月27日午後2時。場所:中央公民館。議案:古文書の解説・文化財保護条例について。講師:沢山小学校長 綿引晃先生。
649	箱4	桂村史談会会議要項	(桂村史談会か)		(昭和44年8月11日 PM13:00)	紙1	会議の内容について。「講師:茨城県教育庁社会教育主事 大森信英先生」。講義を聞いてとったとみられる鉛筆書きのメモあり。
650	箱4	桂村創立15周年行事の準備会について	桂村文化財調査委員会、桂村史談会会長 大森清	黒沢亀寿殿	昭和46年11月24日	紙1	12月7日に行なう文化財の展示に向けての準備会のお知らせ。
651	箱4	昭和44年度建物共済証券配布について	桂村建物共済推進協議会会長 大森三千	納税組合長殿	昭和45年4月13日	紙1	該当者への配布依頼。
652	箱4	昭和45年度分市町村民税県民税申告書の書き方			(昭和45年)	紙1	所得金額・控除の書き方について。
653	箱4	昭和45年分農業所得標準	桂村		(昭和46年か)	紙1	所得標準表と計算方法。鉛筆書きで書きこみあり。「申告日は三月三日午前九時より午後四時まで公民館」。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
654	箱4	昭和44年分農業所得標準	桂村		(昭和45年か)	紙1	所得標準表と計算方法。
655	箱4	[特売のチラシ]	問屋(株)東京百貨		(昭和)	紙1	問屋の安売りの広告。
656	箱4	未納者や未加入者に年金の危機、奥さんのための国民年金	桂村		(昭和)	紙2	国民年金の重要性和未納者・未加入者の納入促進についてのお知らせ。
657	箱4	年末防犯だより	阿波山圀警察官駐在所		(昭和)	紙1	交通事故防止・狩猟事故防止などの注意喚起のためのチラシ。
658	箱4	定時株主総会決議御通知	東京都千代田区神田神保町2丁目1番地 菱光産業株式会社 取締役社長 中島孚	株主各位	昭和46年11月25日	綴1	第49回定時株主総会において決議されたことについて。
659	箱4	定時株主総会決議のご通知	東京都千代田区大手町一丁目5番2号 三 菱金属鉱業株式会社 取締役社長 相京光 雄	株主各位	昭和46年11月26日	紙1	第43回定時株主総会の決議内容について。
660	箱4	年金受領者(勤続25年以上退職社員)名簿資料の件	三菱金属鉱業株式会社 人事本部人事第一 部㊟	黒沢亀寿殿	昭和46年2月20日	紙1	名簿作成のための資料記入依頼。
679	箱4	大日本西班牙條約書 全			大正2年天長節之日	刊本1	和綴、印刷もの。奥書に墨書あり。
681	箱4	[句集]	書林 京堀川錦上ル町 西村市郎右衛門 江戸本町三丁目 西村源六版		宝暦6丙子春(1756)	刊本1(折り こみで状1 枚あり)	李井庵存義ほか5名による句集。独吟と探題で構成。
692	箱4	豪傑勲功録巻之第七			弘化4年	刊本1	表紙なし。伝記か。巻末に「田口氏」「田口繁一郎求之」とあり、それに応じて寄贈されたと思われる。
694	箱4	御嶽大神山祖大神元三祈禱加名簿	御嶽教常磐教会所(角印)		大正4年正月	綴1(内訳: 冊子4)	4年分の元旦の祈禱帳。人名と代金。
695	箱4	御嶽大神山御祖神山中安全元朝祈禱加入帳	御嶽教常磐教会所 元水戸領山神詞別当 寶寿院跡教会齋主 黒沢良和(角印)		大正2年1月元旦	綴1(内訳: 冊子4)	4年分の元旦の祈禱帳。人名と代金。
696	箱4	元朝御祈禱加入人名簿	御嶽教常磐教会所(角印)		明治45年1月1日	綴1(内訳: 冊子4)	4年分の元旦の祈禱帳。人名と代金。
697	箱4	御嶽大神元朝山内安全身心堅固御祈禱人名簿	御嶽教常磐教会所(角印)		明治44年孟春吉日	綴1(内訳: 冊子4)	4年分の元旦の祈禱帳。人名と代金。
698	箱4	教務雑誌綴	御嶽教常磐教会所		明治20年から明治24年	綴1	明治20年から24年までの御嶽教教会に関する書類の綴り。教会設置願や規約など諸々。明治20年のものには、「信徒惣代権少教正黒澤止幾」作成の文書もある。
699	箱4	巴講創立七十年各霊神合祀祭同意補助御人名簿	発起同盟者権少教正 中里守邦 他30名		明治41年4月	綴1、内綴3	印刷、巴講創立70年紀徳祭について。
700	箱4	御嶽教常磐教会勸農団規約	常磐教会会長少教正 黒澤峰三郎		明治40年2月11日(吉カ)	綴1、内綴3	常磐教会勸農団を起す詞と規約について。
701	箱4	[下野国の神社について ほか]				綴1、内綴3	日光二荒山神社の由来、参拝の記録についてなど。
704	箱4	門人誓約書	権中講義 黒沢峰三郎		明治21年より	綴1	信徒らによる御嶽教に深く帰依し規則を守る旨の誓約書の綴り。
705	箱4	[書簡]	岩船村長 高須彦助(角印)	黒澤峯三郎殿	大正元年8月21日	状1、封筒1	故黒澤時子の贈位辞令書2通下附のことについて、実印を持って出頭のこと。
721	箱4	教導職試補申付候事	御嶽教管長 鴻雪爪	小林吉右衛門	明治19年8月16日	状1	日付と宛名のみ墨書、他は印刷。角印あり。
722	箱4	[祝詞・祈願文 下書カ]			昭和12年9月26日ころか	状1	石舟山高津宮などの地名・社名あり。昭和12年7月におきた「支那事変」の皇軍勝利を祈願する文言。
723	箱4	[年始和歌]				紙1	宝船の絵が刷られた料紙に墨書で一首あり。「家はとみ身の幸も寿もここに叶ふちとせ萬代」。
726	箱4	[短歌書付]	幸敏カ			状1	6題6首。うち2首に朱筆が入る。
727	箱4	[詩句書付]				紙1	前・後欠。長歌1首、短歌1首、短歌上の句のみ1首あり。
728	箱4	[書付反古]				断簡4	地色を白く染め、秋の草花を刷った料紙の表・裏に墨書。表は書簡か。裏には覚、詩句、文字の練習など様々な書付がある。それぞれの断片の順不同。
729	箱4	[和歌書付]				折紙1	和歌と黒沢李恭(止幾)と会って話したことについて。
730	箱4	[歌書付カ]				状1	歌の書付か。
731	箱4	[葬送について]				断簡23	葬祭儀礼、実際の埋葬等について書き記したもの。ただし全て断簡、いくつかは繋がると思われる。
732	箱4	[書簡カ]			2月13日	状1	書状、歌価カ

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
733	箱4	口述懐				状1	
734	箱4	[和歌書付]	峰三郎(良知)		(1937. 昭和12年か?)	短冊20	黒澤峰三郎(良知)による和歌書付。同じ歌の短冊が数枚ずつある。どれも喜寿の祝いを詠んだもの。白紙短冊3枚あり。歌4首。
736	箱4	[歌書付カ]				状1	「右楠公のかたにおくらんとて口のたる長歌并に短歌をしるす」とあ
738	箱4	つくば山みな川の川口口ふみ	武原上生菴誌焉			状1	印刷物。岩に彫られた碑文を写したもののか? 筑波山に関する内
739	箱4	月並力競剛臆座			甲辰年(1844or1904?)	紙1	作歌をグループで競う「剛臆座」の集歌広告か。三月～六月までの兼題を掲載、各月に撰者1名。順位等のルール、入花(歌の応募)についての注意点など。御歌集所として浪花・名古屋・江戸・仙台などの店名あり。他に参与する連(サークル)の一覧。会主、仙府
740	箱4	[水戸笠原山神崎寺観音菩薩立像図]	水戸笠原山神崎寺			紙1	刷物。観音の名称等はー。
741	箱4	[和歌書付]	善男			紙1	6首。
742	箱4	[和歌収載]	竹原長静 他13名			紙1	印刷物。5題、各々に4首、計20首。「年内立春」「早春霞」「早春風」「早春口」「早春秋」
743	箱4	[漢詩文彫物下絵]				紙2	
744	箱4	綴り方	黒澤亀寿(新制高等科三学年と墨書あり)		(亀寿氏、新制高等科三学年)	冊子1	罫線付き「国語綴方帖」に墨鉛、鉛筆で作文を記す。裏表紙欠、ホチキス留め外れる。最終項は「乍恐奉獻天子江長歌」(黒沢李恭頓首再拜)、「述懐」のとき子の和歌2首を記す。
746	箱4	當世模様諸職雛形	江戸書林 神田鍛冶町二丁目北島順四朗 同所 順原屋太助 本石町十軒店 英大助		天保4癸巳年春	刊本1	模様集成。裏表紙に墨書で「明治11年6月21日 関口口口郎」とあり。
747	箱4	家訓窮理図解巻の三	慶應義塾同社 福澤諭吉			刊本1	物理・天文について。
748	箱4	福澤先生著 学問のすゝめ	福澤諭吉		明治6年12月	刊本1	「学問ノススメ」の印刷本。表紙に標題の墨書あり。2534年6月、水戸新報社の求めに応じて、とある。
749-1	箱4	南無天満大自在天神宮			天明(寅)元年	状1	和歌書付、裏書あり「正月日林一平手本之儀…」(手本か)。綺羅(雲母)びきの紙。
749-2	箱4	責賤老幼 火急用意 全	縁山西溪竹叢軒蔵		天保9戊孟春	刊本1	火急用意和譚、前・後篇、附録。「此書原蟠龍律院蔵板乃…」とあ
750	箱4	[扇面絵]	京年㊦			扇面1	丹頂鶴の絵。扇面部分のみ。
757	箱4	(明題和歌全集)				刊本1	全集の目録と雑新中、雑下を編んだものとみられる。表紙なし。後欠。印刷本。
759	箱4	[刊本]				刊本1	教訓等をまとめたものか。表紙・裏表紙等欠。印刷本。
762	箱4	文選正文	(発行元)京師書賈風月堂			刊本1	印刷本。文選序文と目録について。
765	箱5	聲曲文藝叢書 佳調都々逸集	磯部甲陽堂(東京)		大正5年5月15日(第9版)	書籍1	聲曲文藝研究會編によるもの。180p。本体底部に「と逸集」と書込みあり。初版は明治43年6月。
770	箱5	三國相傳陰陽館轄簞簞内傳金烏玉免集 卷三(簞簞 下)	吉田庄左衛門		万治3庚子年3月吉日	刊本1	木版による。表紙裏に墨書あり。本文への朱書き、裏表紙裏に墨書の書付。巻頭に目録三～五を載せる。
771-1	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など		愛媛県西宇和郡川之石町雨井(三)菱川之石口口口 黒澤亀寿殿	大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	三菱鑛業株式会社の印字付封筒。郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(郵便封
771-2	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	口加天神助川駅前 黒澤亀寿	口(茨カ)城県東茨城郡岩船村 錫高野 口(黒カ)澤峯三郎様	大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(封入封
771-3	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	「丸ノ内三菱鑛業株式会社内」を消し、助川駅前 黒澤亀寿		大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(通帳1)
771-4	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	「茨城県助川町駅前」を消し、愛媛県西宇和郡川之石町 黒澤亀寿		大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(通帳2)
771-5	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	住所は771-4に同じ 黒澤やす子		大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(通帳3)
771-6	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	(愛媛川之石局)	—	大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(為替)
771-7	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	八幡浜税務署所(角印)	石宇和郡川之石 黒澤亀寿殿	大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(税S4)
771-8	箱5	郵便貯金通帳その他通知書など	八幡浜税務署所(角印)	石宇和郡川之石 黒澤亀寿殿	大正13年頃～昭和5年	封筒2、状6	郵便貯金通帳、電信為替金受領證書、昭和四年分第三種所得金額決定通知書、昭和五年分第三種所得金額決定通知書(税S5)
779	箱5	①[金銭書付] ②[金銭書付] ③[和歌書付] ④[漢文書付]			①午文化7年、②～④—	①折紙1、②～④状各1	①金銭書付、久岡の朱印あり。「人物高」ほか。後欠。②綴りなどの一部か。③和歌3首、朱字で訂正あり。④五言絶句もしくは漢字の練習か。4枚(①～④)が紙紐によって束ねられている。
780	箱5	[書簡カ]	口口ー口口太春(花押)	立原先生様	2月13日	折紙1	原新蔵様の義、ほか。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
786	箱5	別屋道場建立御施主附帳	高野村宝寿院(角印)	御村々御役人中様	文政3年庚辰仲春	冊子1	天下泰平、五穀成就などを祈願し、道場一字を建立するにあたっての寄附帳。村ごとの寄附となっている。作成者の宝寿院とは別に、隣村へも寄附を募るための願文が庄や、組頭によって書かれ
789	箱5	墓目之大事全	荒木伝八勝信(花押)		正徳六丙申年3月日	卷子(軸なし)1、状1	まじないの方法を書いたものか。
796-1	箱5	寄松祝	保子			短冊2本	裏書あり。茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤保子
796-2	箱5	[短歌]	保子			短冊2本	
797	箱5	[和歌書付]	保子			短冊1	
798	箱5	[和歌書付]	保子			短冊1	No.796-2と同一。
799	箱5	[和歌書付]				短冊1	和歌1首書付。
800	箱5	黒澤とき子和歌詠草覚扣			昭和11年8月	状1、封筒1	安政五年戊午霜月から明治22年丑正月まで、和歌の詠草書き上げ。(各1冊)封筒に「とき子長哥の手紙」とあり。
802	箱5	[扇面の2首]	四方赤良				「人間万事西行猫」歌2首。きら引きの紙。
804	箱5	正会 大日本武徳会員之證		黒澤峰三郎殿	明治32年11月	札1	会員証。割印あり。
805	箱5	[封筒]	野州芳賀郡芳志戸 関口財治郎	常陸国東茨城郡岩舟村字鈴高野 黒沢峰三郎様	8月22日	封筒1	「□□用立書類」とあり。
806	箱5	[黒澤時子君贈位祝祭執行について]	贈位祝祭委員長 吉見輝 水戸市五軒町七 真木謙方(角印)(贈位祝祭□□□□□)	東茨城郡岩船村大字錫高野 黒澤峰三郎殿	明治41年4月1日	状2、封筒1	本紙には、祝祭の開催とその日時、参会を依頼する。別紙には、参会に際しての注意事項を列記(4項)。
808	箱5	[包紙](止幾子先生和歌下書及詠草中尔□□) [和歌](出水帰口恋) [和歌](奥州矢祭山にいたりて)				包紙1、紙2	黒澤蔵品とあり、品物の目録を列記。
811	箱5	[書簡](お祖母様の碑お建てられます由)	宇都宮市旭町1-3429 山崎きくの	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	10月11日	状2、封筒1	栗のお礼と碑建立へのお祝状。
812	箱5	[書簡]	荒川村八ヶ代 鈴木留五郎	茨城県東茨城郡大字 黒澤峰三郎様	11年11月6日	状1、封筒1	喜寿の記念写真の件、贈位記念建碑の件などについて。
813	箱5	[書簡]	宇都宮市90 山崎松五郎	茨城県東茨城郡岩船村字錫高野 黒澤峰三郎殿	10(11)月2日	状1(のりはがれにより2枚)、封筒1	礼状と李恭会の賛同の件について。近日相談のこと。
815	箱5	[献金請取記録]	鯉淵秀之介	小瀧浅之介様		状4	献金者の名簿と金額。合わせて金138両ほか。鹿島神宮の鯉淵秀之介による献金請取状。
828	箱5	[各人所蔵田畠書上併びに田畠売渡控カ]			寛文元年丑12月18日ほか	縦帳(表紙欠)一括	人別の所有田畠一覧、加えて、売買時の金銭等書付あり。順不同。一部に横帳の状混在。
831	箱5	村々御申渡	久方忠衛門 他3名		己8月	綴1	下部破損大。後半に印刷指上として数名の名前あり。
832	箱5	高野村百姓申合村法度井□□書上帳			寛政6年寅3月	横帳1	「村法度之事」として、領主・菩提寺のことや他のことについて書上。後欠か。
833	箱5	[墓の銘文カ]	孝子横倉長次郎		昭和7年6月23日	状1	横倉松次郎翁について、その事跡。鉛筆にてマシ目が引いてある。墓に刻む銘文か。
834	箱5	[書簡カ]	久保田清蔵 かめ澤	黒澤とき様	7月6日	状1	前後欠。重病なので至急出てきてほしいという依頼。
837	箱5	[書簡]	宇都宮□□□□同郡 山崎松五郎	茨城県東茨城郡岩船村字錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和11年6月25日)	状1、封筒1	珍しい新茶をもらった御礼について。
838	箱5	[書簡]	東京市麹町区丸ノ内2丁目12番地 内田信也	茨城県東茨城郡岩船村字錫高野 黒澤峰三郎様	昭和5年3月	状1、封筒1	選挙当選の御礼と今後の支援依頼について。
840	箱5	[伝記]				状1	栃木県那須郡伊王野村の老人について。黒沢とき子の評判など。
841	箱5	[書簡]	遼陽89老人よしを	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 亀澤山宝寿院 黒澤峰三郎様	4月5日	葉書1	関根老人におくる歌として詠んだ和歌の訂正願い。
842	箱5	[和歌書付]			昭和3年11月	状1	養老杯を賜ったことを祝って詠んだ和歌の書付。「賛雄」とあり。
843	箱5	[書籍等への礼状]	南満州遼陽桜木町20 有馬賛雄(状には「ありまよしを」とあり)	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様 関根氏の祝前侍史(状には「黒沢良知大人机下」とあり)	昭和5年4月2日	状1、封筒1	封筒裏には住所、氏名、元号など印刷済。他に、「大日本国旗壇信條」5ヶ条アリ。
844	箱5	[書簡]	黒澤武四郎	黒澤止幾様	□(旧カ)6月22日	状1	あいさつか。
845	箱5	[書簡]	すかより(管子カ)	峰三郎様	5月31日	状1	祖母(止幾子)の病気見舞か。
846	箱5	戦友の子をおもふて(短歌一首書付)				状1	
847	箱5	[故人人名書付](故島田勝太郎)				状1	
848	箱5	高羽吉十郎墓誌	折笠朝雕カ		(昭和11年ころか)	縦帳1	

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
849-1	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び短歌書付〕	孫 黒沢良知		(昭和13年ころか)	まくり2枚	止幾子作の長歌一本、短歌五首を記す。
849-2	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び短歌五首書付〕				状1	
849-3	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び短歌五首書付〕				状1	
849-4	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び反歌五首書付〕				状1	構成は849-2と同じだが、「短歌」ではなく「反歌」と記す。「天子江長歌」ではなく「天子長歌」とある。
849-5	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌一首書付〕				状1	
849-6	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び短歌五首書付〕				状1	
849-7	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌五首書付〕				状1	瑞裏に朱と墨の印判の汚れ(カ)あり。
849-8	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び短歌五首書付〕				状1	構成は849-2と同じ。
849-9	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び短歌五首書付〕				状1	849-8と構成・詠題共に同じ。
849-10	箱5	(黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び短歌五首書付)				状1	849-8と構成・詠題共に同じ。
849-11	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」書付〕				状1	瑞裏に朱と墨の印判の汚れあり。
849-12	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子長歌」及び反歌五首書付〕				状1	構成は849-4と同じ。
849-13	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌五首書付〕				状1	849-7と同構成。
849-14	箱5	(黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌五首書付)				状1	849-7と同構成。
849-15	箱5	(黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌五首書付)				状1	構成は849-2と同じ。
849-16	箱5	(黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び反歌五首書付)				状1	詠題・構成は849-7と同じ。
849-17	箱5	(黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」及び短歌一首書付)(下書カ)				状2	詠題、長歌、「短歌」「萬代を…」を記す。
849-18	箱5	〔黒澤止幾子作「乍恐奉献天子江長歌」書付〕				状1	後欠、あるいは下書か。
849-19	箱5	〔「乍恐奉献天下(ママ)長歌」書付、下書〕				状2	後欠、あるいは下書。おそらく、止幾子作「乍恐奉献天子長歌」の
850	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	「とき子詠」とあり。和歌一首書付「山ささと…松風」。
851	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	「とき子詠」とあり。和歌一首書付「君か為…真心」。
852	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	和歌1首書付「よ口(中カ)は…恋しき」。
853	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	和歌1首書付「はるばると…天のはし立」。
854-1	箱5	〔和歌書付〕	良知カ		(昭和13年)	まくり1	黒澤とき子詠の和歌1首「君が為立し…万代までも」。「良知口(書カ)七十九叟」とあり。
854-2	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	「君が為国のためにと生なからなき人かずに入し我身と」とき子の和歌か。
854-3	箱5	〔和歌書付〕	よし知書		(昭和13年)	まくり1	和歌1首書付「君かため国のためにと生なからなき人かずに入し我身と」。「黒澤とき子詠孫よし知書七十九叟(角印)」とあり。
854-4	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	和歌1首書付「君か為難波の…」。「黒澤とき子詠」とあり。峰三郎の筆写か。
855	箱5	〔和歌書付〕	黒澤良知(角印)			まくり1	和歌1首書付「世の中の人々の心のあやめ草あやめをわけて照らす月影」。「黒澤良知しるす(角印)」とあり。とき子の歌か。
856	箱5	〔和歌書付〕	黒澤峰三郎			まくり1	和歌1首書付「年こしの風も…花さく」。「黒澤峰三郎書」とあり。とき子の歌か。
857	箱5	〔和歌書付〕				まくり1	「極て…梅ヶ枝」
858	箱5	〔和歌短冊〕	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤保子			短冊1	「寄松祝」と題する和歌1首書付。「口(とカ)こと磐に栄ゆく庭の老松とともによはひを重ねませ君」。
859	箱5	〔和歌書付〕				状1	和歌7首書付(旅についてなど)。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
860	箱5	ちはやふる長歌短うたのうつし	黒澤			冊子1	長歌と反歌5首のうつし。背表紙に朱印と「綿引忠太郎」の名あり。故黒澤幾止のもの。安政6年、献上する時のための歌。従五位贈位によせて。
861	箱5	乍恐奉献天子江長歌短歌			明治40年11月15日	綴1	献上の長歌と反歌五首のうつし。「安政六年未の三月黒澤李恭頓首再拜」。従五位贈位によせて。原稿用紙。
862	箱5	[和歌書付]	黒澤良知		(昭和13年)	まくり2	和歌1首書付。同一内容・形態のまくり2枚。
863	箱5	[和歌書付]	よし知		(昭和13年)	まくり2	和歌1首書付。「黒澤とき子詠孫よし知書七十九叟」とあり。同一内容・形態のまくり2枚。
864	箱5	[和歌](としふりし…)	良知			まくり1	署名には「とき子よめる孫良知口(書カ)七十九叟」とあり。
865	箱5	[和歌](我國の…)	よし知			まくり1	署名には「黒澤とき子詠よし知七十九叟」とあり。
866	箱5	砧(和歌。秋八なを…)一首	よし知			まくり1	署名には「黒澤とき子詠よし知七十九翁」とあり。
867	箱5	[和歌](筑波山…)	良知		(昭和12年ころか)	まくり1	署名には「とき子よめる孫良知口(書カ)七十九叟」とあり。
868	箱5	[書](忠孝)	常陽錫山書			まくり1	「忠孝」の書の小型のまくり。朱印3つあり。
869	箱5	[和歌書付](蛩)	よし知			まくり1	蛩についての和歌1首書付。「時子の歌よし知書」とあり。
870	箱5	[和歌書付](明月述懐、寄酒恋)				状1	和歌2首書付、「明月述懐」と「寄酒恋」。「とき子の歌」「よみ人とき子」とあり。
871	箱5	[和歌短冊]	黒澤峰三郎・よし知			短冊5	黒澤とき子の和歌を1首ずつ短冊に書いたもの、4つ。「黒澤峰三郎とし八十」とある短冊1つ。
872	箱5	黒澤家を訪て逝斗當女史を弔ふ	□□□□人			状1	和歌。落款2箇、関防印1箇あり。
873	箱5	[和歌書付]				まくり1	「君が代の…小松引なり」。和歌1首書付、黒澤とき子の歌か。
874	箱5	[和歌書付]				まくり1	
875	箱5	[和歌書付]				まくり1	
876-1	箱5	[止幾子作長歌の書付]				まくり1	黒澤止幾子作献上の長歌を書付けたもの(途中まで)
876-2	箱5	[止幾子作長歌の書付]				まくり片1	黒澤止幾子作献上の長歌を書付けたもの(途中まで)
877	箱5	稻荷神祠改築寄進芳名書上(下書)				状2	「町内信徒」「金壺百圓 小林藤太」で始まり、他に139名、2団体が連なる。
878	箱5	[篆字四字書 下書]	黒澤良知			状1	落款2点、関防印1点あり。
879	箱5	[碑文人名書上 下書]			昭和10年6月ころか	状2	No.877と関連ありか。
880	箱5	[和歌書付]	とき子詠良知書		(昭和13年)	まくり1	黒澤止幾子の和歌1首書付。
881	箱5	[和歌書付]	時子(筆写:黒澤良知)		(昭和13年)	まくり2	黒澤止幾子の和歌書付。2枚とも同じ和歌だが、字などが少し変化している。
882	箱5	[題目書付カ]	錫山			まくり1	「神妙孰君口萬古仰天皇錫山七十九叟」とあり。
883	箱5	[漢文書付]	「留子菊見月錫山七二翁書(角印)(角印)」		(菊見月)	まくり1	書の書付。文頭右に朱印(落款)あり。
884	箱5	[書 書付]	錫山書			まくり1	上部破損。
885	箱5	[録水戸景山之詩]	七十七翁錫山樵夫			まくり1	
886	箱5	[漢詩書付]	黒澤良知		戦前	まくり1	署名には「黒澤錫山書七九叟」とあり。
887	箱5	[書](猿田彦大神)	藤原良知		大正9年		「猿田彦大神」の「猿」と「田」の字間に朱の角印あり。
888	箱5	[書](猿田彦大神)	前長官 藤原徳 謹書		大正九年庚申春初庚申之日	まくり1	「猿田彦大神」との大書。前長官藤原徳が黒澤良知に与えたもの。「少教正黒澤良知年六十一万延元年庚申生(角印)(角印)」とあり。御嶽教関係か。
889	箱5	[古稀の祝い歌書付]	七十三翁黒澤良知(角印)		(昭和7年)	状5	同一内容の漢詩2枚、同一内容の和歌2枚、和歌書付1枚。
890	箱5	[人物画]				まくり2	年配の男女1人ずつ2枚。黒澤止幾子と峰三郎か。
891-1	箱5	[書簡]	中村城山	黒澤御老人様		状1、包紙1	和歌の道について、「黒澤老太母」に寄せるとして和歌4首、書付。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
891-2	箱5	①寄口 ②〔書簡〕 ③寄口 ④〔書簡〕 ⑤〔書簡〕	①城山中村□光、②中村□光、③城山居士中村光(角印)、④□□川□□□、⑤茂木中村城山	②黒澤御老母様、④黒澤学□□様、⑤黒澤御老人様	②9月18日、④7月31日、⑤6月22日	状5、包紙1、包紙断片1	①漢文②詩作について、他③漢文(①とは別)④御授布の和歌短冊について⑤過日の短冊の御歌拝見のことについて
892	箱5	旅順陥落ときゝて(句(川柳)書付)	亀澤幾人(黒澤良知=峰三郎か)		明治37~38年頃か	まくり1	落款2点あり、うち1点は「黒澤」とあり。
893	箱5	〔篆書四字書付〕	(黒澤峰三郎か)		昭和3年11月10日	まくり1	「寶祚萬歳」落款2点あり。各々より「良知」「黒澤」が読み取れる。
894	箱5	贈正五位鯉淵要人君遺文	故鯉淵要人君贈位祝祭事務所		—	状1、封筒1	安政七年庚申二月十日に記された鯉淵要人の「皇國天地大神に奉捧」に関する文書を忠実に活字化したものか。
895	箱5	〔大西郷南州先生御真蹟二点〕			—	まくり1	印刷もの。頒布用の制作物か。
896	箱5	〔碑文あるいは版木用彫刻文うつし〕			—	まくり1	糊剥がれあり、3つに分離している。墨字で彫る文字を白抜きになるようにうつし取ったものか。
897	箱5	〔書画手習い〕			—	まくり1	糊剥がれあり、3つに分離している。上部に墨で描かれた白抜き文字を配し、さらにそれをなぞっている。下部に蔓ののびる植物の絵を墨で描く。
898	箱5	〔髪結職の由来うつし〕	少教正藤原良知(=黒澤峰三郎)		(昭和初期か)	まくり1	署名には「少教正…良知敬書時年七十有二」とあり。上部に「東照宮」と題字があるが、内容は「髪結職の由来」で始まるもの。
899-1	箱5	〔文天祥正気歌うつし〕				状1	文面とは別、「三百字」と書付あり。
899-2	箱5	〔東湖先生正気歌のうつし〕			夏	状1	文面とは別、「三百六十五字」と書付あり。
899-3	箱5	〔漢文のうつし〕				状1	「文部省謹訳」とあり。
899-4	箱5	〔漢文のうつし〕				断簡1	「文部省謹訳」とあり。899-3と同内容。但し、前欠。
899-5	箱5	〔漢文のうつし〕	水陽		大正14年3月	状1	899-3、899-4と同内容。
899-6	箱5	〔松陰先生正気歌のうつし〕				状1	文面とは別、「三百字」と書付あり。
899-7	箱5	〔七言絶句のうつし、手習〕				状1	
900	箱5	〔和歌書付〕	よし知			状1	「なるすゝの高野のさとに喜びを寿き祝ふ□子の春」とあり。朱筆にて添削あり。
901	箱5	〔絵書付〕				状1	鶴・松(カ)の墨絵。
902	箱5	〔書簡カ〕				まくり1	横長のまくり。書状か。岩城温泉のこと、他。
903	箱5	〔和歌書付〕	好古			まくり1	裏打ちあり。端裏書あり。
904	箱5	佳處字かふるにて	好古			まくり1	和歌書付「すみか字はをりにふれつゝかふれともかへぬハものころなりけり」。端裏書「正六位 神国奉斎令二口藤岡好子」とあり。
905	箱5	〔漢文(漢詩カ)書付〕				まくり1	「茨城二口歴譏国難之他□(五カ)日或」「巡天告我国難…」
906-1	箱5	〔漢詩〕	録焦製			まくり1	
906-2	箱5	〔通達〕(従四位様御巡村二付)			12月10日	状1	906-1と同封筒に入っていた。
907	箱5	〔漢詩〕	七十二翁新海			まくり1	関防印1ツ、落款2ツあり。落款の1ツは「東流」。
908	箱5	〔俳句書き付け〕	庭集逸人口拝書			まくり1	詠題「商精勤」。落款2ツあり。1ツに「口鶯亭」とあり。
909	箱5	好文亭陪讌詩抄				縦帳1	内容は「好文亭陪讌詩抄 鶴峯戊申」で始まり、和歌、漢詩を載せる。末尾に「右記事」として経緯を記す。壬寅9月26日詩歌の催しが好文亭にて行われたことが記されている。他に人名には、青山延宇、金澤安、吉田令世、加倉井雍など。
910	箱5	泉岳寺義士牌名				状1	大石内蔵助良雄からはじまり、41名分(41名は部分)の戒名、俗名を書き連ねる。後欠。虫損甚。継剥がれあり。
911	箱5	〔書簡〕(水野哲太郎殿三人御扶持二而小普請江八組人被仰付)	奥野介衛門	高野村鯉淵弑兵衛様	6月11日	状1	端裏書あり。継剥がれあり、2枚に分離。
912	箱5	〔通達〕(御祝儀可申上事)		諸向江		状1	御祝儀について、申上げよとの通達二条。
913	箱5	〔通達〕(従四位様東京表へ御来府被遊候に付)		諸向へ		綴1	後欠。
914	箱5	〔書簡〕(乍恐奉願口上)	孫根村百姓五郎兵衛悻与市			状4	継剥がれあり、元は2枚。計2枚の口上が2つ。同一内容・文面。下書か。大山村百姓衾職人久右衛門悻久助を孫根村若者一統いたし打擲し疵等受けるに私居宅にて疵人預りの儀に付書状。
915	箱5	文政三庚辰三月廿一日大久保加賀守殿從小町奉行所被御届候書付写	大久保加賀守家来 志加弥平次		(写の原本:文政3年庚辰3月21日) 文政7年申卯月27日	状1(5枚に分断)	浅田只助の養子浅田鉄蔵と実子浅田紋次郎の敵討について。継剥がれあり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
916	箱5	[伊難宮御鞆神事他祭事・祭日に付き書簡]	杜什	趙砂雅兄	神口十月	状2(内1枚は4つに分断)	
917	箱5	[書簡](三男縁談他に付き)	大沢口郎	鯉淵次衛様机下	2月5日	状1(2つに分断)	年始祝詞について及び三男の縁談の件。継剥がれあり。
918	箱5	[以手紙致願上候](積立之焚炭時々之雨二而不残濡れるに付き書簡)	碓井左中	鯉淵次衛様	9月24日	状1(ただし3つに分断)	御量役人のこと、他。
919	箱5	[先般御増禄に付き役所へ罷出仕申上]	市川養四郎		10月5日	状1	人名書付(森田八十太郎他8名)。来る7日役所へ罷出ること。
920	箱5	[森田八十太郎他八名人名書付]	市川養四郎		8月26日	状1	人名書付。
921	箱5	[別紙之通被仰出候様条其旨御心得]	服部大口 市川大口		12月19日	状1	心得のこと。
922	箱5	[森田八十太郎他十二名人名書付]	市川養四郎		12月23日	状1	人名書付。
923	箱5	[書簡](従四位様より御祝儀可有之に付き役所江罷出のこと)	市川養四郎	森田八十太郎様 他12名	12月27日	状1	役所へ罷出のことについて。人名書付。
924	箱5	[通達](民事掛御達二相成候条其旨相心得)	民事掛	森田八十太郎殿 他11名	庚午11月3日	状1	前欠。心得の上順達の旨。
925	箱5	書簡[娘入妻之事等出来事書上書簡]	小田崎正三 京極六八郎より	水上九十蔵様 五味七二郎様	2月初午2日	状1	虫損大。2月～12月までの出来事等の書付。
926	箱5	[人倫に付き書付]	再拝深玄		—	状1	人倫などについて。教訓等か。
927	箱5	[絵図解説]			—	紙2(続きもの)	前後欠。衣冠束帯姿の貴族の絵と、その人物とその絵の装束や描き方等の解説。
928	箱5	[拓本]	下斗米恵濟		大正2年6月14日	拓本2	明治15年1月4日の勅諭、明治23年10月10日、明治41年10月13日、大正4年12月10日の勅語を刻んだものの拓本。発行所として茨城県新治郡土浦町とあり。
929	箱5	[皇室写真]	東京日日新聞		昭和4年1月1日 昭和3年4月10日 他、—	写真印刷物 25	昭和天皇や皇室、乃木希典、明治天皇の大喪の礼の写真印刷物。
930	箱5	[雑誌附録、名所についての歌]	(編集兼発行人)川嶋喜助		明治23年3月25日、明治23年1月25日	状2	「□(観カ)風□□(残カ)」の13号、15号附録の名所の絵とそれについて詠んだ俳句の書付。八坂神社と音羽山清水について、それぞれ複数の俳句書付がある。
931	箱5	祝詩一篇	鈴山居士 大津淳一 教賦		—	状1、包紙1	「恭祝」として、黒澤止幾子の贈位祭典に際し贈られた祝辞。
933	箱5	東湖先生正気歌	錫山樵翁		昭和5年歳在庚午秋9月 □辰	冊1	藤田東湖の書等の写しか。「於亀澤齋書」とあり、「錫山樵翁年七十有一」とあり、裏書に「願以此功德令小兒安穩円福寿増長垂平寺普潤」とあり。
934	箱5	[右晋ノ幽州刺史連波妾蘇岩蘭詩]				状3	同一文面の回文3枚。漢字の周囲に3文字ずつひし形に言葉を配したものの。
935	箱5	[詩歌書付]	六拾五齡竹窓			折本1	短冊形の折本に書付。糊が剥がれ、2つに分断。
936	箱5	諸国名物往来 世話千字文	—	—	—	状2カ	諸国名物往来…京から始まる地名ごとの名物列記。世話千字文…2～3字の言葉列記、手習いの手本か。いずれものりはがれにより混合。点数も—。
937	箱5	[和歌書付]	黒澤□□(後欠)	—	—	まくり1	上下欠。「□田東湖先生の歌」とあり、藤田東湖の歌を黒澤家の者が筆写したものか。
938	箱5	[書]	黒澤良知	—	(昭和13年)	状1	「至誠努力」の書、「黒澤良知七十九叟書」とあり。「黒澤良知」他2つの落款あり。
939	箱5	[書簡]	すずこやくめ口	□たきとの、□□□とへ	3月6日	状1	前欠と思われる。送状カ
940	箱5	[書簡]	くめ口より	—	11月6日	状1	9月5日女子出生、母子ともに達者とのこと。
941	箱5	[歌書付]	—	—	天保6年(乙未)	状1	歌もしくは俳句などの書付とみられる。
942	箱5	[時子歌書付]	真道	—	—	状1	「時子の君□…」とあり、題なし、「道」、「旅中泉菊」の3首の歌の書
943	箱5	[歌書付 他]	—	—	—	状2、折紙1	和歌書付、他。別種の文書とみられる。
950	箱5	[教訓等書付]	東京 谷原保次郎	—	—	状1	前欠。状の半分程迄、信仰・生活に対する教訓などの書付。後半に「三種の神□(器カ)」として鏡・剣・玉について書付あり。
953	箱5	布教認可候事	御嶽教管長鴻雪爪(角印)	—	明治21年1月19日	953-955ま とめて綴り1	

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
954	箱5	布教認可願	茨城県東茨城郡錫高野村常磐教会所担任教師 権少教正 黒澤止幾 [㊞]	御嶽教管長 鴻雪爪殿	明治21年1月18日	953-955までとめて綴り1	
955	箱5	神道御嶽教教会所設置願	権少教正 黒澤止幾 [㊞] 他、村惣代等多数	茨城県知事 安田定則殿	明治20年4月21日	953-955までとめて綴り1	教場の見取図付き。
956	箱5	碑表建設許可願・承諾書	(許可願)茨城県東茨城郡河和田村大字赤塚268 李恭会 会長 坂本左狂 代理 立林宮太郎 (承諾書)東茨城郡岩船村錫高野 黒沢亀寿	(許可願)水戸警察署長警視岩崎善一郎殿 (承諾書)李恭会 御中	昭和12年1月30日 昭和12年2月22日	綴り1	黒澤止幾子の記念碑を建てるための願書と亀寿の承諾書。
957	箱5	答辞(黒澤止幾子贈位30年記念碑建立式典)(草稿カ)	—(黒澤峰三郎あるいはその代理山崎松五郎カ)	—(式典に於いて読みあげたもの、その草稿カ)	昭和12年2月ころ(2月22日以前)	状1	昭和12年2月22日に挙行された黒澤止幾子(李恭)の贈位三十年記念の碑建立及び式典の際に、遺族代表として用意した答辞。
958-1	箱5	[止幾子贈位30年記念の石碑仕様案]	—	金原彦六商店カ	—(昭和12年ころカ)	状1	石材屋(記念碑墓碑ほか各種取扱う)「金原彦六商店」(水戸市谷中電停前、電話一、二八一番)の発注用らしき便箋を使用。
958-2	箱5	[李恭会名譽会員に御願の件]	—(李恭会々長 坂本左狂カ)	—	昭和11年9月頃	状2	印刷の依頼書。右半分は挨拶及び趣旨の文面、左半分は「名譽会員に御願の件」として7項目を記す。黒澤止幾子(李恭)贈位30年記念のため李恭会を組織し、その活動について協賛等を個別に促すためのもの。本状を送る相手は自動的に「名譽会員」として遇され
959	箱5	黒沢李恭女史和歌詠草	—	—	—	状1	止幾子が詠んだ和歌について年代順に書き上げたもの(冊数あり)。裏に「李恭歌詠歌」の墨字あり。
972	箱5	[書簡]	坂本左狂11枚、立林宮太郎(立林水城)31枚、—1枚、峰口先生より1枚	黒澤峰三郎様43枚、黒澤亀寿様(大坂市旭区森小路6-93)*左狂より1枚	昭和12年~14年に亘るうち1枚は大正元年か	一括(はがき44枚、うち10枚木綿糸で綴る)	10枚つづきのものは左狂→峰三郎8枚、立林→峰三郎1枚、左狂→亀寿1枚で構成。
973	箱5	[書簡]	坂本左狂拝(水戸市北三ノ丸)	黒澤峰三郎様(書面には「黒澤様」とあり)	大正元年8月20日	封筒1、状1	「別紙に…」と表現が出てくるが、この封筒には入っておらず。
974-1	箱5	[書簡]	—	—	—	状2、封筒1	封筒は後で二通を収めるために用いたか、表に「李恭会々長 坂本左狂老君の 御手紙」とあり。
974-2	箱5	[書簡]	左狂	黒澤様	—	状2、封筒1	973の「別紙」か。「贈従五位時子女史」という文面あり。
975	箱5	[書簡](黒澤女史建碑について)	封筒:坂本左狂(水戸市北三ノ丸)、状:(坂本)左狂	封筒:黒澤峰三郎様、状:黒澤尊口	封筒より□4年9月21日、状より3月11日 消印は「□4.9.22茨城石塚」という1点あり	封筒1、状1	「先代贈従五位黒澤女史」の建碑について、「有志各位之後援有之」など、進捗等報告。
976-1	箱5	契約書	水戸市北三ノ丸13924さ狂拝	茨城県東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様(封筒) 金原彦六殿(状)	昭和13年9月24日	状1、封筒1	黒澤止幾子の記念碑建設の残金、285円24銭の支払い期限と利息についての契約書。ただし契約人・連帯契約人の名前は未記入。書き方の手本とみられる断簡あり。左狂が峰三郎に送り、書くよう促したのか。
976-2	箱5	[書簡]	水戸北三ノ丸 さ狂	茨城県石塚局内岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	4月27日	状1、封筒1	先代碑の件に付いて、石屋が催促しているの、早く代金を工面して入金するように、との知らせ。
976-3	箱5	[書簡]	さ狂拝	黒澤亀寿様	—(昭和カ)	状5、封筒1	2枚と3枚の書状2通。左狂が文士の立林氏の建碑・止幾子の紀行文出版について、金銭トラブルがあることを伝えるもの。
976-4	箱5	[書簡]	水戸北三ノ丸 さ京拝	県内東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峯三郎様	(昭和44年カ)10月14日夕	状2、封筒1	建碑について尽力とのこと。糊はがれあり。要補修。
976-5	箱5	[書簡]	水戸北三ノ丸1396 さ狂老人	県内東茨城郡岩船村錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和13年9月6日)(消印)	状3、封筒1	碑の作製を頼んだ金原石屋からの催促状について。催促の写し付。
976-6	箱5	[書簡]	水戸市北三ノ丸 さ狂拝	大坂市旭区森小路6-93 卯野方 黒沢亀寿様	(昭和13年9月24日)(消印)	状2、封筒1	建碑について。石屋への支払いが済んでおらず、止幾子の紀行文も質入れされ支払いの目途が立たないので、有志に残りの紀行文を買ってもらい、工面したいとのこと。
976-7	箱5	[書簡]	水戸北三ノ丸53夕 左狂	茨城県石塚局内錫高野 黒澤峰三郎様	(昭和16年)5月13日	状2、封筒1	2通。建碑費用の石屋の催促について。大坂(亀寿)にも知らせてあるが、金を工面してほしいとの手紙。石屋への代金支払いにつ
977	箱5	覚書有増	—	—	—	状1	石塚村・錫山での源義公・威公・良公のエピソード等を列記したも
978	箱5	[地目書上]	—	—	—	状2	地目と面積等の書上。場所一。「茨城県東茨城郡戸長役場」と入った原稿用紙使用。
986	箱5	[黒澤止幾子の行動について]	—	—	—	綴り1	黒澤止幾子の雪冤行動について書いたもの。「經穆未定稿」とあ
987	箱5	[書付カ]	—	—	—	状3	物語書付か。破損大(糊はがれ・虫損)。
989	箱5	[歌について書付]	—	—	—	状1	亀沢山の院の風流の道について。歌書付あり。「口石」の名あり。
990	箱5	[暦かぞえ歌カ]	—	—	—	状1	月の大小と十二支の組み合わせについてのかぞえ歌。
991	箱5	[書簡]	黒澤□□	市内 宇留野太兵衛様	8月27日	状1	婚姻・婚礼の世話について、他。
992	箱5	[和歌書付]	—	—	—	状1	朧月・吉野花見・草・霜について詠んだ和歌の書付。
993	箱5	[家族誕生日書付]	—	—	—	状2	「享和元年辛庚酉六月八日延生木姓富田庄七十五才」ほか、妻など一族について生年月日・歳の書付。
994	箱5	[漢詩文手習い]	—	—	—	紙6	7枚全て筆蹟が違う。うち2枚は同内容で、楷書とくずしで書いたもの。漢文等の練習あるいは反古か。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
997	箱5	立田口・用文章・静日記	—	—	—	縦帳1(一部、横で綴じるものあり)	三種の異なる内容を同形の紙に記し、綴じたもの。「立田口」のみ縦に綴じる。
998	箱5	[詩句書つけ]	—	—	—	紙1	糊ばなれあり。
1004	箱5	在郷軍人名簿(一部)	—(所管は、第十四師管水戸連隊区)	—	明治～大正か	紙1	対象者、戸主武藤紋重、平民、茨城県久慈郡佐都村大字春友二十七番地。「三十八年徴集」と枠外に印字あり。裏に書き損じか「村岡君」と墨字。就役の終了年号を訂正、明治五十一→大正七年。
1008	箱5	大嘗会御用	—	—	—	包紙1、干草1	「清風」とあり。乾燥させた植物の葉付きの小枝が包まれている。祭礼等で使用するものか。
1009	箱5	社頭松	茨城県管下常陸国東茨城郡岩船村大字錫高野住平民神道御嶽教少教正黒沢峰三郎	宮内省詠進掛御中	明治40年12月25日	状1	和歌1首書付。「吹風も枝をならして君が代の八千代をうたふ住吉の松」。
1010	箱5	[和歌書付]	時子	—	—	短冊1、紙片1	和歌1首書付。「山深かみとふ人もなき一ツ家にそれかあらぬか呼小鳥かも」。
1012	箱5	世界現勢解説地図	大阪朝日新聞王子製紙株式会社	—	昭和12年4月1日	冊1	大阪朝日新聞の附録の世界地図。カラーで各国の人口・地形・産業等について解説あり。
1013	箱5	[絵馬下絵]	—	—	—	綴り1	馬の絵が描かれた絵馬の下絵か。「太田神社社務所」とあり。
1014	箱5	[書簡下書カ]	—	—	—	状1	「膳五円」ほか金銭書付。「明10月半限り必ず御返済シマス」とあり。下書か。裏面に「扇面□□□□」とあり。反故紙か。
1015	箱5	[歌書付]	—	—	—	状1	古典の和歌、各地の名所等を称える詞を入れた歌か。端裏に朱字で「□ノ神宮禰宜瀧□□書なり」とあり。糊はがれ。
1016	箱5	[書]	—	—	—	まくり1	漢詩・漢文の書付か。「権近書」とあり。
1017	箱5	[書簡カ]	□□芳賀秋場平民岡田美陸拝具	—	—	状1	破損あり。「椽木県令鍋島仁公侍史」とあり。栃木県令の書の写し
1018	箱5	井殿山 荒澤縁起並護摩堂建立序	塩子村長楽院	—	安永5年申	冊1	下部破損。常陸国茨城郡の井殿山の由来について。
1019	箱5	[梅花図]	—	—	宝暦12壬午夏4月7日(写)	図1	墨による梅花の図。糊はがれ。
1020	箱5	[菩薩図]	—	—	—	図1	菩薩あるいは天の彩色図。糊はがれ。
1021	箱5	在郷軍人名簿	—	—	(明治カ)41年	状3	綴りのうちの3枚。族籍や本籍、氏名、役名等の名簿3人分。3人とも久慈郡。
1022	箱5	[人数書上]	—	—	—	状1	人数と男女の内訳書上。年季奉公のことなど書付あり。人別的一種か。前後欠。
1023	箱5	[金銭・人名書付]	—	—	—	状1	金額と人名書上。代金などの書上げか。上下二段、折紙用の書き方で書かれている。(折った形跡なし)
1024	箱5	御道の写	喜口小十郎 鶴殿八大夫	—	3月27日	折紙1	着用の服について述べたもの。
1025	箱5	[書簡]	□□□之介	高野村 三村庄右衛門様	第10月15日	状1	黒澤止幾子の贈位と歌について。
1026	箱5	[金銭書上]	—	—	—	状1	綴りなどの内の1枚。代金等の書上げか。
1027	箱5	[年賀状]	東京市本所区菊川町2丁目34番地中文商店 材木問屋小林文之助	茨城県東茨城郡錫高野黒澤峰三郎様	昭和5年元旦	葉書1	「謹賀新年」のみ。印刷。
1028	箱5	[金銭書上]	—	—	—	状1	金銭と人名書上。
1030	箱5	[写真]	—	—	—	写真1	台紙付の男児の写真。
1031	箱5	[株主総会関係書簡]	三菱金属鉱業株式会社、菱光産業株式会社	株主各位(黒沢亀寿)	昭和46年11月10日～11月13日	状4、封筒1	2社からの株主総会等の書状。「タキイ種苗株式会社」の封筒にまとめて入れられている。封筒の宛名は黒沢亀寿。
1033	箱5	[掛軸]	—	—	—	布1	目の荒い布を掛軸の形に装丁。「萬歳」の字のみ。
1034	箱5	[新聞記事切抜]	朝日新聞(茨城版)	—	昭和44年8月23日、9月6日他	切抜4、封筒1	考古学・歴史関係の新聞記事切抜。「グラフNHK」の封筒に入れてある。裏に「考古学関係遺跡其他」と手書きであり。
1035	箱5	[和歌書付]	—	—	—	短冊1	和歌1首書付。
1036	箱5	[版画・書]	—	—	天保10亥年孟春、他	紙25	教育等に関する書などの版木の下書・試し刷りか。1枚のみ「菱湖先生法書目録」の奥書のようなものあり。
1037	箱5	[拓本](天満宮霊座石表)	茨城県知事正五位勲五等坂仲輔篆額 水門処士泉彦九郎謹識 水戸文園栗橋保孝	—	明治42年8月	拓本1	天満宮霊座石についての由来を刻んだ石碑の拓本。端裏に「那珂湊町天満宮之碑」とあり。
1039	箱6	[和歌書付]	とき子	—	—	状1	和歌1首書付。「難波かたみつの浦はの身をつくじつせし事ハむか 成りけり」
1040	箱6	[石碑拓本]	江戸綾瀬亀田梓 撰	—	天保14年龍次癸卯夏6月	まくり1	「新築石社之碑」とある石碑の拓本。壺子書込み「綾瀬先生有亀田齋先生之三里也」とあり。端裏に「亀田綾瀬先生之書」とあり
1043	箱6	[漢詩色紙]	淳堂生(角印)(角印)	—	—	色紙1	七言絶句一句書付。
1044	箱6	不動尊明王護摩私記	—	—	—	横半1	護摩の作法等についての書物。
1045	箱6	[漢詩集]	—(吉莊拝稿)	—	壬申如月初八(検閲日)	縦帳1	七言絶句、ほか漢詩をまとめたもの。それぞれにタイトルあり。朱字で訂正等記入。
1046	箱6	高扣 宣出院	—	—	縦冊:文化7年 絵図:文化3年寅6月13日	縦帳1、絵図1	持高書上、取得の書付あり。場所—。
1047	箱6	野州紀行 可口通人	吉口(蔵カ)	—	—	縦帳1	栃木の各所を巡った時の紀行文と俳句の書付。複数の俳句作者の名あり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1048	箱6	左掖梨花	丘為		—	豎帳1	中国の物語を集めたものか。絵入り本。
1049	箱6	[書簡]	御嶽教庁庶務課(角印)	少教正黒澤止幾殿	(明治カ)22年1月4日	状1	忠君愛国、布教に尽力したことにより、特典昇級するという知らせ。
1050	箱6	[書簡]	御□□□□ 大教正□石□	下□□□義□	8月12日	状1	板会教正訴出の手筈、同族会集の義について。
1051	箱6	[漢詩集]	—	—	—(明治以降)	状1	後欠。「閣下」とあり。述懐もしくは書状の下書か。
1052	箱6	[十悪について]	—	—	—	状1	仏語の身・口・意の十悪について説明と戒め。
1053	箱6	金子預證文之事	三村庄次□④	黒沢あ(ママ)とき様	安政5年午8月	状1	金5両預り実正のこと。
1054	箱6	御預り申金子之事	預り人 高羽清衛門④	黒澤李恭様	慶応2年寅2月	状1	金一両、とき様御廻み金、預り実正のこと。
1055	箱6	借用申金子之事	借用人 藤吉④ 請合人 高羽清衛門④	黒澤李恭様	元治元年子4月	状1	金一両借用実正、返済は当10月限り。
1056	箱6	借用申金子手形之事	借用人 藤吉④ 口頭(同断カ) 高羽吉十④ 高羽清衛門④	黒澤李恭様	元治元年子12月	状1	金一両ほか止幾より借用実正のこと。返済は来たる丑11月中。
1057	箱6	辞世の和歌	孫よし知(筆記)	—	—	短冊3、包紙1	包紙に「辞世の和歌」とあり。黒澤止幾子が詠んだ和歌を峰三郎が筆写したもの。3枚中1枚の詞書に「八十五歳になる春の頃…」とあり。3枚とも裏に「養弟・孫黒澤峰三郎しるす」とあり。
1059	箱6	[漢文または手習い見本]	—	—	—	状1	漢文書付、あるいは手習い用の子の見本か。銀色に塗った料紙使用。裏に和歌の書付あり。反故か。
1060	箱6	続之事久而続終後百説	とき印	—	—	状1	和歌1首書付。「何人のつくをよむとやするしけん後によむ人疑やを□□」。冊子の断簡か。
1061	箱6	[和歌書付]	阿婦尼	—	—	状1	和歌3首書付。
1062	箱6	[和歌書付]	—	—	—	状1	和歌1首書付。「なかきよのとふ(わか)のねふりのみなめさめなみのりふねのおとのよきかな」。
1063	箱6	[書物部分]	—	—	庚申晩春	紙1	書物の内の1枚か。漢文の書付の一部とみられる。落款あり。
1064	箱6	孫の祝歌	—	—	—	状1	祝の歌2首書付。
1065	箱6	[和歌書付]	—	—	—	状7	元は2枚別の状から5枚と2枚に分断されたもの。梅などの題で和歌書付。2枚に分かれている方は、冊子が綴りの部分とみられる。
1066	箱6	[絵図]	—	—	—	絵図7	元は1枚だった可能性のある動植物図6枚、同じ大きさの魚を獲る人物図1枚。植物図の右に「羅菊」「来會」とあり。裏の中に「遊祝」。
1067	箱6	[書簡](弥被仰遣被下候哉□□存候已上)	—	—	—	状1	後欠。書状の挨拶部分か。
1068	箱6	(金銭書付)	—	—	—	包紙1	「金式百疋 御橋代 黒澤李恭」とのみあり。
1070	箱6	[書簡]	□□	黒澤教□様	5月23日	状1	連絡・近況か。(記念品送付、家人の病気について、困窮の知らせ、他。)
1071	箱6	[書簡]	東京都□□猿王町24番地大越方山敷□(世カ)雄拜	黒澤峰三郎様 同おこん様	(明治カ)21年10月2日	状1、封筒1	近況報告、機嫌伺いか(卒業のこと、他)。
1074	箱6	[和歌書付]	—	—	—	状1	四季、他題目ごとの和歌31首、「あみたふつ」を折句にした和歌の図書付。「毘沙門堂太納□□□兼郷佐渡国にて誦侍ける33首の歌」。
1075	箱6	[通達綴り]	与頭、水戸寺社奉行ほか	—	明和8年卯3月、ほか	綴り1	江戸期の寺社関係の通達の一部を綴ったもの(菩提寺・葬送・静明神のこと、他)。
1076	箱6	[書付]	—	—	—	状1	歌類の書付か。
1077	箱6	[書簡]	水戸能上市梅香留宿加藤木峻叟	東茨城郡岩松村大字錫高野亀澤□黒澤峯三郎様書下	(明治)23年5月19日(消印は20日)	葉書1	加藤木峻叟宅に徳川家より使者が来て、黒澤止幾子が亡くなったことにつき、自若院からも用意が伝えられ、寸志をもらったので曾(黒澤)武之助の初の端午の節句を祝う和歌・武之助の初節句の祝いについて、また学校教育制度の在り方について。
1081	箱6	[書簡]	加藤木峻叟	黒澤□(於カ)速様貴下	5月端後(ママ)翌日	状2	
1083	箱6	北野天満大自在天神宮トいふ事を頭ニ□(置カ)	—	—	—	状1	天満宮についての和歌書付。
1085	箱6	[書付カ]	—	—	—	状1	書などの書付、下書か。
1086	箱6	天草軍記大全卷之拾九(包紙)、天神經(状)	—	—	—	状1、包紙1	包紙に「時子紙物」とあり。状は経と御詠歌書付。包紙と中身が違っている。
1088	箱6	[書簡]	加藤木養	黒澤峯三郎様	明治26年6月10日	状1、封筒1	老父死去の際の御礼、写真の進呈について。
1089	箱6	記(金銭受取)	黒澤峯三郎	安田定則様閣下	(明治カ)23年月日	状1	金50銭、黒澤止幾子への香典代として受取。
1090	箱6	[書簡]	加藤木峻叟	黒澤峯三郎様	(明治カ)23年5月9日	状2、封筒1	黒澤止幾子が死去した知らせへの返事・お悔み、親戚への連絡等についてなど。
1091	箱6	[和歌送状]	加藤木峻叟	黒澤峯三郎君貴下へ	12月30日	状1	「老が身の□□を消くやしなひに鶏の卵を思まひに「ワリ」節七「ハ」とあり」。
1092	箱6	(俳句書付)	—	—	—	状1	「黒澤老母右にはじめて詢死して□□」当箱とだけまぬ□□や四の花とあり」。
1093	箱6	[漢詩集]	—	—	—	豎帳1	七言絶句の漢詩集。
1094	箱6	[書簡]	のぶより	お□□様	11月14日	状1	弟豊次郎のこと、世話について、ほか。
1096	箱6	[書簡]	磯元□	鈴高野御老母様	7月15日	状1、包紙1	昨年の岩根村の状のことについて、他。
1098	箱6	[俳句書付](学紀園撰 当□句々 □□苔花)	—	—	—	綴り1	俳句書付。
1104	箱6	道乃屋老翁大人撰 新体其のくさゝ	道乃屋老翁大人(撰者)	—	—	状4	綴りが外れたもの4枚。長歌・反歌など、様々な種類の歌を集めたもの。朱字で注釈あり。
1105	箱6	[書簡カ]	—	—	—	状1	止幾子が養長男の竹四郎を離縁し、嫡子の冬吉も廃嫡すること、また関口峰三郎を養子とすることなどの経緯について。前後欠。
1106	箱6	[書簡カ]	—	—	—	状1、断簡1	新春の祝い詞の書付か。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1107	箱6	〔書簡〕	加藤木峻叟	黒沢おとき様貴下	(明治カ)12年4月15日	状1	炭恵贈の礼、機嫌伺い、ほか。桜の歌あり。
1109	箱6	〔書簡〕	小西義兼	黒澤李恭先生	2535年第5月22日	状2	黒澤止幾子の行動を称える内容。
1110	箱6	〔書付カ〕	—	—	—	状1	「兩人江 まい口」とあり。ほか書付。後欠か。
1111	箱6	〔由緒書付カ〕	—	—	—	折紙1	「指月覚心」とあり。人名等と生年月日(没年か)書付。裏に「龍興」から始まる系図あり。
1112	箱6	〔書〕	吉法崎 山田蔵(角印)(角印)	—	—	まくり1	漢文書付、落款あり。
1113	箱6	〔手習見本カ〕	—	—	—	状12	字・歌の手本か。1つには「黒沢氏」と裏書あり。
1114	箱6	述懐	真月	—	—	状1	和歌2首書付。
1115	箱6	〔俳句書付〕	—	—	—	状2、断簡1	俳句書付2枚、断簡1枚。
1116	箱6	〔書〕	—	—	—	まくり3	書3枚、3枚とも落款あり。
1117	箱6	〔礼状〕	中岡口太郎	有馬翁	8月25日	状1	故令夫人への「手向の花」1部送付の礼、ほか。
1118	箱6	〔書簡〕	鷹岡生	有馬口兄口口	7月18日	状1	金3円送付のこと、ほか。
1119	箱6	〔書簡〕	軽部彦勇	有馬賛雄様	6月9日	状1	送付した短冊への教示のこと、歌についてのこと、ほか。
1120	箱6	〔書簡〕	関根忠篤	有馬老台机下	7月12日	状1	水戸学など、金子賢太郎の憲法制定の時の基本となった本が知りたいので指導を頼む旨の内容。
1121	箱6	〔書簡〕	口口	口口様	10月14日	状1	
1122	箱6	〔一筆啓上〕	小田部口口口守(花押)	小林文衛門様	正月11日	状1	御紙面の趣、謝し候。No.1123と関連した内容か。
1123	箱6	〔書簡〕	国友萬五郎尚友(花押)	小林文衛門様 参人御中	正月11日	状1	
1124	箱6	〔書簡〕	石川七五郎 信助(花押)	君嵩千之助様 参人御中	6月4日	折紙1	著中見舞いか。片面に二伸あり。本文とは異筆か(向々書は二伸と同筆)
1125	箱6	〔一筆啓上〕	安松七路兵衛重明(花押)	小林安五郎様参人御中	正月11日	状1	祝の詞。No.1122、1123と関連した内容か。
1126	箱6	〔書簡〕	口口口中	屋口(嶋カ)先生口	2月15日	状1	下部破損。依頼ごと、達書の件について、ほか。
1127	箱6	〔書簡〕	—	—	2日	状1	下部破損。金銭の工面についてか。
1128	箱6	〔書簡〕	—	—	—	状1	後欠。上部破損。加茂大人より玉作(歌か)受取について、また計画雑誌発行の件について。
1129	箱6	〔年始挨拶状〕	桑原政	有馬賛雄様	明治32年1月1日	状1、こより1	新年の祝い。裏に万年筆で「有馬歌人の手紙」とあり。
1130	箱6	新聞連載小説「大久保彦左衛門」切抜	(著者:村上元三 画:中一弥)		(昭和カ)	切抜一括、封筒1	「大久保彦左衛門」第2話～377話(完結)までを新聞から切り抜いてまとめたもの。抜けあり。これらを「愛犬ジャーナル」(新ジャーナル社)の封筒に入れている。宛先は「茨城県石塚局区内桂村錫高野2224黒沢亀寿様」。鉛筆書で「大久保彦左衛門」とあり。
1237	箱6	東京日日新聞	大阪毎日新聞社東京支店		昭和3年11月	新聞一括	昭和3年11月発行のものを順不同に綴ったもの。二箇所をこよりで綴っている。昭和天皇即位御大典について(11月9日)。他の月は綴じた一番上に重要トピックが墨書されているが、11月分にはな
1238	箱6	東京日日新聞、いはらき	大阪毎日新聞社東京支店、いはらき新聞株式会社		昭和4年10月～11月	新聞一括	東京日日新聞昭和4年10月27日号を外側に綴じる。その上に墨書で「昭和四年十一月茨城県下に於ける特別大演習一覽亀澤」とあり。10月26日～11月中旬くらいか。「いはらき」は11月14、16、
1239	箱6	東京日日新聞	大阪毎日新聞社東京支店		昭和2年2月	新聞一括	東京日日新聞昭和2年2月3日号を一番外側に綴じたもの。上に墨書で「大正天皇御大葬号」とあり。日付の並びは順不
1240	箱6	東京日日新聞	大阪毎日新聞東京支店		昭和6年～7年	新聞一括	東京日日新聞昭和7年11月1日号を一番外側に綴じたもの。墨書で「東京日日新聞号外附録満州東亞面報 亀沢文庫」と
1241	箱6	いはらき	いはらき新聞株式会社		昭和3年7月	新聞一括	新聞「いはらき」昭和3年7月4日号を外側に二箇所を綴じたもの。墨書で「いはらき新聞義公生誕三百年祭の記事」とあり。日付は順
1242	箱6	報知新聞	株式会社報知新聞社		昭和11年4月13日	新聞 1枚	報知新聞の1・2・7・8面のみ。虫損あり。
1244	箱6	御嶽教常磐教会神楽太鼓張替寄附連名	発起主 錫高野老人一同	—	明治29年乙未霜月28日	縦帳1	冒頭に趣旨あり。140名余の署名、寄付額の書上。巻末に合計として「金拾貳円四拾一銭」とあり。
1255	箱6	東茨城郡岩船村大字錫高野字亀沢御嶽教常磐教会神坐屋根替寄附連名	教会所修繕係(角印)	—	明治25年旧7月25日	縦帳1	寄付帳。金銭・人名書上。
1261	箱6	茨城県神道各同盟会雑書類綴	(茨城県神道各同盟会)会長	茨城県神道各教同口(役カ)会御中	明治35年10月ヨリ	縦帳1	会の規約、受書、上申書などの綴り。
1262	箱6	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名帳	那珂西講社岩船村錫高野常磐教会所(角印)	—	明治40年11月	縦帳1	教会修繕費の寄附人名帳。常磐教会長少教正黒沢峰三郎の主旨説明書あり。
1263	箱6	御嶽教常磐教会修繕費奉納人名簿	那珂郡野口講社岩船村錫高野常磐教会所(角印)	—	明治40年11月	縦帳1	教会修繕費の寄附人名帳。常磐教会長少教正黒沢峰三郎の主旨説明書あり。
1264	箱6	御祈祷人名帳	御嶽教常磐教会所	—	大正4年1月1日	縦帳1	祈祷内容と氏名記録。
1265	箱6	御嶽教常磐教会神殿屋根替寄附連名	修繕係(角印)	—	明治25年旧6月20日	縦帳1	寄附額と氏名名簿。
1266	箱6	神道大会ニ対シテ希望スル意見	茨城県東茨城郡岩船村錫高野御嶽教常磐教会長少教正黒沢峰三郎	—	明治40年4月28日	縦帳1	4カ条の要望書。
1267	箱6	他村并二村書面配布連名簿	常磐教会新口世話係	—	明治21年旧8月27日	横帳1	地名と氏名書上。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1268	箱6	明治三十一年度初穀献納扣帳	常磐教会所	—	(明治31~32カ)	横帳1	旧10月27日の献納の内容と氏名書上。
1269	箱6	主神祭神饌物献備人名帳	常磐教会所祭事係	—	明治32年10月27日	横帳1	献納の金銭と氏名書上。
1270	箱6	明治三十三年度初穀奉納人名簿	常磐教会所会計課	—	明治34年1月1日	横帳1	奉納の金銭・粃等と奉納人の書上。
1271	箱6	撃劔会々員出席人名簿	—	—	明治32年□(旧カ)10月27日	横帳1	氏名書上。「明治三十四年一月元旦」として氏名列挙あり。
1272	箱6	主神祭神饌物献備人名扣帳	常磐教会所祭事係	—	明治36年旧10月27日	横帳1	献納品と氏名書上。
1273	箱6	記	—	—	—	横帳1	金銭、粃、氏名書上。寄附もしくは徴税書付か。
1274	箱6	教職□□辞令□…後扣并ニ講入費帳□…	監督 黒澤峰三□(郎)	—	明治26年11月22日	横半1	表紙下部欠損。最初のページは「郵便葉書」など諸経費書上。次のページより辞令と金銭(袖録料とあり) 氏名の書上
1275	箱6	栃木県下野国講社世話人名簿	茨城県□信太中浮島村関口峰三郎	—	明治19年6月吉日	横半1	村ごとの世話人書上。
1276	箱6	通達	御嶽教管長事務取扱尾前廣吉(角印)	—	大正15年12月14日	状2	印刷。ほぼ同一の内容。天皇の平癒祈願を指示する内容。
1277	箱6	記	—	—	—	状1	「本日ヨリ那珂西村ヲ…」とあり。周辺の村への訓導の記録の一部か。
1278	箱6	[書簡]	井上守尋	黒澤□先貴下	1月20日	状1	50銭依頼の書類のことについて。
1279	箱6	活力	茨城県水戸市上市北三の丸活力社	—	明治44年9月	状1	雑誌『活力』の広告。毎月1回1日発行、定価金4銭とあり。
1280	箱6	[書簡]	西茨城郡七会村大字□子阿久津助太郎	東茨城郡岩船村大字錫高野黒澤峯三郎殿	大正5年3月13日	状1、封筒1	石碑の碑文揮毫の謝礼と新たな注文について。
1281	箱6	同盟会員之證	—	—	—	紙2	会員証の雛形・予備か。1枚は「第八十九号」とあり。「茨城県神□□(御嶽カ)教同□□(盟會カ)」の朱印裏にあり。
1282	箱6	[条文]	神道御嶽講(角印)	—	—	状1	講の条文か。第1条~3条まで。印刷。破損あり。
1283	箱6	御嶽教基本講員待遇法	御嶽教管長従四位鴻雪爪	—	明治33年4月	状1	教師や信徒の拠出金などについて決めた条文。印刷。
1284	箱6	[任命書]	御嶽教管長鴻雪爪	飛田重太郎	明治18年1月10日	状1	教導職試補に申付ける旨の任命書。
1285	箱6	[書簡]	大坂市此区□□町三十九□二十番地 □□□重吉	黒澤峰三郎様	(明治39年)8月21日	状2、封筒1	状には「叔父上様」とあり。宇都宮の叔父のこと、暑さで困っていること、贈物の礼など、ほか。途中で欠りか。
1286	箱6	[任命書]	神祇皇祖教会本院	飯村勝	明治32年4月8日	状1	神祇皇祖教会信徒結集係に任命する旨の通知書。
1287	箱6	[書簡]	東茨城郡□□大字□165番□□□□ 小園江渡	東茨城郡岩船村大字高錫黒沢峯次(ママ)郎殿	(明治)39年正月23日	状1、包紙1	金子栄吉の死去について。
1288	箱6	(運動会招待状)	石塚小学校春気会	黒澤峯三郎殿	10月12日	状1	10月14日開催の運動会の招待状。
1289	箱6	(運動会プログラム)	—	—	—	状1	「三十九年度秋季大運動会」とあり。No.1288の運動会のプログラムか。
1290	箱6	[書簡]	関口文弥	黒澤峰三郎様	明治39年8月31日	状1、封筒1	お話の件の謝礼、愚息出家のこと、ほか。
1291	箱6	[書簡]	静岡県引佐郡金指町88番黒沢冬吉	黒沢峯三郎様	明治30年12月27日	状1、封筒1	本籍送付について。
1292	箱6	[書簡]	東茨城郡石塚村上泉久野や□□□川又三 次郎ヨリ	黒澤峯三郎様	大正5年6月6日	状2、封筒1	・御嶽教教師藤原勝豊殿出頭の際、霊殿御修繕のことを聞き、献納することについて。 ・金一円献納のこと。
1293	箱6	[書簡]	栃木県野州市宇都宮市□石町巴向芸ニテ吉田彦七郎	少教正黒澤峰三郎殿	(明治29年)9月26日	状2、封筒1	御嶽教の教職のこと、納入金、祈祷の免許、料金等について。
1294	箱6	[歌書付]	よし知(黒澤峰三郎)	—	—	状1	□財治郎翁が病床で詠んだ和歌を峰三郎が書き写したのか。辞世の歌の書付あり。
1295	箱6	[書簡]	大□□□	黒沢峯三郎様	4月25日	状1	秘蔵の短冊紹介の礼について。
1296	箱6	慰問詞	神理教管長佐野経彦	—	明治37年月日	状1	日露戦争にあたっての慰問詞。印刷。
1297	箱6	茨城県神道各共同盟会祈祷師保護規約	茨城県神道各教同盟会	—	明治35年10月	状4	規約条文(第1条~7条)、報酬一覧表。同一のもの4枚。
1298	箱6	[依頼書]	御嶽教常磐教会所(角印)	松本勝之介	明治42年11月22日	状1	当教会所属龍神講社社中巡回祈祷神札配布世話方依頼のこと。
1300	箱6	下野國室矢島御鎮座 御嶽神社 伊許建別神社 廣前御祈禱璽	—	—	—	札1、包紙1	神璽と包紙か。
1301	箱6	[天皇に関する記事切抜]	—	—	—(大正カ)	綴り1	「先帝御製」「明治天皇御製」の和歌の切抜。新聞・雑誌の記事の一部か。4枚1綴り
1302	箱6	[日光東照宮神札]	(日光東照宮)	—	—	札3	「日光鎮座 東照宮祈祷大麻」。朱印ありの札。同一のもの3枚。
1303	箱6	[和歌書付]	—	—	—	状1	「兄君の霊口を…」とあり。鎮魂・供養の和歌か。
1304	箱6	『活力』	水戸市下市川崎町活力社	—	大正5年11月3日	冊1	雑誌『活力』第1号(改刊第80号)。教育、立太子式等についての記事。
1306	箱6	帝国家庭教育新聞	市立礼節技芸女学館(発行)	—	大正10年5月25日	新聞1	女子と教育などについての記事。礼節技芸女学館の規則についての折込あり。
1307	箱6	御嶽教々報 第29号	御嶽教大本庁(発行)	—	昭和2年7月1日	紙1	教令、普告などの告知事項、「教壇」という教義に関するコラム、任免等の人字んいついての案内。詩歌投稿、お悔みなど。
1308	箱6	東京日日新聞 第17948号(部分)	(東京日日新聞社)	—	大正15年8月23日	紙1	第3~6面のみ。「倭、鳥羽善戦 日本全勝す テ杯日本対双馬戦」の記事に二重丸あり。その下に「神社の将来」との寄稿文あり。
1309	箱6	大正十一年 平和記念 東京博覧会美術館出品 目録	—	—	大正11年	紙1	「画報社印行」との印字あり。隅に「第四版」とあり。会期等の記載なし。場内24室 700点の出品作品について陳列番号 命題 価
1310	箱6	[漢詩文書付]	—	—	—	状1	枠線ありの用紙に漢文書付。
1311	箱6	[漢詩文書付]	(閑居偶作)	—	—	状1	漢詩書付。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1312	箱6	[同盟会員之證]	—	—	—	紙2	「第 号 同盟会員之證 君」とあり。裏に朱印あり。茨城県の神道関係組織の会員証の雛形か予備とみられる。同一のもの2枚。
1314	箱7	卷之二(字典カ)	—	—	—	縦帳1	借書とくずし字が表記されたもの。部首ごとにまとめられている。表紙に収録する部首と該当する頁数を記してある(目次)。1頁めに「亀澤文庫」の朱印あり。裏表紙に「卷之一」の題箋が貼りついている。No.1315、1316の一連の一つか。虫損大。
1315	箱7	卷之四(字典カ)	—	—	—	縦帳1	No.1314と同様のもの。続きか。表紙に題箋、1頁めに「亀澤文庫」の朱印あり。裏表紙に「卷之三」の題箋が貼りついている。虫損大。
1316	箱7	草書淵海序	—(峯月堂助信先生写とあり)	—	—	縦帳1	くずし字の字典か。No.1314、1315と関連のものか。「亀澤文庫」の朱印あり。「共九冊」と表紙にあり。
1317	箱7	草書淵海	—	—	—	縦帳1	部首ごとの草書字典。途中欠あり。「竹部」から「虎部」まで。No.1314などに関連するもの。「亀澤文庫」の朱印あり。中表紙は「淵」が「圓」と表記されている。虫損大。
1318	箱7	[草書淵海カ]	—	—	—	縦帳1	草書字典か。No.1314などに関連。「長部」から「龜部」まで。「亀澤文庫」の朱印あり。虫損大。
1319	箱7	草書淵海	—	—	—	縦帳1	草書字典か。No.1314などに関連。「一部」から「小部」まで。「亀澤文庫」の朱印あり。背表紙に目次の紙あり。ただしNo.1318の目次とみられる。虫損大。
1320	箱7	[草書淵海カ]	—	—	—	縦帳1	No.1314と一連の草書字典。「支部」から「水」まで。「亀澤文庫」朱印あり。虫損大。
1321	箱7	[草書淵海カ]	—	—	—	縦帳1	No.1314と一連の草書字典。「虎或作口」から「金部」まで。「亀澤文庫」朱印あり。虫損大。
1323	箱7	[諸御役目録]	江戸日本橋南一丁目御書物師出雲寺和泉掾版(角印)	—	明和4年丁亥年	冊1	表紙なし。諸役の氏名・家紋・任期・家臣とみられる氏名等の一覧。「亀澤文庫」の朱印あり。刷物。虫損大。
1324	箱7	諸御役目録	—	—	—	冊1	寛政8年頃の幕府の諸役目録。No.1323の関連か。「亀澤文庫」の朱印あり。虫損等あり。後欠。刷物。
1325	箱7	[御系図、字典]	—	—	—	冊一括	冊子体の破損したもの凡そ4部が混在。刷物。No.1323の関連か。「御系図」と表紙裏にある一群は底部に「寛政十二 二月」と書込みあり。所々に「亀澤文庫」「関口」の印あり。一部に字典(「文撰字引」カ)が混ざる。系図は將軍家はじめ各家の人名、来歴、纏を載
1326	箱7	続国史略 後編 五	小笠原勝修	—	明治7年甲戌2月(後述は4月)	縦冊1	刷物。「亀澤文庫」の朱印あり。出版者は「東京 内野屋弥平次」ほか、京都・大阪。本文は慶応元年から明治維新・五稜郭の戦いま
1327	箱7	行徳敬二郎集註 集註 纂評謝選拾遺 二	山陽頼先生選 頼復士校閲 行徳貫二卿纂評 行徳敬孟義集註	—	—	縦冊1	刷物。「亀澤文庫」の朱印あり。「新修勝王閣記」ほかの集註と纂評。巻の二～三まで。
1328	箱7	行徳敬二郎集註 集註 纂評謝選拾遺 三	山陽頼先生選 頼復士校閲 行徳貫二卿纂評 行徳敬孟義集註	—	—	縦冊1	巻の四～五まで。虫損あり。「亀澤文庫」の朱印あり。「平准西碑」ほかの纂評・集註。
1329	箱7	行徳敬二郎集註 集註 纂評謝選拾遺 四	山陽頼先生選 頼復士校閲 行徳貫二卿纂評 行徳敬孟義集註	—	—	縦冊1	巻六。「亀澤文庫」の朱印あり。「伊尹論」ほかの纂評・集註。
1330	箱7	行徳敬二郎集註 集註 纂評謝選拾遺 卷之七	山陽頼先生選 頼復士校閲 行徳貫二卿纂評 行徳敬孟義集註	—	(明治16年3月)	縦冊1	「亀澤文庫」朱印あり。「明治15年8月18日著作権免許、同16年3月出版」とあり。「同盟書房発梓」とあり。底部に「謝選拾遺 五」とあり。
1333	箱7	国語綴方帖 全	(黒澤亀寿)	—	(明治41年2月頃)	縦冊1	学校で使用した綴方の練習帳。ホチキス二箇所留め。表紙・裏表紙多色刷り。裏表紙に時間割あり。「石塚村尋常高等小学校四年生」とあり。授業で作ったと思われる作文あり。添削がされている。
1342	箱7	ひらがな大字六行 塩口口(切カ)腹段	—	—	—	縦帳1	常盤津などの教本か。「忠臣蔵」とあり。「豊竹住大夫」とあり。「再版」。刷物。
1346	箱7	[歌書付]	—	—	—	冊1	表紙に「あた口」とあり。背表紙に「古澤三代」とあり。持主の名か。「五人林」などの歌詞とみられるもの3本書付。
1347	箱7	綴り方草稿帳	黒澤三四三	—	(大正元年10月10日発行)	冊1	作文練習帳。朱字で訂正あり。茨城県教育委員会撰のノート。黒澤三四三が第一学年の時のもの。裏に時間割あり。
1351	箱7	清津及鞍山ルツペ生産近況報告会	日満レン法特許共保組合	—	昭和16年5月28日	冊1	秘(口西イ)とあり。陸海軍省・正画院・株式会社昭和製鋼所ほか
1352	箱7	[祝典欠席時の心遣いについての礼状]	小口(筆カ)三四郎	黒澤峰三郎様	明治41年9月1日	状1	祭壇に幾つかの報告(明治40年)に関する祝典に招かれたが大層したことを詫言、またその際に供物などを送ってくれたことへの礼を
1353	箱7	[詩句書付反故]	—	—	—	断簡1	和歌等の下書か。上部欠失。
1354	箱7	社頭松風	—	—	—	状1	社頭松風ほか2題についての和歌書付。
1355	箱7	[書簡]	—	有馬大人几下	5月3日	状1	要補修(糊剥がれ)。受納を願うこと、葬祭の礼について、ほか。
1356	箱7	[通達カ]	—	—	丑5月	状1(分冊に上14枚)	破損大。御木印のことについて、ほか。守社・宗教活動等についての通達か
1357	箱7	[寺社縁起等書付]	—	—	—	状1	栃木県下都郡岩舟村の生身地藏菩薩について。縁起など。
1358	箱7	[手紙書損じ、のし紙ほか]	—	—	—	白紙、状一付	のし紙2(蛭町大松、大和田四太)。手紙下書、書損じ。和歌書付。ほし紙が白紙
1359	箱7	[書簡]	□井□□	石□□(登カ)□様	6月8日	状1	歌文・字面について、ほか。
1360	箱7	[書簡カ]	□□□□	有馬□□□	8月20日	状1	歌について、ほか。
1361	箱7	[書簡カ]	酒井喜□	有馬賛雄様	10月19日	状1	先人の墓地改葬について。序文等について(碑か)。
1362	箱7	[書簡カ]	好□	有馬□(様カ)	2月14(5カ)日	状1	亡母の一周回りに帰水のこと、ほか。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1363	箱7	[書簡]	土口山生拝	有馬口(詞か)口	4月6日	状1	書物の礼、集会の料金の用途、届について、ほか。要補修。
1364	箱7	[封筒]	口口又口	黒澤ときさま	—	封筒1	封筒のみ。破れあり。「急ギ」とあり。
1365	箱7	[包紙]	口田安子	黒澤とき子様	—	包紙1	包紙のみ。
1366	箱7	[和歌書付]	—	—	—	短冊1	和歌書付。「山さとも都も同じ国民の口たかにすめとよはふ松風」。朱印あり。
1367	箱7	水戸志士遺物展覧会案内	大礼記念茨城県立教育参考館	—	大正9年3月	状1	「水戸志士遺物展覧会」の案内状。印刷。
1369	箱7	天草軍記大全巻之拾九 目録	—	—	—	状1	「— 細川家合戦并長岡算物父子勸附り黒田三〇〇輪着破〇事」とあり。端裏に「高持 天物」とあり。「亀澤文庫」の朱印あり。
1370	箱7	[風聞等書付]	—	—	—(天保14年の書付あり)	折紙1	三月の「紀州様」に関する風聞書付。「当年」のこと、温飽客のことについて書付、ほか。雑記か。
1372	箱7	(和歌書付)	海岡口口	—	—	布1	紗のような布地に和歌書付。
1373	箱7	[絵]	—	—	—	布1	紗のような布地に松葉・丸・岩が描かれている。
1374	箱7	[包紙]	口口	黒澤おとき様	—	包紙1	包紙のみ。
1375	箱7	[和歌書付]	二口(兵カ)衛	—	—	色紙2	「掛衣」と題する和歌を一首ずつ書付。金・銀箔の色紙。
1376	箱7	[和歌書付]	二郎印	とき子口(様カ)	15日	状1	「御歌 掛衣」として歌書付。
1383	箱7	[周書ほか漢語等について]	—	—	—	綴1	漢語・古典等に出てくる人物についての書付か。
1384	箱7	詩哥口(未カ)瀧人名帳	月口	—	—	綴1	地名(出身地か)と氏名(画号か)書上げ。
1385	箱7	[書簡]	茨城県弘道館事務所 小泉芳敏	東茨城郡桂村錫高野2224 黒澤亀寿様	(昭和46年)5月17日	状2 封筒1	留守のお詫び、掛軸の件について。
1386	箱7	百姓万年暦	神道御嶽教常磐教会会長少教正 黒澤峯	—	—	状1	「恭賀新年」とあり。印刷。頒布したものか。作物の時期について列
1387	箱7	[書簡]	田口口	有馬賛雄様	3月12日	状1	黒澤時子の父・小場兵馬について、ほか。
1390	箱7	[封筒]	那須郡大田原口 白井五郎	見目元一郎様	15年12月26日	封筒1	封筒のみ。「親展」とあり。上部破損。
1392	箱7	[漢文書付]	—	—	—	状1	幕末頃の世相を書いたものか。漢文書付。断簡の可能性あり。
1394	箱7	[国歌筆跡]	—	—	昭和4年11月3日	状1	「君が代」書付。「國家五十年記念」「贈従五位黒澤止幾子筆蹟」とあり。和歌部分が白抜き文字になっているのを塗りつぶしている。
1398	箱7	[訓示カ]	熾仁(角印)	—	明治24年10月	紙1	心構え等を説いたもの。有栖川宮熾仁親王か。印刷。
1399	箱7	[書簡]	—	—	—	状1	「兩人 江 まいる」とあり。御隠居へ御案じにならぬよう伝えるも
1400	箱7	[会議次第カ]	茨城県神道団体本部	—	明治45年5月5日	状1	諮問事項・協議事項とあり。団体の例会のプログラムか。裏書等あり。和歌書付あり。
1401	箱7	[和歌書付]	(熾仁)	—	—	短冊1	「松」と題する和歌一首書付。虫損大。No.1400の裏書にある和歌と同一か。
1402	箱7	[書簡]	當口屋口(謹カ)蔵	—	安政2年卯3月9日(弥生 たかの9日とあり)	状1	時即柄の世情を歎くもの。「有栖川熾仁親王の御除口と事」などの記述あり。
1403	箱7	[各疔瘡の見立て及び対処法]	—	—	—	横帳1	9枚を綴じたもの。24種の疔(かさ)の名称・状態を図入りで書き上げたもの。またそれぞれが人体に及ぼす影響・症状・治療に要する薬種を解説したもの。
1404	箱7	[和歌書付]	—	—	—	状1	戦勝を願う歌か。3首書付。
1405	箱7	[とき子詠和歌書付]	黒澤よし知	—	—(昭和13年カ)	短冊1	和歌一首書付。裏に「黒澤よし知七十九叟」とある。「とき子詠」とあり。とき子の作を峰三郎が写したものか。
1406	箱7	有松歡喜(とき子詠和歌書付)	黒澤よし知	—	—(昭和13年カ)	短冊1	和歌一首書付。「有松歡喜」とあり。裏に「黒澤よし知七十九叟」とある。「とき子詠」とあり。とき子の作を峰三郎が写したものか。
1407	箱7	御贈位を祝ひて(和歌一首書付)	正八位豊田英雄子	—	—	短冊1	「御贈位を祝ひて」とあり。止幾子の贈位を祝う歌か。
1408	箱7	靈祭祝詞	齋主大講義保園源八郎	—	明治20年11月	状1	御嶽教の祝詞か。要補修。
1409	箱7	[口末に有之候を爰に記]	菴蔵書	—	寛政9年巳12月26日(与 1) 辛丑師走29日	縦帳1	亀澤文庫の朱印あり。「雪齋云…石右口木口(注釈で「此子不説」とあり)翁自学の常書也今和泉守より遺之趣写置もの也」とあり。
1410	箱7	年八卦繰やウノ解	—	—	—	縦帳1	「亀澤文庫」の朱印あり。裏表紙に「土佐元仲画工 内山正雄之与筆」とあり。麻笺についての解説書か。中に別サイズの書が綴じこ
1413	箱7	辰とし書初	—	—	辰とし	状1	漢詩書付。書初の台本・手本か。
1414	箱7	[漢詩書付]	—	—	—	状1	「目出度」とあり。七言詩の書付か。
1415	箱7	口上	—	—	—	折紙1	上下で別の書付。上段:「史記評林」巻の61、その内容について。下段:「口上」畑・大豆の金銭書付(代金か)。
1417	箱7	[和歌書付]	千波	—	—	状1	和歌三首書付。裏打ち済、ただしのはがれ気味。
1418	箱7	[漢詩書付カ]	—	—	—	状1	七言詩の書付あるいは手習いか。
1419	箱7	春季口(乱カ)題	—	—	—	状1	春の歌の題書上げか。「梅花留袖」「暮春鶯」など。
1420	箱7	[漢文書付]	—	—	—	状1	漢詩もしくは漢文の書付、手習いか。
1421	箱7	[漢文書付]	—	—	—	状1	漢文(漢詩)書付、もしくは手習いか。破損あり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1422	箱7	[漢詩書付]	—	—	—	状1	七言詩の書付。春について。
1423	箱7	[手習カ]	—	—	—	状1	漢文・漢詩の手習いか。
1424	箱7	[漢文書付]	—	—	—	状1	最初の2行のみ七言詩か。漢文(漢詩か)の書付、手習いか。上部破損。
1425	箱7	口上 十月十七日(人別家内人数書上)	—	—	—	断簡1	「一 鯉淵兼四郎 家内七人」に始まり、計12家について人数を各々記す。
1426	箱7	口上(人数及び人名書上)	—	—	—	折紙1	端裏に「御年始 高口吉口(十カ)」とあり。表は「一 吾人 与平殿」で始まり、上下段合わせて24組を書きあげる。No.1425と同種のもの
1427	箱7	口上(人数及び人名書上)	—	—	—	断簡1	「一 小林宗助」に始まり、14組を列記。No.1425、1426と同種か。
1429	箱7	[明治天皇御真影及び御座所写真印刷]	常総新聞社	—	明治41年1月1日	紙1	印刷。常総新聞第2033号附録。御座所らしき写真に明治天皇の写真を合成したもの。破損あり
1430	箱7	[和歌書付]	—	—	—	状1	和歌三首書付。下書か。
1431	箱7	奉賀	正直	—	—	状1	和歌一首書付。母の長寿を祝う歌か。要補修。
1432	箱7	[和歌書付]	—	—	—	状1	「春の川」など和歌数首書付。
1433	箱7	[和歌書付]	—	—	—	状1	和歌一首書付のみ。
1434	箱7	[俳句書付]	—	—	(8月9日)	状1	俳句一句書付。「八月九日山形といふ里の木かげより久慈川を詠めて」と前書あり。
1435	箱7	[和歌書付]	久比、正直	—	—	状1	久比という人物からの和歌と、その返歌として正直が詠んだ歌の書付。
1436	箱7	劔吉凶之巻	—	—	—	状1	八幡太郎義家に劔の吉凶の奥義を伝えたとする由緒書の一部。後欠か。「松田田流軍礼総目録」と花押の裏書あり。
1437	箱7	[和歌書付]	口太夫	—	—	状1	和歌一首書付。
1438	箱7	娛息齋詩文集叙	作:娛息齋延命、発行:徳若屋才蔵ほか2人	—	明和庚寅歳夏5月(明和7年)	竖冊1	和本。表紙なし。「亀澤文庫」の朱印あり。序文を向水能囀戯が記すとあり。裏表紙中に「尔時寛政四…」と書込みあり。
1439	箱7	唐詩選	(撰:済南李攀龍)	—	—	竖冊1	印刷。巻1~7を一冊に合冊したものか。「亀澤文庫」の朱印あり。
1440	箱7	唐詩選 上	(撰:済南李攀龍)南郭先生訓点、江戸書肆嵩山房梓行	—	—	竖冊1	印刷。巻1~4までを所収。巻末に他の出版物の広告あり。表題は墨書されている。「亀澤文庫」の朱印あり。虫損大。
1441	箱8	[戯曲本カ]	作:岡山鳥、画:歌川国貞、発行:本問屋 西村源六	—	—	竖冊1	江戸期の戯曲・小説か。「亀澤文庫」の朱印あり。
1442	箱8	徳和歌後万載集	(山手白人 誌)	—	—	竖冊1	和歌集。春歌より始まる。「亀澤文庫」、「水迺家蔵書」の朱印あり。
1443	箱8	[物語台本カ]	福部元口(業カ)	—	—	竖冊1	「亀澤文庫」の蔵書印あり。物語・常磐津など謡曲の台本か。「右口名残の鍛名州十一段目」とあり。
1444	箱8	宗教叢書(2) 神社崇敬と宗教	著:廣池千九郎 発行:帆刈正太	—	大正4年8月23日発行	冊1	書籍。巻末に「大正8年9月30日需之 御獄教常磐教会所 蔵本」と墨書あり。「亀澤文庫」の朱印あり
1445	箱8	記事論説作文例題 巻下	編輯人:大阪府平民 福井淳、出版人:大阪府平民 中川勘助	—	明治19年4月30日発行	冊1	書籍。「亀澤文庫」の朱印あり。
1446	箱8	唐詩選 下	(撰:済南李攀龍)	—	—	竖冊1	虫損大、開扉不能の頁あり。No.1439、1440の続きか。
1447	箱8	民家童家解 教育之部	錫隠士 峯月堂助信(花押)	—	天保15年癸辰年3月吉日	竖冊1	虫損大。途中より異筆で「民家童家解巻ノ一」となる。「亀澤文庫」の朱印あり。
1448	箱8	俳句	—	—	(8月20日の書込みあり)	竖冊1	夏~秋のテーマごとの俳句集。虫損大。
1449	箱8	苺萱後伝玉櫛笥 全三冊	作:曲亭主人	—	丁卯春	竖冊1	印刷。滝沢馬琴著・葛飾北斎画。「亀澤文庫」の朱印あり。全三冊の内の上巻。
1450	箱8	苺萱後伝玉櫛笥 中之巻	曲亭馬琴	—	(丁卯春カ)	竖冊1	No.1449の続き、全三冊の内の一つ。「亀澤文庫」の朱印あり。
1451	箱8	石神氏之系、ほか	—	—	—	竖冊1	石神氏の系統、伝記集。虫損大。
1453	箱8	記(受領証)	東次城郡錫高野村 黒沢とき代、養曾孫同峯三郎印	上	—	状1	フアンネル一切、目録、金五百疋の受取証。年月日の箇所「年号月日」とあり。見本か。
1454	箱8	詩文精華	編輯者:熊本県平民坂井末雄、発行兼印刷者:新潟県平民石田皆治郎、発行所:明倫	—	明治25年3月20日印刷、同年同月25日出版	竖冊1	「詩文精華」の刊本。巻末に広告あり。表紙破れ。「亀澤文庫」の朱印あり。
1455	箱8	東京開化 繁昌詩選第一輯	発行:東京書林須原屋伊八版	—	—	竖冊1	表紙なし、刊本。「端書」として「沃魚人」の文章が巻頭にあり。
1457	箱8	春色雪の梅 初編中	狂言亭春雄	—	—	竖冊1	題箋はがれ。蔵書印あり。表題・巻末は「初編中」に対し、本文表題は「初編巻之上」とあり。
1458	箱8	絵本楠公記 全	—	—	—	竖冊1	中途に「擬律擬判」「商法釈義(見本)」等のページが綴じられている。本文の内容自体は後欠、落丁あり。
1459	箱8	紙子頭巾喜久助咄	信築埴邑野夫竹有軒	—	—	竖冊1	蔵書印あり。汚損大。
1460	箱8	松月露談 玉川日記巻之五	江戸 南仙笑楚満人	—	(江戸期カ)	竖冊1	表紙に墨書で「言書」とあり。裏に「茨城県管口下市紺屋町三百拾番地」とあり。汚損大。
1461	箱8	崔臣性名書	—	—	慶長2年酉10月13日、天保13年壬午10月10日	折帳1	蔵書印あり。破損。
1462	箱8	[書](万歳)	少教正黒澤良知	—	大正4年11月10日	まくり1	良知の印等あり。
1463	箱8	[書](天目一筒命)	少教正黒澤良知	—	大正4年11月10日	まくり1	良知の印あり。神名を書いたものか。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1464	箱8	[書](宝祚出隆天壤無窮)	少教正黒澤良知	—	大正4年11月10日	まくり2	良知の印等あり。
1465	箱8	[書](御沙汰)	臣 少教正黒澤良知	—	大正4年11月10日	まくり3	同一のもの3枚。朱印あり。宣旨等を書写したものか。
1466	箱8	[書(賢所大御神)]	少教正藤原良知	—	大正4年11月10日	まくり1	朱印あり。
1467	箱8	略大般若	—	—	—	状1	大般若波羅密多經についての解説か。
1468	箱8	[触書写カ]	—	—	天保8年酉九月	状1	「父母を大切に…」など忠孝や僕約について8枚状。写しか。印刷か。
1469	箱8	独坐敬亭山	鈴木梅女	—	—	包紙1	破損。箔の入った料紙。
1470	箱8	[和歌書付カ]	—	—	—	状1	虫損大。和歌三首書付、ほか。
1471	箱8	[書付カ]	—	—	—	状1	前後欠。道徳や教訓を書き付けたものか。
1472	箱8	[書筒カ]	—	—	—	状1	前欠。「御出馬」などあり。
1473	箱8	[講演会案内]	水戸市教育会長 菊池謙二郎	東茨城郡岩船村 黒澤峰三郎殿	明治41年4月8日	状1 封筒1	4月12日の贈位者事績講演会への招待状。
1474	箱8	[書筒]	御嶽教大本庁(封筒)、監事栗原敬恭(状)	少教正黒澤峯三郎殿	(明治)40年11月28日	状1 封筒1	京阪を地方巡教中であるため、(贈位の祭など)万事帰京してから申上げるとの内容。
1475	箱8	[感謝状]	大礼記念茨城県立教育参考館長除野康雄	黒澤峯三郎殿	大正9年5月16日	状1 封筒1	黒澤とき子の書、他6点を展覧会へ出品したことへの感謝状。
1476	箱8	(書書付)	口(春カ)富大口(登カ)敬書	—	—	まくり1	書書付。落款あり。
1477	箱8	[拓本]	正四位口口口秀鷹	—	文政5年3月11日	まくり1	千載集選入の和歌について刻んだ碑文の拓本か。
1478	箱8	天地開闢日月星出生威神	—	—	—	絵図1	神像図。天手力雄命、ほか3柱。印刷物。のりはがれあり。
1479	箱8	[十二支について]	川上光囀七十一翁楸菴口人書	—	明治7年甲戌5月	折帳1	十二支の猿から亥まで、姿などについて書いた書付か。漢文。短冊状折帳。朱印3つあり。
1480	箱8	[拓本カ]	立原萬書(角印)	—	天明6年丙午10月晦	状1	拓本か。亀澤文庫の蔵書印あり。開扉不能。
1481	箱8	[費目書付帳]	—	—	—	状(折帳)1	日記・証文・請取賃入費目帳。本年分の両替・売買などの費目の解説と書付か。元は折帳だったものが、台紙が外れたものとみられる。文末に「天来先生」とあり。
1482	箱8	[書付カ]	—	—	—	状1	御肴贈につき。前欠。
1483	箱8	[手習手本カ]	—	—	—	状6	単語・地名の羅列。手習いの手本か。元は折帳だったものも含むとみられる。
1484	箱8	府中天来先生書 商売往來手本	應需秋場老人書(角印)	—	—(秋8月)	折帳1	裏表紙に「塚田倉治郎」の署名あり。「商売往來」と題にあるが、内容は漢詩・和歌等の書付。
1485	箱8	[書書付カ]	—	—	—	状1	詩文の書付、あるいは手習いの手本断簡か。元は折帳か。前後
1486	箱8	[名所書付カ]	—	—	—	状4(冊子断簡)	西国の名所旧跡等についての書付か。元は竖冊だったもののうちの4枚とみられる。
1487	箱8	[手習い手本カ]	—	—	—	状33	茨城県内の地名及び旧国名、また漢詩書付など。元は折帳などの継紙か。手習いの教本等か。
1488	箱8	拓本(勿来関の記念碑)	(翁筒井憲)	—	嘉永辛亥年仲春24日	まくり1	石碑拓本。漢文。
1489	箱8	[書書付]	—	—	—	まくり4	漢詩文書付4枚。落款あり。
1490	箱8	[書書付]	—	—	—	まくり1	「仁義」清国為友道口為師」との書付。詞書に「口口(州カ)南泉口(豊カ)秋(落款)」、「光口二十一年清和自口口」とあり。
1491	箱8	[書書付]	黒澤錫山書	—	昭和丙子秋日	まくり1	黒澤良知77歳の書か。「正氣時放光」とあり。上下破れ。
1492	箱8	[和歌書付]	—	—	—	状1	和歌1首書付。
1498	箱8	[書付カ]	—	—	—	断簡1	「千住掃部宿…」とあり。名簿か目録の一部か。
1499	箱8	[田畑書上げ]	—	—	—	折紙1	田の種別と面積・作人書上げ。検地帳などの一部か。
1501	箱8	第一回屏風積立金募集帳	(発起)黒沢峰三郎	—	明治24年旧4月8日	横帳1	募金帳か。金銭・人名書付。各項に黒澤の朱印あり。
1502	箱8	大根種売買貸付控帳	茨城県信太郡津島村 種営業坂本伊兵衛 雇人関口峰三郎印	—	明治19年口6月25日	横帳1	大根種の等級・数量・人名の名簿。
1503	箱8	神拝式	—	—	天保3辰年2月	折紙1	式次第。藤原清次相伝の式とあり。
1504	箱8	六根清浄太祓	—	—	—	折紙1	祝詞。印刷か。
1505	箱8	(木綿他取扱免授の事)	神祇管領長上家 公文所(角印)	駿州府中廣口(第カ)組太元講 世話人 岡本源助	天保11子年4月	折紙1	公文所から木綿ほかの取扱い免授のことについて。
1506	箱8	[書筒]	神戸市日春通六丁目三番二増田佐一郎方 ニテ 高田いと拝	黒澤峰三郎殿	2月28日	状2 封筒1	便箋。出自、これまでの経緯などについて。
1507	箱8	[書筒]	加藤木峻叟	黒沢峯三郎様	4月1日	状1	貞芳院様のこと、また貞芳院から先年拝受した玉録を写し、廻してもらいたいとの趣旨。
1509	箱8	[歌書付]	—	—	—	状1	歌・和歌の書付。
1510	箱8	[書筒]	—	—	—	状1	和歌の送付について。和歌6首書付。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1511	箱9	[和歌書付]				状1	和歌12首書付。「別」、「夏のうた」、「秋のうた」と題目が3つに分類されている。訂正跡あり。
1512	箱9	[書付](やまと歌の人の心をたねとしてよろつこのはとはなれりける)				断簡1	後欠。歌の力について。
1513	箱9	(伝記カ)				紙3	静神社長官齋藤監物についての伝記の一部か。冊子のうちの3枚。
1514	箱9	茨城県中教院(図)				まくり1	神鏡の図か。
1515	箱9	[和歌書付]				まくり5	和歌を1枚に1首ずつ書付けたものか。
1516	箱9	[書書付]	錫山翁六十又六(角印)		大正乙丑菊月	まくり1	黒澤の朱印あり。
1517	箱9	[和歌書付]	(とき子詠)			まくり1	「述懐」とあり。黒澤止幾子の和歌の写しか。
1518	箱9	[和歌書付]	(黒澤とき子詠(角印))			まくり7	とき子の和歌書付。同じ和歌2首ずつあり。
1519	箱9	故黒澤とき子の家訓	(よし知カ)			まくり1	「あや錦きかざるよりも心ざし…」「孫よし知口(尋カ)」とあり。
1520	箱9	[明治天皇和歌書付]	よし知			まくり1	「明治天皇御製」とあり。神宮創立10周年記念の明治天皇の和歌をよし知が写したものを上下2つに分離
1521	箱9	[和歌書付](錫虫)	黒澤李恭			状1	和歌書付。「とき子」「黒澤李恭八十三才」とあり。とき子の歌を写したもののか。
1522	箱9	乍恐奉献 天子江長歌短歌	黒澤李恭		安政6年末の3月	状1	天皇へ献上した長歌・短歌の写しか。
1523	箱9	[書画]	佐野正画(角印)		明治丙口の秋8月	紙1	和歌の書付、菊怒重などの図。「黒澤止幾子老人口許に送り奉る」と詞書にあり。破損大
1524	箱9	[和歌書付]	秀男			状1	「君がため」として和歌1首書付。
1525	箱9	[書](秀群)	上坂信学他			まくり1	漢詩、俳句書付。書画。
1526	箱9	[書](愛國)	城山口(野カ)光 (角印)			まくり1	書。「愛國」。
1527	箱9	[和歌書付]				状1	和歌書付。裏打ち済。
1528	箱9	[書書付](賀黒澤止幾子刀自贈位)	長修(角印)			まくり1	黒澤止幾子贈位を祝賀する漢詩。
1529	箱9	[書](黒澤老大人に寄せ奉る)	替光			まくり1	黒澤止幾子の贈位を祝賀する歌か。
1530	箱9	[漢詩書付]	八口志翁口正口(角印)			まくり1	韋応物『聞雁』の書付か。
1531	箱9	天子江奉献長歌	黒澤李恭		安政6年末3月	状1	天皇へ献上した長歌・短歌の書付か。4枚に分離。
1532	箱9	天子江奉献長歌	黒澤李恭		安政6年末3月	状1	天皇へ献上した長歌・短歌の書付か。4枚に分離。料紙。
1533	箱9	[黒澤止幾子の中追放について]			(安政6年10月20日)	状1	黒澤止幾子の事蹟についての書付。安政6年中追放について。
1534	箱9	[和歌書付]	(とき子、李恭)			状1	黒澤止幾子の和歌書付。江戸へ送られる途中、京より下る時、自宅へ幽閉。それぞれの時の和歌
1535	箱9	天子江奉献長歌(黒澤止幾子の事蹟・長歌書付)	黒澤李恭		安政6年末3月カ	まくり1	黒澤止幾子の事蹟について、安政6年の天子へ奉献した長歌・反歌を一紙ものに仕立てたもの。
1536	箱9	[書下書]				まくり5	「忠烈口雙」の下書。
1537	箱9	[和歌書付帳]				横帳1	「月央水」「海辺ノ月」などテーマごとに和歌を書付けたもの。
1538	箱9	[教會所大修繕及び教會拡張に付き義捐願ひ]	常磐教会長 少教正 黒澤峯三郎		明治40年11月25日	状1	教會の修繕のための義捐金願ひ。信徒あてか。
1539	箱9	[和歌書付]				断簡1	和歌1首書付。前書に「山里にすみ待るとて君のわかれたまひける」ときのうたの返しとある
1540	箱9	書(穆若清居)	松口(落款)	(登士口(常・道カ)女史)	庚口仲夏	紙1	裏打ちあり。軸装などに仕立てられていたもののはがれとみられる。
1541	箱9	来解				綴1	テーマごとの和歌書付と解説か。
1542	箱9	[和歌書付](勝見澤村八景)				状1	勝見澤村の八景についての和歌書付。訂正の跡多数。
1543	箱9	[和歌書付]				状1	「みのむしの 姿もふせや かへみなる 見るに心の くまもみかけ」他4首
1544	箱9	[和歌書付]				状1	後欠。複数の和歌書付。頭文字を繋げると「なむときはじんじや…」となっている。御嶽教関連のものか。
1545-1	箱9	[和歌書付]				状1	「山家雪」ほか5首書付。
1545-2	箱9	[和歌書付]	常州茨城郡水戸殿領分錫高野之産俳階歌道文道諸指南黒澤口(李カ)恭口止幾		明治19年9月日	状1	前欠。和歌5首書付。頭文字を繋げると「たてまつる」となる。No. 1544の続きとみられる。黒澤止幾子の歌の写しか。
1546	箱9	天保十一子状覚				状1	俳句書付。「冬の歌」ほか。
1547	箱9	[忠信・家禄下賜について]	常州茨城郡錫高野邑住 黒澤李恭		明治9年5月日	状1	前欠か。祖先の忠信、安政5年の上京と明治8年の終身禄下賜について。黒澤李恭(止幾子)71才当時の作成
1548	箱9	[家禄書付]	黒澤李恭			状1	明治八年二月三日、家禄終身高現米拾石を頂戴したことを記したものの。黒澤止幾の出自とともに書付
1549	箱9	[黒澤止幾子呼出し状]	副区長 大森藤十郎	右村(錫高野村)副戸長御中	(明治)10年5月17日	状1	野村権令の巡回に付き、黒澤止幾子の出頭要請。
1550	箱9	[漢詩書付]				状1	「三十九才遇重陽」「登紅葉山寺」の七言絶句2首。
1551	箱9	[書付断簡]			未5日	断簡1	上部欠損。「口(天カ)満天神」。
1552	箱9	[和歌書付](錫高野八景)	孫 黒澤のよし知		大正11年春	状1	「三枝祇神社森」等黒澤止幾子の和歌4首書付。4首は水戸領又河の義民小林永明夫人が撰者として選んだもの

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1553	箱9	[書付]				状1	「鶴山公御奉」「源武公口治紀、字徳民号鶴山」とのみあり。
1555	箱9	[和歌書付]				状1	前欠か。「初春」などテーマごとの和歌書付。
1556	箱9	[書付カ]				状1	断簡か。詩歌・随想の書付か。
1557	箱9	[書簡書付カ]				状1	書状の一部か。七夕の行事について、ほか。
1558	箱9	[俳句書付]			嘉永4年亥正月11日	状1	「柳堂之御会」、俳句14句書付。名前あり。「右御一巡」とあり。
1559	箱9	[俳句書付]				状1	俳句4句書付。前書あり。「梅林堂岐石」とあり。
1560	箱9	[由来又は祈禱書]				状1	寺院(名は一)の由来、及び災難を除く祈禱の内容。糊剥がれ。
1561	箱9	[歌書付カ]	(月磨カ)			状1	旅先で恋人を思う長歌・反歌か。
1562	箱9	(歌書付カ)				状1	長歌か。
1563	箱9	[和歌書付]				状1	和歌2首書付。
1564	箱9	[和歌書付]				状1	和歌9首書付。
1565	箱9	[仏典解説カ]				状1	「華嚴」「法華」等あり。仏教書の解説か。朱書あり。
1566	箱9	[詩歌書付]	誓山			まくり1	詩歌の書付か。下書とみられる。
1567	箱9	[書簡](暑中見舞いか)	若島藤ヶ内亮(花押)	篠原藤衛門様	6月19日	折紙1	暑中見舞いか。朱書き・尚々書きあり。
1568	箱9	[書簡]	松井(升カ)左衛門 正(花押)	若嶋藤内様	12月4日	折紙1	訴出のこと。裏書に「上」あり。
1569	箱9	[書簡](御用状)	(鈴木重五郎、□□□中兵衛)		5月2日、ほか	状1	糊はがれあり。No.1570と統合。
1571	箱9	[願書]			7月4日(5日カ)	状1	書状。端裏書部分欠落。
1572	箱9	[和歌書付]				状1	和歌1首書付。
1573	箱9	阿登幾傳	門人渡揖雄			状1	「時母七十三登幾五十〜〜安政己未□□」と有り。阿登幾傳下書きカ。
1574	箱9	[紀行文]				綴1	随筆のような内容が記載。長歌。「東平く國を出てあまる月日を送る〜」
1575	箱9	[俳句・和歌書付]				状1	俳句4句および和歌2首書付。「朝寝する様子にもなし鉢叩」等
1576	箱9	[漢詩書付]				状1	漢字一字横に同字の崩しが書かれている。
1577	箱9	[和歌書付]				綴1	糸で綴っている箇所有り。「めでたし」と「よろし」で歌のフックが分かっている
1578	箱9	耶免台詩	鈴隠土助信			状1	
1579	箱9	於北総兆子戯奇少女				状1	
1580	箱9	[達磨絵]				状1	
1581	箱9	[和歌書付・手習い]				状1	「秋の神風」ほか和歌書付、手習いか。裏書有り、和歌か。
1583	箱9	万宝絵抄大成				縦帳1	表紙・裏表紙欠。最前部と最後部の数丁が脱落。
1584	箱9	万間書人馬之妙法			(明治以降カ)	縦帳1	病の時における薬の調合や対処について書かれている。
1586	箱9	佐竹氏家系一冊	木好庵寄山			縦帳1	虫損激し。但し書き有り「但シ子孫へ見度為に書之老筆仰へに分り筆倭克心ヲ付者よむべし」
1587	箱9	[和歌書付]	蓮田藤蔵			短冊1	
1588	箱9	[調度品および料理書付]				継紙1	現在は継ぎが剥がれ、2つに分離している。前後欠。
1589	箱9	[差願之定式他]				状1	神社・物産・薬草・神託等について両面にわたって記載されている。
1590	箱9	賞状(学術優等品行方正所属学年修了之賞)	博物館幼年世界主幹 巖谷季雄	黒澤三四三	大正3年4月1日	状1	
1592	箱9	[増子村ニ在ス黒沢ときめ]				状1	
1593	箱9	[和歌書付他]			(安政期カ)	状1	端裏書有り「重時 勿軽時 勤儉 君か為立し操のます鏡…」 裏書有り「□□□安政六つのとし□□(珍重カ)黒澤とき子か國のため雲井の庭に捧け奉りしものなりかかるいさとのあれはにや今度従五位を贈られたるになん」
1594	箱9	[和歌書付]	(とき子)	藤太郎		状1	「神祇」「忠儀」の2首書付。「藤太郎君譲る」と有り。写しカ。
1595	箱9	黒澤峯三郎宛葉書(墓碑の工事に関して)	栃木縣塩谷郡熱田村 鈴木良一	次城縣東次城郡岩松村錫高野里 黒澤峯三郎	(大正)3年5月28日	葉書1	
1597	箱9	[和歌書付]	凌霜菴			断簡1	落款「凌霜庵」有り。和歌4首書付。前欠。
1598	箱9	[和歌書付]				罫紙1	題と歌が記載。「炭かま」などの和歌8首書付。破れ有り。
1599	箱9	[和歌および返し書付]	(友高大人)			状1	「返し」の下に「友高大人」と有り。返し「長月のなかしまをあくるまでちきるときこそそらやまれける」

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1600	箱9	[蛇図]	成章			まくり1	落款あり。
1601	箱9	[短冊書付]	ときめ			短冊1	「とし玉の水引ほとく扇かな ときめ」裏打ちあり。
1602	箱9	[和歌書付]				綴1	
1603	箱9	[和歌書付]				綴1	和歌・長歌の書付集。
1604	箱9	辛世暮秋鯉鱗一行	奇成、とり女			豎帳1	奇成とり女(とき子カ)の連歌集。
1605	箱9	[方位書付]				紙1	「本命方」「東西南北八方乾坤良巽」とあり。裏にも同様の方位書付あり。
1607	箱9	星の喩し発行の旨趣	星の喩し発行事務所		明治42年2月	紙1	『星の喩し』という本を発行する旨趣が書かれている。和歌の編集物。本となったものがバラバラになったものか。
1608	箱9	[書付]				状3(もとは1つ)	宇治のあたりで行われた源平合戦の故地について記載。
1609	箱9	[調度品書上げ]				状1	のりはがれ箇所あり。調度品を配置する場所などが書かれている。
1610-1	箱9	継紙[わり口(金カ)覚]				継紙1	No.1618と関連か。関係がないものを継いでいる。裏にも書かれている。
1610-2	箱9	[和歌書付]				断簡1	No.1618と関連か。
1611	箱9	[和歌]				状1	朱筆あり。和歌。
1612	箱9	[書付]				状1	
1613	箱9	[断簡]				断簡1	断簡。和歌書付か。
1614	箱9	[和歌書付]				断簡1	裏にも和歌書付あり。手習いか。
1615	箱9	[書付]				断簡1	前欠。長歌類の書付か。裏面に糊か染料の跡あり。
1616	箱9	[書簡]			3月4日	状1	以前世話になったことへの礼、道中の無事などを報告している。前後欠。裏面に糊等の跡あり。No.1615の前半部分か。要補修。
1617	箱9	[和歌書付]				断簡1	前後・下部欠。「山吹」「暮春」をテーマにした和歌の書付。裏面に糊等の跡あり。
1618	箱9	[和歌書付]				断簡1	和歌8首記載。No.1610と関連か。
1619	箱9	[書付]	常州四ヶ村(カ)(緑桂園月九草)		11月5日	断簡1	前欠。「長谷川町 小嶋屋重兵衛」の黒印あり。「口冢雪 市中時雨 鷹野」
1620	箱9	[和歌書付]				断簡1	後欠。
1621	箱9	[書簡]				断簡1	No.1624と関連か。上下逆の文書が継がれている。
1622	箱9	[漢詩]	白口(共カ)よし子			断簡1	
1623	箱9	[書付]				断簡1	
1624	箱9	[書簡]				断簡1	下書きか。No.1621と関連か。
1625	箱9	地藏尊奉額句分	余然草			断簡1	後欠。
1626	箱9	[春の歌]				断簡1	「七」「八(丸囲み)」が文字の上から書かれている。前後欠か。
1627	箱9	[和歌書付]	季春			断簡1	前後欠。
1628	箱9	[俳句・和歌書付]	緑桂園月丸カ			断簡1	朱筆で書入れあり。前後欠。裏書あり。
1629	箱9	[長歌書付]				断簡1	「待應」の題名あるが、3行目以降欠。前後欠。
1630	箱9	[書付]				断簡1	もとは綴られていた可能性あり。
1631	箱9	[書付]				断簡1	後欠。和歌書付か。
1632	箱9	主旨書	水戸黄門像建設本部幹事長陸軍歩兵中佐 田中伸稲		戊申1月(明治カ)	紙1	印刷物。徳川光圀の銅像を建てるための主旨書。絵図入り。主唱者として山縣有朋他10名、また「外三十六名」とあり。頒布物か。
1633	箱9	ひなふりのことのは	うてな			紙1	和歌1首書付。「敷鳴の道ふみわけていさど見ん やまどことほの花のしたかけ」
1634	箱9	[和歌書付]	藤原義直			短冊3	上部にそれぞれ「一」「二」「三」とあり。「黒澤とき女歌の口口頤る」とあり。藤原義直の墨名入りそれぞれ1首ずつ。
1635	箱9	[書書付]				紙1	「亀寿」とのみあり。
1636	箱9	[和歌ほか書付]	う口			紙1	春についての和歌ほか。
1637	箱9	[和歌書付]				断簡1	和歌1首書付「さやかな口月のこよひの口…」裏面に糊跡等あり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1638	箱9	[書付]				状1	歌(八重桜のことについて)
1639	箱9	[日露戦争に関する書付]				状3	朱印あり。「清の国」「韓の国」「旅順」の表記、また「其の年二月十日(中略)宣戦の大詔を煥登」とあることから、日露戦争(1904年?)
1640	箱9	[書簡](祭礼及び奥城の誌の石碑建立につき筆をとり書す事について)	自刀カ			継紙1	前欠、継ぎがはがれ2枚になっている。要補修。
1641	箱9	[漢詩文カ]	□□			状1	朱印3つあり。
1642	箱9	[和歌書付]				断簡1	袖中のミだふもゆかしうめの花 たかはかむへきかふしめら手ハヤ くへのみ手を待せて冬□□手に□の花を□りやしつ□□。
1643	箱9	[農業・百姓について書付]				断簡1	祝詞の一部か。
1644	箱9	[和歌書付]				状1	上部欠。和歌書付か。
1645	箱9	棹花墨江巻之四	常陽貞信齋			断簡1	後欠か。
1646	箱9	挿花墨江巻之四	常陽貞信齋一瓢			断簡1	「花有物業計葉有物花計□(梓カ)事」とあり。
1647	箱9	[書付]				断簡1	裏表に記載あり。「序」とあり、あいさつ文か。「川上氏」という名字が出てくる。
1648	箱9	□(欠損)切紙口伝書巻之上 牡丹乃事				状1	欠損あり。
1649	箱9	[書付]				状1	前欠か。花についての内容か。
1657	箱9	[四方の海]	千蓋庵、千宝庵		天保11年庚子6月	刊本1	前欠。「四方の海」「十三点之部」とあり、下部に人物画、上部にその人名と和歌の書付。刊本の一部。「亀澤文庫」の蔵書印あり。
1658	箱9	諸色矢拵秘伝書	湯川口衛門直口 ほか3名		文化15年戊寅4月吉日	縦帳1	矢の寸法などについて。「右此一巻者当家之為秘伝猥不可有他見者也」と秘伝であることが巻末に述べられている。欠損あり。
1674	箱9	入道三位殿五百五十回御口(忌カ)追慕和歌 ほか				縦帳1	追慕歌集ほか、西岐管崎八幡宮十二景詩などを一冊に集めたもの。虫損大。
1680	箱9	魁本大字諸儒箋解古文真寶巻之五後集	(下総国口郡新口(場カ)村東与兵衛八十吉写之)		天保8丁酉年3月25日	縦帳1	写し。虫損少。亀澤文庫蔵書印あり。
1681	箱9	草庵和歌集蒙求諺解巻第四	梅月堂僧宣阿集編 梅仙堂平景新訂正		弘化3年	刊本1	ページの始まりに朱印あり。裏に「弘化三□(年カ)□□ 藤原長□書」とあり。
1682	箱9	草庵和歌集蒙求諺解巻第十四	梅月堂僧宣阿集編 梅仙堂平景新訂正			刊本1	題箋破損。亀澤文庫蔵書印あり。綴じが外れかけている。
1687	箱9	御法楽和歌				縦帳1	享保8年3月18日に播磨国明石柿本社へ奉納した法王御所御法楽の題50首についての本。初ページに朱印。後ろに「大石(丸囲み)」の印あり。裏見返しに「口扇子」とあり。虫損あり。
1688	箱9	古今和歌集遠鏡 四				刊本1	虫損大。印あり。
1690	箱9	[長明カ]			正保5戊子歳夾鐘中旬	刊本1	1丁が失われている。「麻舎所蔵」「永池家蔵書」「亀澤文庫」の蔵書印3つが押されている。歌集か。
1692	箱9	[御門室相承次第に関して]	書林福森兵左衛門			刊本1	虫損。前後・和綴欠損。
1693	箱9	鑿工譜畧	栗原信充		天保15年4月	刊本(横半)1	金物職人の略譜。
1697	箱9	清人詠物詩鈔	牧野直右衛門編輯 芳潤堂蔵梓		嘉永辛亥3月	刊本(横半)1	「嘉永五年壬子正月發兌」になっている。
1700-1	箱9	[楚国の冥霊について]	綿織綾彦(カ)			紙[頁]1	No.1700-2と同じ書物か。
1700-2	箱9	狂歌カ競梅雪争奇集	緑樹園幹有			刊本1	No.1700-1と同じ書物か。
1701	箱10	月次山海集二会	白雀翁□□(匠カ)撰			刊本1	表紙なし。虫損甚。
1702	箱10	英雄百人一首 全	緑亭川柳著 錦耕堂版		嘉永元年戊申仲冬(再	刊本1	虫損大。
1703	箱10	[医療関係について書付]				横半1	前後欠。薬の用法についてなど。
1705	箱10	大正7年1月現在 現行神社法規綱要 追録	茨城県神職会発行		大正7年5月14日印刷 大正7年5月17日発行	刊本1	「御嶽教常盤教会庁 蔵本」の記述あり。
1706	箱10	書籍(「漢之句四季文字事」)	露吹房和及著 新井彌兵衛(初版) 田中庄兵衛(再版)		宝暦11年辛巳正月(初版は元禄10年丁丑孟春穀旦)	刊本1	いろは順に四季折々の言葉や事柄を記す。
1710	箱10	(辞書及び武鑑)	須原屋茂兵衛		寛政12年	刊本1	漢字辞典。老中等幕府の役職とその人物名一覧。
1712	箱10	千鳥のあと	中臣親満			刊本1	懐紙などの様式についての書か。東都金華堂より販売。虫損大。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1713	箱10	吉田聞書				縦帳1	覚、ほか書状、まちの聞書の集成か。虫損大。
1714	箱10	天子江奉献 長歌・反歌	黒澤李恭		安政6年未3月	葉書1	印刷物。葉書裏に長歌・反歌が印刷されている。
1715	箱10	記事論説 乾				刊本1	伝記、名所等についての記録などを集めたもの。「博濟堂蔵書印」あり。
1716	箱10	天保増補年曆重寶記	(江戸馬喰町二丁目森屋治兵衛発行カ)		(天保年間カ)	紙1	曆、泰平年間武将略年鑑などをまとめたもの。版本。
1717	箱10	[曆・日用大雑書ほか]			(近世末カ)	紙1(断簡6)	曆、歴代將軍などをかき集めたもの。版本。糊はがれ。
1718	箱10	古今詩歌雜記 全	神奈川県下横濱区長者町五丁目平尾其峰 ほか2名		(近代)	綴1	詩歌・印等の集成。関文教蔵書(角印)あり。
1719	箱10	[登加立思山他漢詩書付]				横半帳1	虫損大。漢文。要補修。
1720	箱10	三玉和歌集 秋				刊本1	裏表紙に題箋あり。最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。虫損甚。
1721	箱10	三玉和歌集 春				刊本1	裏に題箋あり。題箋に秋と有るが中身は春。最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。虫損甚。
1722	箱10	三玉和歌集 冬				刊本1	最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。虫損甚。
1723	箱10	三玉和歌集 夏				刊本1	裏に題箋あり。題箋には冬とあるが中身は夏。虫損甚。最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。
1724	箱10	三玉和歌集 恋部				刊本1	虫損甚。最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。
1725	箱10	三玉和歌集 雑上				刊本1	虫損甚。最初の頁に「金子(丸囲み)」の朱印あり。
1726	箱10	三玉和歌集 雑下	書林 上村藤右衛門・河南四郎右衛門・吉田四郎右衛門		元禄9年丙子年仲陽日	刊本1	最初のページに「金子(丸囲み)」の朱印あり。雑部の下。最後に「七冊」と表記あり。虫損。
1727	箱10	故黒沢止幾子刀自 御贈位祝祭々祀料献備芳名簿 第壹号~第四号	祝祭事務所(角印)		明治41年4月4日	綴1	第壹号~第四号までを1つの綴にして閉じている。
1730	箱10	夕刊 東京日日新聞 第17,697号	編集兼発行印刷人 増井照義 東京日日新聞発行所		大正14年12月30日	新聞1	表・皇孫殿下御命名 裏:ピストル強盗の一面
1731	箱10	東京日日新聞				新聞1	読書鳴弦の御儀に奉仕した諸役の人々についての記事の切り抜き
1732	箱10	伊香保八景歌				折紙1	伊香保を詠んだ歌
1735	箱10	[長歌及び返し歌]	たきめ			断簡1	前欠。
1736	箱10	黒澤止幾子之筆蹟(君が代)			昭和4年11月3日	紙5	「国家五十年記念 昭和四年十一月三日 贈従五位黒澤止幾子筆蹟」印刷による5枚。
1737	箱10	[黒澤琨子墓拓本]				まくり1	黒澤琨子の墓の拓本。上部と下部に分離。
1738	箱10	[領収書]				断簡1	「黒澤様」と記述あり。「三月五日代費金納之事」。
1739	箱10	[長歌書付]	高羽清紫			状1	端裏書あり。
1740	箱10	悪魔降伏素戔雄尊御払				状1	
1741	箱10	[抑々か朝ハ小国たりといへ共神徳の深き事四海のことく須弥山の如し]				状1	わが国(日本)が天小の神祇の神霊により、悪霊やもののけなどから守られている事を説く。
1742	箱10	[長歌書付]				状1	「君が代」という記述あり。
1743	箱10	[長歌及び返し]	助信			状1	

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1744	箱10	[父君の自誓に関する書付]				状1	
1745	箱10	[和歌七首書付]				状1	裏書あり「常磐神社」・「御嶽神社」
1746	箱10	熟生の歌				状1	「備理の道に五つあり」と備理に関する訓を書付けている。読み仮名をふってある漢字あり
1747	箱10	[和歌三首書付]				状1	朱筆あり。
1748	箱10	[和歌書付]				状1	朱書により添削されている。
1749	箱10	亀澤といふ事を蓬萊に延る長歌				状1	長歌書付。反歌なし。
1750	箱10	[詩歌書付]				断簡1	長歌の書付か。前半部・下部欠損。
1751	箱10	[詩歌書付カ]				状1	歌の書付か。後欠か。
1752	箱10	[詩歌書付]				紙1	詩歌の書付か(長歌か)。裏書あり「惟義口口哉」
1753	箱10	[和歌書付]				状1	和歌10首書付。頭文字を取り「なむやくしうーしん」となる。縦書きで記されている。由損大 要補修
1754	箱10	[詩歌書付]				状1	
1755	箱10	[詩歌書付]				状1	継が剥がれかけている。
1756	箱10	冬の長歌				状2	「冬の長歌黒澤とき」等と記された書付あり。
1757	箱10	[漢詩書付]				状1	「田家早梅」「冬日」「倫楽訪友人」等の詩が書かれている。
1758	箱10	[手習い手本]				状7	漢詩等の習字の手本か。
1759	箱10	[香川伯遺髪的事他書付]				断簡1	後欠。「加藤木晩叟」「鯉淵要人」の名あり。
1760	箱10	贈従五位大教正黒沢正幾子刀目 祝祭委員選定人名簿	祝祭事務所		明治41年3月9日	綴1	祝祭日は「五月八日」「旧四月八日」で「とき子の死亡したる日」に行われる予定。「祝祭委員門人之部」あり。江崎豊水・阿久津鐘大
1761	箱10	日光東照宮神璽				短冊1	画鋏跡あり。
1762	箱10	[和歌書付]				状1	「草庵客来ルといふことを」他2首。
1763	箱10	寄夢恋				横半帳1	和歌収集帳。
1764	箱10	送別				断簡1	後欠。歌書付か。
1765	箱10	[和歌書付]	(粟野村友風 俗名杉山半兵衛)			状1	一首のみ作成者名あり。「初春の 花とも見えて 白雪の 残して 今日ハ 年の暮行 粟野村友風 俗名杉山半兵衛」
1766	箱10	[お止幾宛書簡]	三村庄左衛門	お止幾様	3月8日	状1	端裏書あり。
1767	箱10	[和歌書付]				紙1	和歌1首書付。「九重に今もますのの鏡こそ 猶世を照すひかりなりけれ」
1768	箱10	[和歌書付及び反別改租ノ際大量誤診ノ分書上]				綴1	「遺属地取調書 第三号」「遺属編入願附属 一筆限丈量絵圖」の表紙あり。
1769	箱10	[和歌書付]				縦帳1	黒沢正幾子の歌をテーマごとに集めたものか。歌の頭文字を集めて「ときわしましやこはうせむあけたまつる」と読ませている。止
1770	箱10	[]口(欠損。氏カ)物語歌 [](欠損)詠歌				縦帳1	源氏物語にちなんだ歌、もしくは物語に登場する歌を集めたものか。表紙2・3頁上部欠損。
1773	箱10	[和歌書付]				折紙1	和歌2首書付。「敷島の通に入ことのうたけ道ハ」と前書き有り。
1774	箱10	[和歌・漢詩書付]				横帳1	『暈晚霞』と題する漢詩あり。
1775	箱10	卯吉書				縦帳1	漢文。
1776	箱10	[御賞與米御賜二付テ]		黒沢おとき	3月7日	状1	
1779	箱10	御嶽教々報 第廿四号	御嶽教大本廳		昭和2年1月20日	紙1	
1780	箱10	御嶽教々報 第廿五号	御嶽教大本廳		昭和2年2月20日	紙1	
1781	箱10	御嶽教々報 第廿七号	御嶽教大本廳		昭和2年4月15日	紙1	
1782	箱10	御嶽教々報 第十三号	御嶽教大本廳		大正14年8月10日	紙1	
1783	箱10	御嶽教々報 第十五号	御嶽教大本廳		大正14年10月10日	紙1	御嶽教の教報。「北村管長事務取扱北海道御巡教の記」、「大本庁移転」の記事ほか。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1784	箱10	御嶽教々報 第廿八号	御嶽教大本廳		昭和2年5月20日	紙1	御嶽教大本廳新築工事設計図あり。大祠殿造営工費概算書あり。
1785	箱11	守弘大人の歌	守弘			軸装1	「やたげぐも五月の風にそよかな十月のたにうゑし早苗の」。落款あり。
1786	箱11	[漢詩掛軸]				軸装1	「月桂交枝」・「永寿曲」・「鏡葉」の三首。中廻しが破損。軸頭の一方が欠損。
1787	箱11	[天照皇太神宮他神名掛軸]				軸装1	「八幡大菩薩 天照皇太神宮 春日大明神」。落款6つあり。
1788	箱11	徳川公陸爵祝賀贈呈品費決算報告	徳川公陸爵祝賀会実行委員		昭和6年12月	冊1、紙1、筒1	写真あり。
1789	箱11	芳野金清先生之書	芳野金清			軸装1	書、落款あり。虫損大。
1790	箱11	大津鈴山先生之書	大津鈴山			軸装1	漢詩カ。落款あり。
1791	箱11	(登幾をえてかゝる恵はつたへ間口にたにもえこうつゝまる)				軸装1	軸装の継ぎが剥がれ、掛軸の体裁を保っていない。落款あり。
1792	箱11	正志安ツ	正志安			軸装1	「古訓是式戒像是力」とあり。「正志安七十八」とあり。
1793	箱11	華陽先生之人物	華陽			軸装1	落款あり。虫損大。軸頭欠損。掛軸裏に「亀澤館蔵幅」と書付あり。
1794	箱11	三枝祇神社旧社之図				軸装1	
1795	箱11	管公之像	(文晁盥手拝写)		文久2年6月19日	軸装1	「霖雨淋雨早雅頌化風菅公盛徳永輝海東」とあり。「文久二年六月十九日 敬臨勝之」とあり。軸頭欠損。
1796	箱11	[正志老人安撰文]	七十三翁正志老人安撰又 錫山 里沢良知書		口昭和丁卯晩春	軸装1	「大地生物不測而蟲魚之…」。嘉永中寅仲冬 七十三翁正志老人安撰文」とあり。「口昭和丁卯晩春於龜澤山居書 錫山 里沢良知書」とあり。「口昭和丁卯晩春於龜澤山居書 錫山 里沢良知書」とあり。
1797	箱11	[天照皇太神他神名掛軸]	大乘沙門千命			軸装1	「八幡大神 他國より我國他の方より我人」天照皇太神 人は則天下の神物かり須堂諷諭をう「春日大明神 蒼生は善事無し 我善事装丁済みだが軸欠。裏書あり。落款3つあり。
1798	箱11	老楽萬年春	八十三翁 槍菊堂三恩道人野水書口			軸装1	
1799	箱11	空	今日庵(花押カ)			軸装1	花押のようなものが署名左下に書かれている。裏書あり。
1800	箱12-1	常陸二十八社	—	—	明治30年	幅1	木版。大井神社社掌松本豊太郎記[印]。水戸からの巡拝路。
1801	箱12-1	贈従四位 二宮尊徳翁御肖像	—	—	(近代)	幅1	報徳二宮神社蔵。従三位伯爵源高行謹書。
1802	箱12-1	織錦回文之詩	—	—	—	幅1	止幾子文人江幡讀之介十三歳之詩。
1803	箱12-1	御嶽大神御神号	—	—	明治	幅1	御嶽神社ほか。
1804	箱12-1	三十六峰外史	—	—	明治カ	幅1	頼山陽七言絶句木版。
1807	箱12-1	[書簡]	—	黒澤止幾子	11月2日、11月18日(明治)	卷子1	安田内佐藤文衛筆、佐藤文衛妻かめ子筆。夫婦の止幾子あての書状を合わせて軸装したもの。
1808	箱12-1	[春初法談他漢詩書留及び自力弓秘法]	—	—	—	横半帳1	亀澤文庫の蔵書印あり。
1809	箱12-1	[武鑑カ]	東都日本橋南町目須原屋茂兵衛版	—	文久2壬戌	冊1	版本。表題墨カスレ。武鑑カ。
1810	箱12-1	延寿妙薬集	忠恒	—	安永3年午ノ6月	横半帳1	写し。中に断簡2編あり。
1811	箱12-1	記事論説坤	—	—	—(近代カ)	冊1	四季・伝記など様々なことについての雑記集。
1812	箱12-1	[薬調合について書付]	—	—	—	断簡1	前後欠カ。白砂糖ほか、材料と手順書付。薬の調合について。
1813	箱12-1	御嶽大神諸法伝	関口芳三郎	—	明治15年旧3月3日	冊1	まじない、目薬など各薬の調合についての書付帳。
1814	箱12-1	□□大先事歌	—	—	—	紙1	菊に関する和歌7首書付。「先人時子の歌」とするものあり。
1815	箱12-1	教義日誌	御嶽教釐正監督兼巴講社長 権少講義 関口峰三郎	—	明治18年3月5日	横半帳1	「権少講義関口峰三郎」は「栃木縣下野國芳賀郡方志戸村百一十六番地居住」とあり。
1816	箱12-1	第二号 巡回日誌	兄口国助夫、□□源吾口、千本浅治	—	明治18年12月～翌年7月	冊1	裏に「御嶽教釐正監督 権少講義関口峰三郎」とあり。
1817	箱12-1	雑事覚	関口峯三郎	—	明治	冊1	
1818	箱12-1	—	—	—	—	帳1	道徳的な内容が書かれている。
1819	箱12-1	奇瑞大聖歎喜天感応記 全	—	—	—	冊1	挟み込みあり(領収書カ)。綴ほつれあり。
1820	箱12-1	三賢一致書	中院吉辰カ	—	慶安2年暮春	冊1	亀澤文庫の蔵書印あり。表紙欠損。虫損激。
1821	箱12-1	—	—	—	—	帳1	痢病の薬。下り腹の薬など、薬に関する内容。
1822	箱12-1	銭氏小兒直訣 卷四	門人(門がまえに稲のつくり)孝忠集 後学薛鏗校註)	—	—	冊1	虫損中程度。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1823	箱12-1	近代見聞 靈魂得脱物語 上	臨水軒西隱伝阿識	—	—(近代カ)	冊1	版本。表紙見返しに「入道株式会社」の位牌の広告切抜きが貼られており、墨書で「大正貳年一(六カ)月拾六日同氏」と書込みあり。「亀澤文庫」の蔵書印あり。「増補諸宗 仏像図彙三」表題紙1枚が挿入されている。
1824	箱12-1	祖師開山 仏具図	作成者:上野萬指月軒(義山) 発行:各宗仏教書籍出版発売所 各宗本山御用書肆 山口屋 森江佐七[印]	—	元禄3龍集庚午仲秋	冊1	各宗派の祖師像と仏具図。「稲田教会所長兼担任教師 弘法院正人〇常陸国西茨城郡西山内村稲田駅前」の印あり。裏表紙に「他言禁ス」ほか墨書で書込みあり。
1825	箱12-1	十三仏諸天善神	—	—	—	冊1	諸仏神の絵入り解説書。「稲田教会所長兼担任教師 弘法院正人」の印あり。「亀澤文庫」の蔵書印あり。裏表紙に「諸宗…」と墨書で書込みあり。
1826	箱12-1	釈迦弥陀諸仏	弘法院正人	—	—	冊1	釈迦・弥陀・観音・地藏などに関する図説。新聞の切抜き2枚貼付(内1枚剥離)あり。
1827	箱12-1	諸仏番神 権現諸童子	常陸西茨城郡大戸町友部教会所 弘法院正人	—	—	冊1	印刷物。
1828	箱12-1	密教安心章	新義真言宗智山派宗務所	—	明治45年2月28日	冊1	「昭和14年1月中旬謄寫」総本山智積院専修學院 岡部伏慶先生講義「智山東修學院第十五回生一同」
1829	箱12-1	和漢朗詠集 下	日本橋萬町 口屋清兵衛 校閲	—	—	冊1	刊本。「了鏡(花押)」あり。
1830	箱12-1	本朝三字經 全	關口實子	—	明治15年3月9日	冊1	中に罫紙2枚あり。止幾子の印あり。
1831	箱12-1	立華正道集 三	大正院洞流	—	—	冊1	立花に関する図説。裏表紙裏に「口口 文正之(カ)五」とあり。
1832	箱12-1	針灸和解附録	—	—	—	冊1	題箋が欠落。題箋下に「口四経 全」と書かれている。
1833	箱12-1	立華正道集 一	尋舊子	—	天和第4春芳節	冊1	裏表紙に「形口 洞流」とあり。裏表紙裏に「大正院」と墨書あり。内容の大部分が図版。
1834	箱12-1	立華正道集 目録	福田左膳	—	文化14年9月9日	冊1	中に折り込みの状あり。イロハ〜の順に目録が作られている。裏表紙裏に「法印 形口」とあり。
1835	箱12-1	立華正道集 二	洞流	—	—	冊1	立花にかんする図説。裏表紙に「形口」とあり。
1836	箱12-1	唐詩選画本 卷四 五言絶句	—	—	—	冊1	巻頭に「左掖梨花 丘爲」とする漢詩あり。「水戸下河合萩谷」とする屋号入りの丸印あり。表紙に「上河合」とあり。
1837	箱12-1	挿瓶花養	葛城山人編輯	—	明治36年卯4月吉日(写)	縦帳1	表紙に「大字芽口口 関口氏」とあり。季節ごとの花の解説書。
1838	箱12-1	活花者嫌之部	千家流 一葉菴露伯 藤原廣本(花押)	—	文化3丙寅年秋8月	折紙1	花の手入れ55ヶ条、ほか。虫損大。
1839	箱12-1	経世軍	顕彰社 発行兼編輯人 平井文哉	—	明治42年4月20日	紙2	宗教新聞。同一・同年月日のもの2部。御嶽教大本庁移転に関する記事あり。
1840	箱12-1	御嶽教々報 第21号	編集兼発行人:高島康次郎 発行所:御嶽教大本庁	—	大正15年4月23日	印刷物1	非売品。信徒向けの会報か。
1841	箱12-1	御嶽教々報 第22号	御嶽教大本廳	—	大正15年7月1日	印刷物1	中山管長就任奉告祭詞
1842	箱12-1	東京日日新聞	東京日日新聞	—	大正15年7月25日	印刷物1	御嶽教大本廳から黒沢峯三郎宛の封筒あり。
1843	箱12-1	東京日日新聞 第17923号	—	—	大正15年7月29日	印刷物1	表:御嶽教に関する記事、その他。裏:茨城版。
1844	箱12-1	禮状	御嶽教副管長 北村清蔵	御嶽教教師各位	大正15年6月1日	印刷物1	大教正中山忠徳氏管長當選についての御礼。
1845	箱12-1	挨拶状	御嶽教管長中山忠徳	御嶽教教師各位	大正15年6月1日	状1	館長選挙に当選したことに対する礼状。
1846	箱12-1	[御嶽教々報の一部カ]	—	—	大正15年1月元旦	印刷物2	御嶽教幹部の写真と階級・氏名・住所が掲載されている。
1847	箱12-1	御嶽教々報 第19号	御嶽教大本廳	—	大正15年2月10日	印刷物1	地方職員の動静や大鎮火祭執行の記事。
1848	箱12-1	御嶽教々報 第18号	編集兼発行人:高島康次郎 発行所:御嶽教大本庁	—	大正15年1月1日	印刷物1	信徒向け会報。新年に際しての記事。
1849	箱12-1	御嶽教々報 第17号	御嶽教大本廳	—	大正14年12月15日	一紙1	
1850	箱12-1	御嶽教々報 第26号	御嶽教大本廳	—	昭和2年3月15日	印刷物1	春季大祭の普告。
1851	箱12-1	御嶽教々報 第16号	編集兼発行人:高島康次郎 発行所:御嶽教大本庁	—	大正14年11月10日	印刷物1、書付1	信徒向け会報。黒沢峯三郎宛の書付(封筒の切れ端か)あり。
1852	箱12-1	御嶽教々報 第11号	御嶽教大本廳	—	大正14年6月1日	一紙1	
1853	箱12-1	御嶽教々報 第8号	御嶽教大本廳	—	大正14年3月1日	印刷物1	「言論 神都高天原」や「義納年金に関する注意」
1854	箱12-1	御嶽教々報 第9号	御嶽教大本廳	—	大正14年4月1日	一紙1	
1855	箱12-1	御嶽教々報 第14号	編集兼発行人:高島康次郎 発行所:御嶽教大本庁	—	大正14年9月1日	印刷物1	信徒向け会報。〈信仰〉に関する記事。
1856	箱12-1	御嶽教々師教信徒御中慰霊祭次第	御嶽教大本廳	—	大正14年9月	印刷物1	玉串料奉納者の記入欄付。
1857	箱12-1	実用祝詞集発刊の辞	御嶽教大本廳	—	大正14年2月	一紙1	
1858	箱12-1	御嶽教々報 第7号	御嶽教大本廳	—	大正14年2月1日	印刷物1	「言論 新年の希望」他。
1859	箱12-1	御嶽教々報 第5号	御嶽教大本廳	—	大正13年12月1日	紙1	御嶽教の会報、毎月1回1日発行。大本庁移転に関する記事あり。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1860	箱12-1	御嶽教々報 第4号	御嶽教大本廳	—	大正13年11月1日	紙1	御嶽教の会報、毎月1回1日発行。大本庁移転の記事あり。
1861	箱12-1	御嶽教々報 第2号	御嶽教大本廳	—	大正13年9月1日	紙1	御嶽教の会報。祭礼の実施の布告についてなど。
1862	箱12-1	御嶽教々報 第3号	御嶽教大本廳	—	大正13年10月1日	紙1	御嶽教の会報。大本庁移転に関する記事あり。
1863	箱12-1	御嶽教々報 第6号	御嶽教大本廳	—	大正14年1月1日	紙1	御嶽教の会報。「新年の辞」ほか。
1864	箱12-1	御嶽教々報 第20号	御嶽教大本廳	—	大正14年7月5日	一紙1	
1865	箱12-1	[御嶽教々報の一部カ]	—	—	大正14年1月元旦	印刷物2	御嶽教幹部の写真と階級・氏名・住所を掲載している。
1866	箱12-1	家庭教育料理の巻	野口孝國	—	—	一紙1	後欠か。
1867	箱12-1	家庭教育礼法の巻	野口孝國	—	—	印刷物1	家庭教育新聞附録。後欠か。
1868	箱12-1	家庭教育裁縫の巻	野口孝國	—	—	印刷物1	家庭教育新聞附録。
1912	箱12-1	諸人心得之事		—	慶応2年丙寅	軸装1	無署名。(伝止幾子筆力) 止幾子印あり。
1920	箱12-1	[扇面短冊]	松濤	—	—	まくり1	和歌。
1921	箱12-1	不老長生扇面絵図	借樂園裡七十八翁 水月 (落款:翁水)	—	—	状1	翁水月の落款あり。
1922	箱12-1	—(絵画)	借樂園七十八翁 水月	—	—	半紙1	「月か餅か口は やぶれし桶の輪か」朱印3
1923	箱12-1	[牡丹扁額]	春翠	—	—	まくり1	絹本着色。
1924	箱12-1	[懐紙和歌]	佐藤以農	—	(明治か)	まくり1	
1928	箱12-1	[人物画]	—	—	—	まくり1	沢庵(十得か)。
1929	箱12-1	[人物画]	—	—	—	まくり1	No.1928と対。寒山か。
1932	箱12-1	六勿銘	—	—	—	拓本1	「勿妄丙王 勿恐棍賊 勿歎農興 勿嫌糲會 勿變儉勤 勿嬌拂拭」
1933	箱12-1	供養塔裏面	—	—	—	拓本1	「君賞村字村田山下(江戸崎接続)二口石橋供養塔 裡面」との書付(貼紙)あり。
1934	箱12-1	[拓本]御嶽大神	—(筆:黒沢止幾)	—	明治20年カ	紙4	「御嶽大神」の拓本、同一のもの4枚。「少教正黒沢止幾拜書 とし 八十二 [印][印]」とあり。[印]は朱印。
1935	箱12-1	和歌(軸装)	—	—	—	幅1	詳細—。
1936	箱12-1	山間旅順一露宮将士日先ヲ拜ス図(3枚1組)、— (1枚欠2枚)	月耕	—	明治27年	紙5	明治錦絵、印刷。
1937	箱12-1	[第一軍奉天府進撃之図]	月耕	—	—	紙1	落款(朱印、署名)あり。No.1936の「1枚欠」にあたると思われる。
1938	箱12-1	[会席御料理之図]	豊國	—	—	図1	
1939	箱12-1	水戸新聞 第4号	仮本局水戸新聞社	—	明治14年9月28日	印刷物1	
1940	箱12-1	[黒沢止幾子の事蹟について]	—	—	—	状1	黒沢止幾子の出自から安政6年10月27日追放となるまでの略歴書付。
1941	箱12-1	押野邊十八種(ママ)松の哥	とき子	—	—	縦帳1	押野邊村十八枝松についての和歌18首。下部破損、要補修。
1942	箱12-1	傳某他見無事	綿引辰之助	—	明治18年5月6日	冊1	印あり。「硝子せと物をつぐでん アラビア粉を茶色にいりてこれを 玉子の白ミでときつぐべし」
1943	箱12-1	丹毒療治相伝	書林 脇坂庄兵衛	—	—	綴1	丹毒療治に関する和本。
1944	箱12-1	[書付]	録山邊□□(條カ)作□□書	—	—	まくり1	印あり。
1945	箱12-1	[書付]	—	—	—	断簡1	「執金吾」という文字あり。
1946	箱12-1	[書]	桜齋	—	—	まくり1	
1947	箱12-1	[拓本]	—	—	—	冊1	和綴じ糸破損あり。前後欠損。虫食甚。
1875	箱12-2	梅里先生碑文				軸装1	光圀公墓碑文。損傷あり。
1876	箱12-2	富士山頂之碑	岸岱		天保壬寅夏	まくり1	虎絵。No.1877と関連か。破れあり。
1877	箱12-2	富士山記	岸岱		天保13年夏6月	まくり1	碑文。摺物。No.1876と関連か。
1878	箱12-2	水戸景山公之詩	黒澤錫山老人		(明治期)	まくり1	

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1879	箱12-2	[御祝之謡]	(黒澤良知写)			まくり1	後欠。黒澤止幾子の長歌並びに反歌。No.1881,1882,1883のツレ(全4枚)
1880	箱12-2	藤森天山之詩	黒澤良知		(明治期)	まくり1	
1881	箱12-2	[御祝之謡]	(黒澤良知写)			まくり1	前後欠。黒澤止幾子の長歌並びに反歌。No.1879,1882,1883のツレ(全4枚)
1882	箱12-2	[御祝之謡]	(黒澤良知写)			まくり1	前後欠。黒澤止幾子の長歌並びに反歌。No.1879,1881,1883のツレ(全4枚)
1883	箱12-2	[御祝之謡]	よし知写			まくり1	前欠(最後尾)。黒澤止幾子の長歌並びに反歌。No.1879,1881,1882のツレ(全4枚)
1884	箱12-2	[碑文]	(菅原聰長)		嘉永元年4月	軸装1	摺物。木版か。坤のみ。黒澤氏蔵。裏に貼紙あり。継が剥がれ分離している。
1885	箱12-2	[七言律詩]	庄尾官白口山中教院禰宜整大教正平口口			まくり1	御嶽教大教正書か。
1886	箱12-2	沙門勝道上口口口之碑	西岳沙門遍照金剛題			まくり1	拓本。勝道上人の顕彰碑。
1887	箱12-2	西郷南州先生				軸装1	木版。
1888	箱12-2	贈従四位藤田小四郎君之画(漁夫之図)				軸装1	
1889	箱12-2	[忠臣蔵之図並び祭文]				軸装1	「大石父子之肖像」とあり。木板摺。
1890	箱12-2	布袋和尚画像並讃	笠間石汀			軸装1	「昭和八年一月新添 小野所蔵」とあり。
1891	箱12-2	[近者説遠者来]	景山公			軸装1	拓本。「源朝臣斎昭筆」の落款あり。軸裏に「景山公書」と書付あり。虫損甚。
1892	箱12-2	[七言絶句]	笠間修文師			軸装1	木版。「禪石書」の印あり。巻止書「笠間修文師筆並全師入笠望雪山之詩」。「大正十一年春三月求正与 小野葵水所蔵(角印)」とあり。また、「静岡市住唐畫之大家 中根雪窓畫伯筆」とあり。また、「小野葵水所有(東京出沢氏所贈者也)」とあり。
1893	箱12-2	[富士山と三保松原之図]	中根雪窓		大正12年4月下旬装成	軸装1	軸裏に「小野氏所蔵焉(印)」とあり。
1894	箱12-2	五言絶詩一章	指月石田榮城氏筆跡			軸装1	軸裏に「小野氏所蔵焉(印)」とあり。
1895	箱12-2	梅に鶯の図	水戸林長拝			軸装1	軸頭が脱落。軸裏に「水戸林長拝の筆」とあり。また「黒澤」の朱印あり。
1896	箱12-2	叭々鳥之図				軸装1	印あり。損傷あり。
1897	箱12-2	[梅花之図]	懶田井老人			まくり1	
1898	箱12-2	[七言絶句]	宗温			まくり1	
1900	箱12-3	法王佛名号	松永徹道師		大正丙辰立春之日	軸装1	「前往大徳住常照第十世徹道謹書(角印)」。旧香積孝蔵。
1901	箱12-3	墓碑(拓本)				軸装1	
1902	箱12-3	だるま図	芳春	—	—	軸装1	仮巻。
1903	箱12-3	春秋庵幹雄畫賛(亀之図)	春秋庵幹雄		明治丙申11月	軸装1	軸裏に「昭和九年十月中旬」「根本豊彦氏所蔵者也」とあり。
1904	箱12-3	[北江仙家書]	北江仙家			軸装1	五言絶句。
1905	箱12-3	[七言絶句]	大沼枕山			軸装1	軸脱。
1906	箱12-3	古人格言一章	笠間修文居士筆		大正14年6月上浣求	軸装1	軸裏に「小野葵水所蔵焉」とあり。
1907	箱12-3	楠公之碑				軸装1	拓本。
1908	箱12-3	亀谷省軒先生之書(五言絶句)	亀谷省軒先生			軸装1	虫損甚。
1909	箱12-3	徳川齊昭公之長歌並短歌			(幕末)	軸装1	摺物。種本所蔵。
1910	箱12-3	[七言絶句]	(伊藤氏)	—	(明治カ)	軸装1	筆者—。開城之詩。
1911	箱12-3	菅家遺誠後(乾)	天満宮三十一世 権中納言菅原聰長卿御筆	—	—	軸装1	対の内の一つ。拓本。黒沢氏蔵。
1913	箱12-3	[書簡]	加藤木瞬想	黒沢峯三郎	明治22年5月8日	巻物1	

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1914	箱12-3	柳に蝙蝠の図	伝水戸林長羽	—	(江戸記)	軸装1	無署名。
1915	箱12-3	黄山人字瀑	華先	—	1984年春月	軸装1	
1916	箱12-3	[禅語]	南禅寺派二等教師 中尾宗温禅師	—	大正12年5月入掌	軸装1	対幅左。
1917	箱12-3	笠間修文居士筆(教育勅語)	笠間修文居士	—	大正14年8月1日	軸装1	小野葵水蔵。
1918	箱12-3	櫻下の美人	栄之	—	(江戸記)	軸装1	肉筆浮世絵。
1953	箱12-4	観音菩薩	芳春画伯	—	昭和4年春分彼岸	軸装1	小野氏所蔵。
1954	箱12-4	[七言絶句一章]	石田栄城	—	大正14年旧4月8日	軸装1	小野家所蔵。
1955	箱12-4	達磨大師立像	笠間修文居士	—	大正14年6月吉旦	軸装1	葵水小野所蔵。
1956	箱12-4	竹二雀	東京田村石堤画伯	—	大正14年6月穀日(1日)	軸装1	小野家所蔵。
1957	箱12-4	出山相 釈尊文字仏	笠間修文	—	—	軸装1	
1958	箱12-4	[老人の図。嵩山の讃]	南岱	—	(明治カ)	軸装1	
1959	箱12-4	無縁供養塔(拓本)	栗橋文園	—	—	軸装1	塔拓本。
1960	箱12-4	李恭の像(題字のみ)	小久保城南	—	(明治末カ)	軸装1	題字と中身相違。小久保城南筆七言絶句。
1961	箱12-4	[斉昭長歌]	—	—	(明治カ)	軸装1	拓本。木版。
1962	箱12-4	鉄研横堀三子五絶	—	—	—	軸装1	傷みあり。
1963	箱12-4	華巖瀧之図	田崎草雲	—	(江戸末カ)	軸装1	横堀三子宅にて下書。無署名。傷みあり。
1964	箱12-4	拓本(那須国造碑)	—	—	(明治以降カ)	軸装1	傷みあり。要表装。
1965	箱12-4	聖徳太子御像 表	光圀カ	—	—	軸装1	虫損大。光圀自筆か。「奈良弘泉院汁宝聖徳太子自作御像源光圀写之山寺供養(銅印)」と署名あり。
1966	箱12-4	[書]	三井親和(深川親和)	—	(江戸)	軸装1	置字。
1967	箱12-4	[林子平和歌拓本、蒲生君平手紙木版、高山彦九郎手紙木版]	—	—	(明治)	軸装1	寛政三奇人である、林子平和歌拓本・蒲生君平手紙木版・高山彦九郎手紙木版を集めたもの。
1968	箱12-4	[廓子儀カ]	紫岩	—	(明治・大正カ)	軸装1	廓子儀像。まくり同然(仮まくり)。
1969	箱12-4	三義図	紫岩	—	戊午清和月(4月)上澣(上旬)	まくり1	
1970	箱12-4	帝王略史山陵一覽図	—	—	(大正カ)	軸装1	木版印刷。
1971	箱12-4	聖徳太子御像 裏	光圀カ	—	—	軸装1	No.1965の像の後姿(対)。虫損大。光圀自筆か。
1972	箱12-4	[天照皇大神]	—	—	(大正カ)	軸装1	
1978	箱13	忠臣外様の洩書 十三段目	—	—	—	冊1	
1979	箱13	六芸名義解 全	—	—	—	冊1	裏表紙に「茨城県管轄常陸国第九大区三之小区南酒出口」の記述あり。
1980	箱13	仏像図彙 目録	—	—	—	冊1	図集の目録。「亀澤文庫」の蔵書印あり。
1981	箱13	養草二篇 下	—	—	—	冊1	「愛宕参詣の心得の事」ほか記事。後欠。破損大。
1982	箱13	狂歌二題	催主:裾壳丸 桃李大人	—	巳10月18日歌同26日抜	縦帳1	歌集。木子にて一首ずつ点致が付けられている。虫損大、開扉困難
1984	箱13	[続江戸往来]	発売:地元口屋 江戸馬喰町二丁目 森屋治兵衛	—	—	冊1	江戸の往来物か。裏表紙見返しに「東茨城郡錫高野村 鯉淵氏」と墨書あり。
1986	箱13	當流小謡本	鯉淵惣助 春日源右衛門	—	天明3年卯8月吉日	横帳1	亀澤文庫の蔵書印あり。
1988	箱13	豪傑勲功録 卷之第八	撰津 暁鐘成編併画図	—	—	冊1	亀澤文庫の蔵書印あり。裏表紙に「田口口平」とあり。
1989	箱13	芭襍會稽掲布染	—	—	—	冊1	表紙裏に紙背文書あり。印あり。四巻目か。
1990	箱13	永寿庭訓往来絵抄解	東都書林 鈴木榮次郎	—	天保14癸卯春2月発行	冊1	印刷。
1992	箱13	庭訓往来	江戸須原屋口口行	—	天保10年巳亥正月(再版)	冊1	亀澤文庫の蔵書印あり。享和2年壬戌8月初版。
1993	箱13	書付(神応寺について)	—	—	—	帳1	裏は文化7年「炭買入控帳」になっている。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
1994	箱13	水戸御家中御鋪覚附	木村捨吉	—	天保15年12月吉日	冊1	折り込み文書あり。表紙に紙背文書あり。
1995	箱13	恵潤	七十五翁錫山書	—	—	まくり1	「黒澤良知」、「秋山口谷」の落款あり。
1996	箱13	花火御願	大谷津要蔵、関口峰三郎	栃木縣令藤内爲親殿	明治15年10月31日(11月4日)	冊1	「書面之願聞届候事」として、栃木県令代理の朱書きあり。
1997	箱13	忠口脳口	文静翁	—	昭和10年卯冬至	まくり1	
1998	箱13	□□百人一首	—	—	—	冊1	裏書「大日本帝国常陸国水戸市下市青物町鈴木口□(則カ)」亀澤文庫の蔵書印あり。3枚程間に挟まっている。虫損激。
1999	箱13	錫高野旧学校修繕寄附簿	—	—	明治30年11月30日	冊1	
2000	箱13	四時贈答 女用文章 全	板元:紅英堂[印] 東都浅井先生書	—	安政6己未年初秋発行	冊1	「電澤又庫」の蔵書印あり。目次頁彩色。女性用の教養書、又草解説書か
2001	箱13	廣瀬武夫正気歌	七十一翁錫山書(黒澤良知カ)	—	昭和5年紀元節之日	まくり1	「黒澤良知」の印あり。忠魂を讃える歌か。
2002	箱13	書(弥栄)	錫山老人書	—	—	まくり1	「彌栄」とのみ。「黒澤」の朱印あり。
2004	箱13	—(書)	錫山翁書(黒澤良知)	—	—	まくり1	「謹言行正威俄」か。
2005	箱13	樂 無在某中	黒澤錫山	—	—	まくり1	「黒澤錫山書 時年七十又五(落款)」とあり。
2006	箱13	—	—	—	—	冊1	中国皇帝が描かれている。全ページが絵である。虫損甚。
2007	箱13	如浮雲	錫山翁書	—	—	まくり1	「黒澤良知」「秋山口谷」の落款あり。
2008	箱13	—	鯉岡力之介義口(保カ)	—	—	冊1	「夫婦むつまじく」「職分を出精」など道徳的な内容が書かれている。前欠。
2009	箱13	[松に鷹の図]	森田好文小史	—	(明治)	軸装1	
2010	箱13	浦増秋	静堂	—	大正13年8月	軸装1	葵水蔵。傷みあり。
2011	箱13	[山水図]	竹内百太郎	—	(幕末)	軸装1	
2013	箱13	我国体之尊嚴図	金光教管長大教主金光大陣	—	大正3年1月30日初版 大正6年5月10日訂正	軸装1	付札あり。筒あり。
2018	箱13	彌栄	錫山老人拜書(黒澤良知)	—	大正乙丑新嘗日	まくり1	「良知出口」「黒澤」の落款あり。
2019	箱13	正気歌	七十一翁錫山	—	庚午元旦	まくり1	廣瀬中口の正気歌の書付。
2020	箱13	[亀澤文庫上棟記念の謹書]神号書付	黒澤良知	—	昭和9年2月1日	まくり1	落款(朱印)あり。
2021	箱13	(一)(亀澤文庫上棟記念の謹書)神号書付	黒澤良知	—	昭和9年2月1日	まくり1	落款(朱印)あり。No.2020と同内容。
2022	箱13	亀澤文庫上棟記念	少教正黒澤良知謹書 時年七十有五	—	昭和9年2月1日	まくり1	神号書付。
2023	箱13	書(神号書付)	少教正黒澤良知謹書	—	昭和9年2月1日	まくり1	「亀澤文庫上棟記念」とあり。黒澤良知75歳の書。「手置帆負命 天之思兼命 比古狭智命 大山祇命 句々廻馳命」とあり。
2024	箱13	[亀澤文庫上棟記念の謹書]	黒澤良知	—	昭和9年2月1日	まくり1	神号書付。
2025	箱13	書(神名)	少教正黒澤良知謹書	—	昭和9年2月1日	まくり1	「電澤又庫上棟記念」とあり。印なし。「思兼命」ほか神名。黒澤良知75歳の書 No.2023,2024と同一内容
2026	箱13	光圀卿處世八ヶ条 家康公御遺訓 斎昭卿處世訓	錫山翁拜書	—	—(近代)	まくり1	光圀・家康・斉昭の遺訓をそれぞれ書いたもの。黒澤峰三郎筆か。
2028	箱13	拓本(弘道館記碑)	—	—	—	まくり1	弘道館記碑(天保9年、斉昭作)の拓本。
2029	箱13	金光明最勝王經廣行流布守護	(願主)直治寂紫子	—	正徳3年癸巳年正月十一日 丑慶記様日	折本1	経典。板の台付、織物の表紙付。破損。
2030	箱13	書(源英陸書)	清和後胤武田裔源英陸書	—	—	まくり1	「徳呂衛口禮以仁清」
2031	箱13	—(手習帳カ)	—	—	—	綴1	仏画・花の画などの作画・練習帳か。
2032	箱13	[手習帳カ]	—	—	—	綴1	絵巻の図等の白図。練習帳・図像集か。
2033	箱13	書(良知筆)	良知(筆)	—	—(昭和14年カ)	まくり1	「徳潤身富潤口」。「良知七十九叟書」とあり。「黒澤良知」の朱印あり。
2034	箱13	書(文静道人筆カ)	文静道人	—	—	まくり1	「圓忠信」。手習いか。
2035	箱13	[とき子の書書付]	良知	—	—(昭和14年カ)	まくり1	黒澤正幾子の和歌を良知が写したもの。「とき子詠る」「拜良知 七十九叟書[印]」とあり。
2036	箱13	書(錫山老人書)	錫山老人書(黒澤良知)	—	大正4年酉歳正月	まくり1	「為小林君錫山老人書」とあり。「黒澤良知」の朱印あり。
2037	箱13	書書付(黒澤龜寿筆)	黒澤龜寿	—	—(近代)	まくり1	漢詩の手習いか。「高等三学年 黒澤龜寿」とあり。
2038	箱13	書(錫山書)	喜翁錫山書	—	—(昭和11年カ)	まくり1	「如浮雲」。良知77歳の時の書か。
2039	箱13	書(黒澤錫山)	七十七翁黒澤錫山	—	—(昭和11年カ)	まくり1	「忠孝」

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
2040	箱13	書(錫山書)	七十七翁錫山書	—	—(昭和11年カ)	まくり1	「正氣時枝口」。良知77歳の書か。
2041	箱13	書(東湖先生の歌書付)	黒澤よし知	—	—(昭和11年カ)	まくり1	東湖先生の歌を黒澤良知が写したもののか。「喜翁」とある。
2042	箱13	書(錫山翁)	錫山翁	—	—	まくり2	「協同禮儀進取」。同一のもの2枚。
2043	箱13	書(黒澤錫山筆)	黒澤錫山	—	昭和11年秋季皇霊祭日	まくり1	「忠孝無二」。「黒澤良知」の朱印あり。良知77歳の書か。
2044	箱13	書(錫山筆)	七十六翁錫山書	—	—(昭和10年カ)	まくり1	「安分自足」。良知の朱印あり。良知76歳の書か。
2045	箱13	書	—	—	—	まくり1	「口(田カ)家の雪」。「黒澤良知」の朱印あり。良知筆か。
2046	箱13	書(錫山悲夫筆)	錫山悲夫	—	—(昭和10年カ)	まくり1	「至誠努力」。「黒澤良知」の印あり。「七十六翁」とあり。良知76歳の書か。
2047	箱13	[和歌書付]	よし知	—	—(昭和11年カ)	まくり1	黒澤とき子の和歌を77歳の良知が写したものの。「よみ人 黒澤のとき子」とあり。良知の朱印あり。
2048	箱13	[和歌書付]	よし知	—	—(昭和11年カ)	まくり1	黒澤とき子の詠んだ和歌を黒澤良知が書いたもの。「喜寿翁」とあり。良知の朱印あり。
2049	箱13	[和歌書付]	よし知	—	—(昭和11年カ)	まくり1	黒澤とき子の和歌の書付。良知が写したものの。良知77歳の時か。「喜翁」とあり。
2050	箱13	[黒澤止幾子長歌書付]	黒澤良知	—	—(昭和5年7月11日~12年カ)	まくり4	安政6年に止幾子が献上した長歌・反歌を良知が書き写したものの。同一内容4枚。それぞれ良知が71・73・77・78歳のときに書き写した黒澤止幾子の和歌を峰三郎(良知)が書いたもの。良知80歳のときに書き写したとみられる。
2051	箱13	[和歌書付]	峰三郎謹書	—	—(昭和14年カ)	まくり1	
2052	箱13	[和歌書付]	黒澤よし知	—	丁丑元旦(昭和12年カ)	まくり1	「七十八叟」とあり。良知78歳の歌か。良知の朱印あり。
2053	箱13	[和歌書付]	よし知	—	—(昭和12年カ)	まくり1	黒澤止幾子の和歌を78歳のよし知が書き写したものの。良知の朱印あり。
2054	箱13	書(錫山筆)	錫山二口	—	丁丑元旦(昭和12年カ)	まくり1	書書付。良知78歳の書か。良知の朱印あり。
2055	箱13	老述懐	よし知	—	—(昭和12年カ)	まくり1	黒澤止幾子の和歌を78歳の良知が書いたもの。良知の朱印あり。
2056	箱13	乍恐奉獻天子長歌	—	—	—	状2	安政6年献上の黒澤止幾子の長歌を写したものとみられる。2枚目に破れあり。
2057	箱13	[書書付]	—	—	—	紙1	「恵潤身」
2058	箱13	[書]	録熊谷口生坊賛 口口居士書(落款)	—	—	まくり1	漢詩の書付か。落款あり。
2059	箱14	安政二稔十月二日夜亥剋大地震焼失市中騒動図				絵図1	大地震の絵図(印刷)。雑誌等の附録か。
2060	箱14	[絵図]				断簡1	竹林の絵か。まくりの一部。
2061	箱14	(送別の詞前書)				状1	高須鴻三先生の辞職にあたり、その送別会で詠んだ峰三郎の詞の前書。詞自体の記載はなし。
2062	箱14	[田島書上]			(文化年間カ)	状6	検地帳類の一部か。田島の等級、面積、所有者名書付。検地実施日と思われる年月日を書付けた貼紙あり。
2063	箱14	乍恐以書付奉願上候御救稗並雑口御免之事				状1	後欠。当村の説明(巡見の際に役人が通る村であることなど)。困窮しており仁慮を求める内容。
2064	箱14	[歌書付]	口口(破損)吉質		文化14年丑9月21日	状3	歌の書付か。「枚に1つずつ。3枚の内1枚にのみ「右口條本雅元帝之書」とあり。
2065	箱14	在郷軍人名簿			(明治42年カ)	状1	在郷軍人名簿の一葉。次城崇久慈郡佐都利入子口(里カ)野呂下番屋敷。「藤野重介」について
2066	箱14	[書]				まくり1	布地に書の書付。落款あり。汚れ多数。
2067	箱14	[書]				まくり1	書、漢詩文か。落款・装丁の跡あり。破損あり。
2068	箱14	[書]	八十翁雪口(山カ)			まくり1	「山間明自」とあり。落款・装丁の跡あり。
2070	箱14	[拓本]			(嘉永5年カ)	まくり1	墓石・もしくは碑文の拓本の一部か。「君諱寿美稲田氏世常陸久慈郡幡村人」とあり。
2071	箱14	秋場岡田先生門人姓名控				横帳1	地名ごとの氏名書上。
2072	箱14	[御即位御大典記念 勅語印刷]	口口(満カ)謹書			状1	(教育)勅語と戊申詔書の印刷物。落款あり。「勅語拜読会草」の朱印あり。
2073	箱14	祝三村氏口(旧カ)口(館カ)、望澤山堂				状1	漢詩二首書付。七言絶句。
2074	箱14	京都東山黒谷山内 熊谷蓮生法師略縁起	熊谷堂印施			状1	印刷物。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
2075	箱14	[拓本]				断簡1	墓石・もしくは碑文の拓本の一部とみられる。
2076	箱14	[書]	太清居士			まくり1	落款・装丁の跡あり。裏貼りに金銭書工とみられる又書あり。破損大
2077	箱14	[絵画]				まくり1	牡丹の絵。落款あり。
2079	箱14	[書書付]	松口人位書		丁未	まくり1	前欠。裏に装丁の跡あり。
2080	箱14	[書書付]	金洞口恭		戊丙	まくり2	漢詩文の書付か。白紙1枚あり。
2081	箱14	[書書付]	萬湖居士		庚寅孟愁	まくり1	「為改清明」とあり。但書に「為大内君」とあり。
2082	箱14	[書書付]	萬湖書		庚寅孟愁	まくり1	漢詩文か。「為大内雅君」とあり。
2083	箱14	[書画]	醉古形鶴		甲申夏日	まくり1	梅花図と「罹口清香」の書の書付。
2084	箱14	[竹林図]	醉古道人			まくり1	竹林図。署名の前に「清影揺風」とあり。断欠か。
2085	箱14	[書画]	醉古道人			まくり1	芭蕉図と書の書付。
2086	箱14	[書書付]	大海堂 世外道人			まくり1	漢文書付。破れあり。
2087	箱14	[書書付]				まくり1	漢文書付。傷みあり。
2088	箱14	[書画]	□□(溪カ)筆			まくり1	「秋日口舟」とあり。木と入江の舟の図。
2089	箱14	義経口(含カ)状			明和8年9月15日	状1	端裏に日付に続けて「口綱(綱カ)天神口(国カ)口(虫損)村粉川氏」とあり。
2090	箱14	[書画]	□□			紙1	深山の図。断簡か。
2091	箱14	[植物図]	竹口生			紙1	装丁の跡あり。断簡か。
2092	箱14	[神仙図]				紙1	神仙の図か。「神口真宝」の朱印あり。傷み大。
2093	箱14	[書書付]	七十九翁鷲峰道人口			まくり1	漢詩文の書付か。装丁の跡あり。傷み大。
2094	箱14	[拓本]				まくり1	菅原道真の「こちふかばにおいおこせよ梅のはな主なくとも春なわすれそ」の拓本。もとの碑などは一。
2095	箱14	[拓本]				まくり5	①事蹟について。文久3年癸亥11月、孝子大内正芳拝識とあり。 ②「玉江大内先生墓」とあり。 ③「先妣稲田氏之墓」とあり。 ④墓の碑文か。「小宮山楓軒」と文中にある。 ⑤墓の碑文か。「友人森蔚撰文、口正芳著」とあり。玉江大内先生、先妣稲田氏それぞれの墓の拓本とみられる。
2096	箱14	常陸國延喜式内二十八社	少教正藤原良知謹書		昭和3年戊辰夏六日	まくり1	常陸の延喜式内の28社の名前書上。社名の横に朱字で所在地の書込みあり。「黒澤」の朱印あり。
2097	箱14	[神社名書上]				まくり1	「正弼位 水川大明神 護国文武宮八十八老人道本 正一位 生前稲荷大明神」とあり。
2098	箱14	仏説不動經				状1	不動經の經文と不動明王の図。刷物。不動明王の座る岩に「成田山」とあり。成田山で作成されたものか。
2099	箱14	徳川家係図	権中講義蘆場齋宮源朝臣義宥謹書			まくり1	家康から慶喜までの徳川家の系図と家康の出目・経歴について。破損大。
2100	箱14	[書書付]	□人張憲植口(書カ)			まくり1	漢文書付。
2101	箱14	六勿銘(拓本)				まくり1	「六勿銘」(教訓の詩か)の拓本。装丁の跡あり。破損大。
2102	箱14	[神社名書上]				まくり1	「常立尊」「常陸式内二十八社」として、神号や神社名数点書付。
2103	箱14	①(國家無窮之思)(拓本) ②(東湖の畫)(拓本)	②東湖口(瀧カ)題			まくり2	①漢詩文の拓本。 ②藤田東湖の畫 絵(署名(口(寥カ)口)・落款あり) 口上の拓本
2104	箱14	□□未口(事カ)五覚(負カ)	律知、如水、如柳、知流、王雪、之好、汀亀、一馬、先頼、一川			卷子1	継紙剥離。歌の採点をしたもの、巻末に点数あり。朱筆で添削されている。
2105	箱14	目置流弓頭書口(虫損)并証之事				状1	継紙剥離、破損あり。弓など武芸についての指南書か。
2106	箱14	伊勢大廟並官國幣社祭神及鎮座表	(版權所有)櫻木松壽 (編纂者)足利総社 八雲神社神職櫻木不忠實謹識		明治36年	まくり1	伊勢神宮と、官幣社の祭神及び所在一覽。印刷。
2107	箱14	[拓本]	立原佐口(藪カ)書		戊戌6月3日命今(令カ)	まくり1	「卓田宣謹奉上后」とあり。
2108	箱14	(神道御嶽教常磐講社世話係申付候事)	御嶽教庁	金長馬之丞	明治21年9月18日	状1	印あり。
2109	箱14	豊臣御武鑑	一夢庵小蝶筆			綴1	印刷。
2112	箱14	[和歌書付]	とき子			短冊3	①「石が為立し探の「口鏡とやかに「フツロが真心」とさす詠」 ②「治れる御世をうつしの鏡とやちとせくらぬ池の玉の水 ときこ」 ③「西宮時鳥 聞かんに言も深し ともしきゆるき都の山玉ととき子」
2113	箱14	[書画]				まくり1	端裏に「二十銭口買物」とあり。神仙図か。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
2114	箱14	[書]	常陽水城龍錫山樵夫年七十又七			まくり1	「楽亦有其口」とあり。
2115	箱14	[書書付]	錫山之房書 喜寿翁文静		丙子	まくり1	「敬□□□」とあり。
2118	箱14	[下絵]				紙9	武者・聖人像の下絵か。2品以上の下絵を分割したもの。
2119	箱15	[黒澤良知書]	黒澤良知		大正9年5月14日	まくり1	「黒澤良知」「□□錫山」の落款あり。
2120	箱15	(彌榮)	錫山老人		大正乙丑新嘗祭日	まくり1	黒澤良知の印あり。
2121	箱15	[皇孫照宮成子内親王殿下御命名奉祝紀念]	少教正黒澤良知			まくり1	良知の落款あり。
2122	箱15	爆弾三勇士之歌	與謝野寛先生			まくり1	奥書に「三勇士の靈魂を慰め奉りて」と題し、黒澤よし知の和歌2首書付。
2123	箱15	[水鳥と薄カ]				まくり1	落款あり、「藍山翁」カ。劣化激し。
2124	箱15	[書画]	雪山女史			まくり1	「貴人生 此事各与 功ふ角」とあり。劣化激し。
2125	箱15	[翁と鶴]				まくり1	「□琳」の落款あり。劣化激し。
2126	箱15	[書画]	(漸波正人を写)			まくり1	劣化激し。
2127	箱15	[書画]				まくり1	「□琳」の落款あり。劣化激し。
2128	箱15	[風月情懷江湖性氣色斯其拳翔而後至]	簡齋			まくり1	落款あり。劣化激し。
2129	箱15	[皇太子殿下御尊影他]	大阪朝日新聞他		昭和9年	まくり21	内親王・皇太子の写真、祇園祭絵図の写真を図版とした印刷物。
2130	箱15	[公卿図カ]	静知齋			まくり1	劣化激し。
2131	箱15	[見義不為無勇也]	榎屋種一志学			まくり1	劣化激し。上部破損大。
2132	箱15	皇國貴顕肖像	画工印刷兼発行人 芝区宇田川町廿四番地 平沢源八		明治22年4月16日	印刷物1	明治天皇と皇后の図。
2133	箱15	奥州松島監覧全図	東都益志鑄			状1	継が剥がれ分離している。また、絵図右端が欠落。
2134	箱15	[小野相公書写]	(小野相公)			まくり1	
2135	箱15	[書画]				まくり1	落款あり。
2136	箱15	[書画]	西夙口外吏		甲寅新月	まくり1	劣化激し。落款あり。
2137	箱15	盈	三困			まくり1	劣化激し。継が剥がれかかっている。
2138	箱15	[草木図]				まくり1	落款あり。
2139	箱15	[梅の図]				状1	破損大。
2140	箱15	[竹に雀]				まくり1	継が剥がれ、2枚に分離。
2141	箱15	[和歌書付]				状1	和歌3首書付。
2142	箱15	[書画]	月六園			まくり1	落款2つあり。虫損、劣化大。
2143	箱15	[鳳瑞]	星城居士			まくり1	落款あり。劣化激し。
2144	箱15	[竹の図]				まくり1	劣化激し。一部欠損。落款あり。
2145	箱15	[除夜書写]	(除夜)			まくり1	「□帆」による写しか。劣化激し。
2146	箱15	[書画]				まくり1	継が剥がれ、2枚に分離。
2147	箱15	[書画]				まくり1	劣化激し。
2148	箱15	[書]	桂園格カ			まくり1	落款あり。劣化激し。
2149	箱15	[書]				まくり1	落款あり。劣化激し。
2150	箱15	[竹の図]				まくり1	裏紙として金銭書上を使用。破損・劣化激し。
2151	箱15	[松竹梅図]				まくり2	裏紙として、真言書上と本(小学校教員規則か)を使用。劣化激し。
2152	箱15	[書付]				紙4	同一内容と思われるもの2組。
2153	箱15	[絵]				紙8	雑誌の切抜きか。「湯浴み」「風潮」「勿来の関」「光明皇后」「曾我兄弟」「乙女観音経」など。
2154	箱15	[寿]				まくり1	落款2つあり。破損。

No.	箱	標題	作成者	宛名	年代	形態	備考
2155	箱15	[和歌書付カ]				まくり1	和歌か。
2156	箱15	[書画]				まくり1	裏紙剥離。
2157	箱15	けふ乃壽を祝し	正保			まくり1	和歌書付。
2158	箱15	[梅の図]	笑搜口人			まくり1	
2159	箱15	[書画]	笑搜口人			まくり1	
2160	箱15	[書画]	笑搜口人			まくり1	達磨図か。
2161	箱15	[書画]	笑搜口人			まくり1	
2162	箱15	[書画]				まくり1	落款あり。劣化。
2163	箱15	[人物画]				まくり1	
2164	箱15	[鶴の図]				まくり1	破損あり。
2165	箱15	熟慮断行	希典			まくり1	
2166	箱15	猿田彦大神	少教正藤原良知口書		萬延庚申生時年七十四翁	まくり1	
2167	箱15	猿田彦大神	少教正藤原良知謹書			まくり1	
2168	箱15	[神名書付]				まくり1	
2169	箱16	道釈人物3人像	不詳		不明	紙一枚	無署名。未表装。
2170	箱16	義公略伝	菊池謙二郎著		昭和3年9月28日	活字本1冊	版本(活字本)
2171	箱16	和漢名数				和本3冊	版本(袖珍本)
2172	箱16		黒澤亀寿			紙2枚	上封なし
2173	箱16	弘道館記 他	(咸章堂拓か?)			折帖1帖	「亀澤文庫」所蔵印あり。「天」部欠。巻末「黒澤良知(とき子の孫)」の印あり
2174	箱16	御祈祷寶牘	高野山西禪院			板1枚	上封付き。
2175	箱16	葉書	柴田八朗	黒澤亀寿様		紙1枚	
2176	箱16	書簡		黒澤さくの		封書	封筒のみ。種々のものあり(書簡に関係なし)
2177	箱16	書簡	石村利長高須彦助 明治40年11月17日、石岡伊支弥氏。消印市天、黒澤やう号 3.3.10 消印	黒澤峯三郎君貴下へ		封書5通	
2178	箱16	書簡		黒澤亀寿様		封書2通	
2179	箱16	松にぼたん	塚本雲湖	不記	不明	紙一枚	彩色有。未表装。
2180	箱16	(錫高野村人名書上)	不詳		不明	一冊、紙6枚	
2181	箱16	鉄舟夫人英子談話 女士道	大学館発行		明治36年2月21日	版本1冊	活字本
2182	箱16	水戸国難義民同土御一同 御会葬御一同之御			不明	封のみ	断簡
2183	箱16	大般若心教(力)			不明	折帖	損傷甚し
2184	箱16	[金銭受取証]	1.金原石材店 2.小貫留七郎商店 3.小井出(力)油屋 4.三村利彦 5.金原石材店	1~4.黒澤峰三郎様 5.瀬谷運送御様(黒澤峰三郎行)	1.昭和3年2月25日 2.昭和3年3月8日 3.昭和3年3月9日 4.昭和3年3月12日 5.不記	封1 状5	封(裏書あり)
2185	箱16	弔電	1.カワサキ 2.ミムラ	1.クロサワ 2.ミネ三口ウ 3.クロサワ カジメ殿	1.大正13年3月12日 2.大正13年3月19日	電報2通	
2186	箱16	封上書(御本神料)	仲丸伊津岐			封のみ1	
2187	箱16	廻向之支證	高野山西禪院印	黒澤亀寿殿	昭和10年7月25日	状1	
2188	箱16	電報3通		1~3 黒澤峯三郎	大正期	電報3通	1.消印9年7月22日(封筒なし) 2.消印9年9月14日(封筒あり) 3.消印9年9月15日(封筒あり)
2189	箱16	黒澤混子告別式拝礼順次			混子 大正13.3.11死(53歳)	状1	後欠
2190	箱16	欠	不明(登幾子か?)		不明	折帖16冊	種類違い
2191	箱16	表題欠	不明(登幾子か?)		不明	折帖8冊	通し番号1.2.4.8.9.11.12.15の8冊。未装・表紙表裏ともなし。
2192	箱16	欠	不明(登幾子か?)			折帖6冊	3点紙の質は同じ。形状同じ6冊。表紙すべて欠。
2193	箱16	表題欠	不明(登幾子か?)		不明		通し番号4.5.7.8.9.10.11の7冊。未装・表紙表裏ともなし。
2194	箱16	十二支	不明		年欠	折帖一冊	「亀澤文庫」蔵印あり。十二支のうち鼠~辛。表:表紙欠、裏:表紙ハガレ。タイトルは隷書、内容は行草、裏打ち紙使用。
2195	箱16	黒澤登幾子が旅の際身につけていたという伝承がある	不詳		明治	印籠1	根付(きのこ)付き。表:登幾子旅姿の絵あり。裏:馬の絵。
2196	箱16	(黒澤登幾子肖像写真)	不詳		明治20年代(?)	写真原版1	ガラス原版。